

2025 年度に向けた高齢者の自立支援、 重度化防止等の取組に関する 評価の視点

平成30年2月
須 賀 川 市

2025年度に向けた高齢者の自立支援、重度化防止等の 取組に関する評価の視点

I P D C Aサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築について
現状把握・計画策定・点検評価等を推進するものとして、以下に評価の視点を示します。

	評価の視点	趣旨・考え方
①	地域包括ケア「見える化」システムを活用して他の保険者と比較する等、当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか評価します。 ・地域包括ケア「見える化」システムを活用して、他の保険者と比較する等、当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか評価します。 ・地域包括ケア「見える化」システムは活用していないが、代替手段（独自システム等）により当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか評価します。 ・上記それぞれに加えてHPによる周知等、住民や関係者と共通理解を持つ取組を行っているか評価します。	介護保険事業計画の策定等に当たって、地域包括ケア「見える化」システム等を活用し、地域の特徴、課題を把握していることを評価するものです。
②	日常生活圏域ごとの65歳以上人口を把握しているか評価します。	日常生活圏域ごとの65歳以上人口の把握を評価するものです。
③	以下の将来推計を実施しているか評価します。 ・2025年度における要介護者数・要支援者数 ・2025年度における介護保険料 ・2025年度における日常生活圏域単位の65歳以上人口 ・2025年度における認知症高齢者数 ・2025年度における一人暮らし高齢者数 ・2025年度に必要な介護人材の数	2025年度に向けて、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を推進するために重要な指標の将来推計の把握を評価するものです。
④	介護保険事業に関する現状や将来推計に基づき、2025年度に向けて、自立支援、重度化防止等に資する施策について目標及び目標を実現するための重点施策を決定しているか評価します。	2025年度に向けた着実な取組を推進するため、重点施策や目標の設定を評価するものです。
⑤	人口動態による自然増減による推計に加え、自立支援・介護予防に資する施策など、保険者としての取組を勘案した要介護者数及び要支援者数の推計を行っているか評価します。	保険者において実施する各種取組について、定量的な効果を見込んでいることを評価するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
⑥	地域医療構想を含む医療計画も踏まえつつ、地域の在宅医療の利用者や、在宅医療の整備目標等を参照しつつ、介護サービスの量の見込みを定めているか評価します。	第7期介護保険事業計画は医療計画と同時期に策定されること等を踏まえ、医療計画との整合性のある見込み量設定を評価するものです。
⑦	認定者数、受給者数、サービスの種類別の給付実績を定期的にモニタリング（点検）しているか評価します。	地域の課題に対応できるよう、介護保険給付に係る各種実績により、地域の動向を定期的に把握することを評価するものです。
⑧	介護保険事業計画の目標が未達成であった場合に、具体的な改善策や、理由の提示と目標の見直しといった取組を講じているか評価します。	P D C Aサイクルにより、具体的な改善策が講じられていることを評価するものです。

Ⅱ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進について

高齢者の自立支援、重度化防止等に資する各種取組を推進するものとして、以下に評価の視点を示します。

（１）地域密着型サービス

	評価の視点	趣旨・考え方
①	保険者の方針に沿った地域密着型サービスの整備を図るため、保険者独自の取組を行っているか評価します。 ・地域密着型サービスの指定基準を定める条例に保険者独自の内容を盛り込んでいるか評価します。 ・地域密着型サービスの公募指定を活用しているか評価します。 ・参入を検討する事業者への説明や働きかけを実施しているか評価します（説明会の開催、個別の働きかけ等）。	地域密着型サービスについて、保険者として地域のサービス提供体制等の実情に応じた基盤整備を図るための取組を評価するものです。
②	地域密着型サービス事業所の運営状況を把握し、それを踏まえ、運営協議会等で必要な事項を検討しているか評価します。	地域の状況の変化に応じた対応を推進するため、点検の取組を評価するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
③	所管する介護サービス事業所について、指定の有効期間中に一回以上の割合で実地指導を実施しているか評価します。	指定権限が保険者にある地域密着型サービス等について、保険者としての計画的な指導監督を評価するものです。
④	地域密着型通所介護事業所における機能訓練・口腔機能向上・栄養改善を推進するための取組を行っているか評価します。	地域密着型通所介護事業所において、機能訓練・口腔機能向上・栄養改善が推進されるための、保険者としての取組を評価するものです。

(2) 介護支援専門員・介護サービス事業所

	評価の視点	趣旨・考え方
①	保険者として、ケアマネジメントに関する保険者の基本方針を、介護支援専門員に対して伝えているか評価します。 ・保険者のケアマネジメントに関する基本方針を伝えるためのガイドライン又は文書を作成した上で、事業者連絡会議、研修又は集団指導等において周知しているか評価します。 ・ケアマネジメントに関する保険者の基本方針を介護支援専門員に対して伝えているか評価します。	高齢者の自立支援、重度化防止等に資することを目的として、ケアマネジメントが行われるよう、介護支援専門員に対して、保険者の基本方針を伝えていることを評価するものです。
②	介護サービス事業所（居宅介護支援事業所を含む。）の質の向上に向けて、具体的なテーマを設定した研修等の具体的な取組を行っているか評価します。	介護サービス事業所の質の向上に向けた保険者の取組を評価するものです。

(3) 地域包括支援センター

	評価の視点	趣旨・考え方
①	<地域包括支援センターの体制に関するもの> 地域包括支援センターに対して、介護保険法施行規則に定める原則基準に基づく3職種の配置を義務付けているか評価します。	地域包括支援センターにおいて必要なサービスが提供されるよう体制が確保されていることを評価するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
②	地域包括支援センターの3職種（準ずる者を含む）一人当たり高齢者数（圏域内の65歳以上高齢者数／センター人員）の状況の評価します。	地域包括支援センターの人員配置状況の評価するものです。
③	地域包括支援センターが受けた介護サービスに関する相談について、地域包括支援センターから保険者に対して報告や協議を受ける仕組みを設けているか評価します。	委託型の地域包括支援センターが多い中で、保険者と地域包括支援センターの連携を評価するものです。
④	介護サービス情報公表システム等において、各地域包括支援センターの事業内容・運営状況に関する情報を公表しているか評価します。	住民による地域包括支援センターの活用を促進するため、情報公表の取組を評価するものです。
⑤	毎年度、地域包括支援センター運営協議会での議論を踏まえ、地域包括支援センターの運営方針、支援、指導の内容を検討し改善しているか評価します。	地域包括支援センターの業務や体制等の課題に適切に対応するため、毎年度の検討・改善のサイクルを評価するものです。
⑥	＜ケアマネジメント支援に関するもの＞ 地域包括支援センターと協議の上、地域包括支援センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか評価します。	適切に保険者と連携（協議）した上で、計画的な介護支援専門員向け研修等の開催計画の作成を評価するものです。
⑦	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか評価します。	介護支援専門員のニーズに基づく、介護支援専門員と医療機関等の関係者の連携を推進するための場の設定を評価するものです。
⑧	管内の各地域包括支援センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか評価します。	介護支援専門員からの相談に基づき、適切に地域課題を解決していくことを促進するため、まずは相談事例の内容整理や把握の状況の評価するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
⑨	＜地域ケア会議に関するもの＞ 地域ケア会議について、地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定しているか評価します。	地域ケア会議の機能（①個別課題の解決、②地域包括支援ネットワークの構築、③地域課題の発見、④地域づくり・資源開発、⑤政策の形成）を踏まえ、当該地域の地域ケア個別会議及び地域ケア推進会議それぞれの機能、構成員、開催頻度を決定し、計画的に開催していることを評価するものです。
⑩	地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか評価します。	地域ケア会議において、多職種連携や個別事例の検討、対応策の実施を評価するものです。
⑪	個別事例の検討等を行う地域ケア会議における個別事例の検討件数割合はどの程度か評価します（個別ケースの検討件数／受給者数）。	当該保険者において開催される地域ケア会議での個別ケースの検討頻度を評価するものです。
⑫	生活援助の訪問回数の多いケアプラン（生活援助ケアプラン）の地域ケア会議等での検証について、実施体制を確保しているか評価します。	当該保険者が開催する地域ケア会議等において、平成30年度介護報酬改定によりケアマネジャーに届出が義務付けられた生活援助ケアプランを検証することになりますが、その実施体制を確保していることを評価するものです。
⑬	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実行しているか評価します。	個別事例の検討を行ったのち、フォローアップをしていること等を評価するものです。
⑭	複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市へ提言しているか評価します。	地域ケア会議における検討が、地域課題の解決につながる仕組みとなっていることを評価するものです。
⑮	地域ケア会議の議事録や決定事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じているか評価します。	多職種による課題共有を評価するものです。

(4) 在宅医療・介護連携

	評価の視点	趣旨・考え方
①	地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市が所持するデータのほか、県や医師会等の関係団体から提供されるデータ等も活用し、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、対応策を検討するだけでなく、適切に具体化されていることを評価するものです。
②	医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて必要に応じて、県等からの支援を受けつつ、(4) ①での検討内容を考慮して、必要となる具体的取組を企画・立案した上で、具体的に実行するとともに、実施状況の検証や取組の改善を行っているか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、具体的な実施状況とそのPDCAサイクルの実施を評価するものです。
③	医療・介護関係者間の情報共有ツールの整備又は普及について具体的な取組を行っているか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、具体的な取組状況を評価するものです。
④	地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護連携に関する相談に対応するための相談窓口を設置し、在宅医療・介護連携に関する相談内容を、医師会等の医療関係団体との会議等に報告しているか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、地域における在宅医療・介護連携に関する相談事例について、医療関係団体と共有することを評価するものです。
⑤	医療・介護関係の多職種が合同で参加するグループワークや事例検討など参加型の研修会を、保険者として開催または開催支援しているか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、介護支援専門員をはじめとする介護関係者と、医療関係者が合同で行う研修会等により、お互いの連携を推進するための取組を評価するものです。
⑥	関係市町村や医師会等関係団体、県等と連携し、退院支援ルール等、広域的な医療介護連携に関する取組を企画・立案し、実行しているか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、入院時、退院時の医療・介護連携に係る具体的な取組を評価するものです。
⑦	居宅介護支援の受給者における「入院時情報連携加算」及び「退院・退所加算」の取得率の状況はどうか評価します。	在宅医療・介護連携推進事業に関連して、入院時、退院時の医療・介護連携に係る介護報酬上の加算の取得率を評価するものです。

(5) 認知症総合支援

	評価の視点	趣旨・考え方
①	市介護保険事業計画又は市が定めるその他の計画等において、認知症施策の取組（「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」第二の三の1の（二）に掲げる取組）について、各年度における具体的な計画（事業内容、実施（配置）予定数、受講予定人数等）を定め、毎年度その進捗状況について評価しているか評価します。	認知症総合支援策に係る、具体的な計画及びそのPDCAを評価するものです。
②	認知症初期集中支援チームは、認知症地域支援推進員に支援事例について情報提供し、具体的な支援方法の検討を行う等、定期的に情報連携する体制を構築しているか評価します。	認知症支援に係る適切な体制を評価するものです。
③	医師会等の医療関係団体と調整し、認知症のおそれがある人に対して、かかりつけ医と認知症疾患医療センター等専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げる体制を構築しているか評価します。	認知症支援に係る医療との連携の重要性に鑑み、医療関係者との連携を評価するものです。
④	認知症支援に携わるボランティアの定期的な養成など認知症支援に関する介護保険外サービスの整備を行っているか評価します。	地域の実情に応じた、様々な認知症支援の体制づくりに向けた取組を評価するものです。

(6) 介護予防／日常生活支援

	評価の視点	趣旨・考え方
①	介護予防・日常生活支援総合事業の創設やその趣旨について、地域の住民やサービス事業者等地域の関係者に対して周知を行っているか評価します。	住民及びサービス事業者等地域の関係者に対する総合事業に係る狙いや趣旨等の正しい理解や周知を促進することを評価するものです。
②	介護保険事業計画において、介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービス（基準を緩和したサービス、住民主体による支援、短期集中予防サービス、移動支援を指し、予防給付で実施されてきた旧介護予防訪問介護相当サービス・旧介護予防通所介護相当サービスに相当するサービスは含まない。以下同じ。）及びその他の生活支援サービスの量の見込みを立てるとともに、その見込み量の確保に向けた具体策を記載しているか評価します。	基本指針を踏まえ、多様なサービス等の計画的な整備に向けた取組を評価するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
③	介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービスやその他の生活支援サービスの開始にあたり、生活支援コーディネーターや協議体、その他地域の関係者との協議を行うとともに、開始後の実施状況の検証の機会を設けているか評価します。	多様なサービス等の実施に係るPDCAサイクルの活用を評価するものです。
④	高齢者のニーズを踏まえ、介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービス、その他生活支援サービスを創設しているか評価します。	地域の高齢者のニーズを前提として、総合事業における多様なサービスの創設実績を評価するものです。
⑤	介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の方の参加者数はどの程度か評価します（【通いの場への参加率＝通いの場の参加者実人数／高齢者人口】等）。	介護予防に資する通いの場への参加状況を評価するものです。
⑥	地域包括支援センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、総合事業を含む多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか評価します。	介護支援専門員等が地域資源等に関する情報を共有することにより、住民に適切なサービスの提供ができるよう、情報提供の取組を評価するものです。
⑦	地域リハビリテーション活動支援事業（リハビリテーション専門職等が技術的助言等を行う事業）等により、介護予防の場にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設け実行しているか評価します。	自立支援、重度化防止等に向けた取組において重要となる、リハビリテーション専門職等との連携を評価するものです。 ※地域支援事業における地域リハビリテーション活動支援事業のみでなく、県が県医師会等関係団体と構築している地域リハビリテーション支援体制の活用により、介護予防におけるリハビリテーション専門職等の関与が促進できる仕組みとなっている場合なども含みます。

	評価の視点	趣旨・考え方
⑧	住民の介護予防活動への積極的な参加を促進する取組を推進しているか評価します（単なる周知広報を除きます。）。	住民の参加を促進する仕組みの創設、高齢者の地域における役割の創設等、地域の実情に応じた様々な工夫により、高齢者の積極的な介護予防への参加を推進していることを評価するものです。

（７）生活支援体制の整備

	評価の視点	趣旨・考え方
①	生活支援コーディネーターに対して市としての活動方針を提示し、支援を行っているか評価します。	生活支援コーディネーターについて、地域の実情に応じた、効果的な活動が行われるよう、市としての方針の決定や支援を評価するものです。
②	生活支援コーディネーターが地域資源の開発に向けた具体的取組（地域ニーズ、地域資源の把握、問題提起等）を行っているか評価します。	生活支援コーディネーターについて、単なる配置にとどまるのではなく、具体的な取組を行っていることを評価するものです。
③	協議体が地域資源の開発に向けた具体的取組（地域ニーズ、地域資源の把握等）を行っているか評価します。	協議体について、単なる設置にとどまるのではなく、具体的な取組を行っていることを評価するものです。
④	生活支援コーディネーター、協議体の活動を通じて高齢者のニーズに対応した具体的な資源の開発（既存の活動やサービスの強化を含む。）が行われているか評価します。	生活支援コーディネーターや協議体の活動による社会資源の開発実績を評価するものです。

（８）要介護状態の維持・改善の状況等

	評価の視点	趣旨・考え方
①	（要介護認定等基準時間の変化） 一定期間における、要介護認定者の要介護認定等基準時間の変化率の状況はどのようになっているか評価します。	要介護状態の維持・改善の状況として、認定を受けた者について要介護認定等基準時間の変化率を測定するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
②	(要介護認定の変化) 一定期間における要介護認定者の要介護認定の変化率の状況はどのようなになっているか評価します。	要介護状態の維持・改善の状況として、認定を受けた者について要介護認定の変化率を測定するものです。

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進

介護給付適正化事業等、介護保険運営の安定化に資する施策を推進するものとして、以下に評価の視点を示します。

(1) 介護給付の適正化

	評価の視点	趣旨・考え方
①	介護給付の適正化事業の主要5事業のうち、3事業以上を実施しているか評価します。 ・ 要介護認定の適正化 ・ ケアプランの点検 ・ 住宅改修等の点検 ・ 医療情報との突合、縦覧点検 ・ 介護給付費通知	「介護給付適正化計画に関する指針」（平成29年7月7日老介発第0707第1号別紙）を踏まえた、介護給付の適正化事業の実施を評価するものです。
②	ケアプラン点検をどの程度実施しているか評価します。	ケアプラン点検の実施状況を評価するものです。
③	医療情報との突合・縦覧点検を実施しているか評価します。	医療情報との突合・縦覧点検は、特に適正化効果が高いため、実施を評価するものです。
④	福祉用具の利用に関しリハビリテーション専門職が関与する仕組みを設けているか評価します。 ・ 地域ケア会議の構成員としてリハビリテーション専門職を任命し、会議の際に福祉用具貸与計画も合わせて点検を行う。 ・ 福祉用具専門相談員による福祉用具貸与計画の作成時に、リハビリテーション専門職が点検を行う仕組みがある。 ・ 貸与開始後、用具が適切に利用されているか否かをリハビリテーション専門職が点検する仕組みがある。	福祉用具について、リハビリテーション専門職が関与した適切な利用を推進するため、保険者の取組を評価するものです。

	評価の視点	趣旨・考え方
⑤	住宅改修の利用に際して、建築専門職、リハビリテーション専門職等が適切に関与する仕組みを設けているか評価します。 ・被保険者から提出された住宅改修費支給申請書の市における審査の際に、建築専門職、リハビリテーション専門職等により点検を行う仕組みがある。 ・住宅改修の実施前又は実施の際に、実際に改修を行う住宅をリハビリテーション専門職が訪問し、点検を行わせる仕組みがある。	住宅改修について、建築専門職やリハビリテーション専門職が関与した適切な利用を推進するため、保険者の取組を評価するものです。
⑥	給付実績を活用した適正化事業を実施しているか評価します。	「介護給付適正化計画に関する指針」（平成29年7月7日老介発第0707第1号別紙）を踏まえ、給付実績の活用による適正化事業の実施を評価するものです。

（２）介護人材の確保

	評価の視点	趣旨・考え方
①	必要な介護人材を確保するための具体的な取組を行っているか評価します。	第７期介護保険事業計画から、市介護保険事業計画への任意記載事項となった介護人材の確保に向けた取組について、保険者の取組を評価するものです。

須 賀 川 市
第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業
計画策定に係るアンケート調査

－ 調査結果報告書 －
(概要版)

2017（平成29）年3月

須 賀 川 市

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の種類及び対象者	1
3	調査実施方法及び期間	1
4	アンケート回収結果	1
5	集計について	2

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査結果

◇	回答者の属性	3
1	ご家族や生活状況について	4
2	運動・閉じこもりについて	8
3	転倒について	11
4	口腔・栄養について	12
5	物忘れについて	16
6	日常生活について	18
7	社会参加について	24
8	健康について	32
9	リスク対象者	37

III 市民意識調査（一般） 調査結果

1	回答者の属性	38
2	健康状態	39
3	地域での暮らし	41
4	介護支援等	44

5	見守り等	46
6	老人クラブ（60 歳以上）	48
7	生活実態（65 歳以上）	49
8	敬老会	51
9	介護保険制度	53
10	保健福祉サービス	55
11	高齢期の生活	56
12	介護予防	57
13	医療	59
14	自由意見	63

IV 市民意識調査（要支援・要介護認定者） 調査結果

1	回答者の属性	65
2	介護保険サービスの利用	67
3	介護保険制度	72
4	介護者の状況	75
5	施設入居者の状況	81
6	自由意見	82

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、計画期間を平成30年度から平成32年度までとする「須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画」の策定にあたり、市民の多様な意見や健康福祉への考え方などを計画に反映させることを目的として、アンケート調査を実施した。

2 調査の種類及び対象者

種 類	対 象 者
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	平成29年1月1日時点で、65歳以上の市民（要介護4・5認定者を除く。）の中から無作為抽出（3,000人）
市民意識調査（一般）	平成29年1月1日時点で、40歳以上の市民の中から無作為抽出（2,000人）
市民意識調査（要支援・要介護認定者）	平成29年1月1日時点で、介護保険の要支援・要介護認定者の市民の中から無作為抽出（1,000人）

3 調査実施方法及び期間

種 類	実施方法・期間
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	郵送調査（郵送による配付、郵送による回収）形式 平成29年2月10日（金）～2月28日（火）
市民意識調査（一般）	
市民意識調査（要支援・要介護認定者）	

4 アンケート回収結果

種 類	対象者数	回収数	白紙回答	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000 票	2,338 票	3 票	2,335 票	77.8%
市民意識調査（一般）	2,000 票	1,416 票	—	1,416 票	70.8%
市民意識調査（要支援・要介護認定者）	1,000 票	691 票	1 票	690 票	69.0%

注：有効回収数=回収数－白紙回答

5 集計について

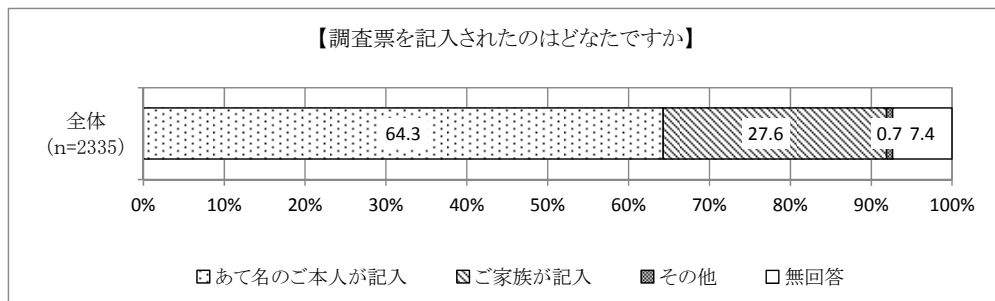
- ・集計結果を百分率（％）で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記とした。このため、百分率の合計が100にならない場合がある。
- ・母数（ $n = \bullet$ と表記）は、回答者全員が答えるべき設問については回答者数、条件付き設問については、その設問に答えるべき該当者の数とする。
- ・複数回答を可とした設問で、選択肢をひとつも選択しなかった場合は「無回答」として集計する。
- ・単数回答（一つのみ選択）の設問において、複数選択した場合は、上記と同様に「無回答」として集計する。
- ・グラフ表示に際して、選択肢が多い場合などは、一部値の小さい数値の表記を省略する場合がある。
- ・クロス集計において、年齢や要介護度等の各回答が無い対象者は、各クロス集計表から除外している。そのため、年齢別や要介護度別の各合計は全体とは一致しない。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査結果

◇ 回答者の属性

1 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

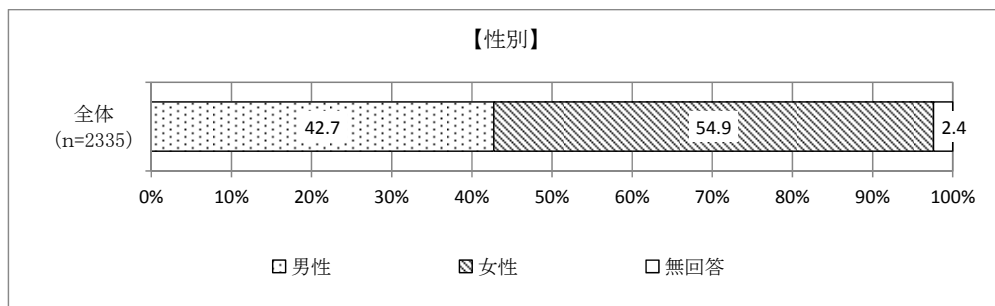
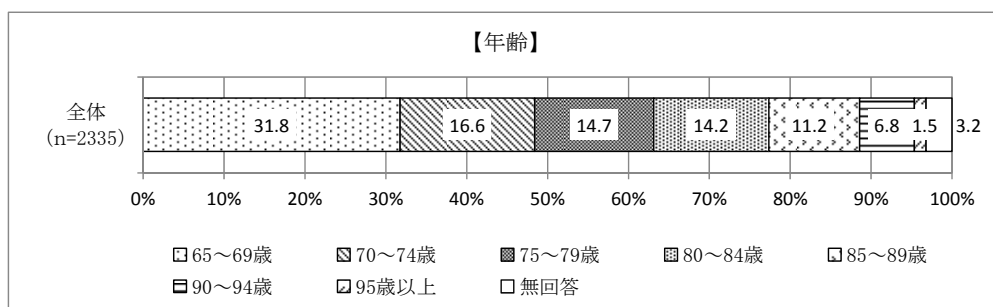
調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が64.3%と多数を占める。



2 年齢・性別

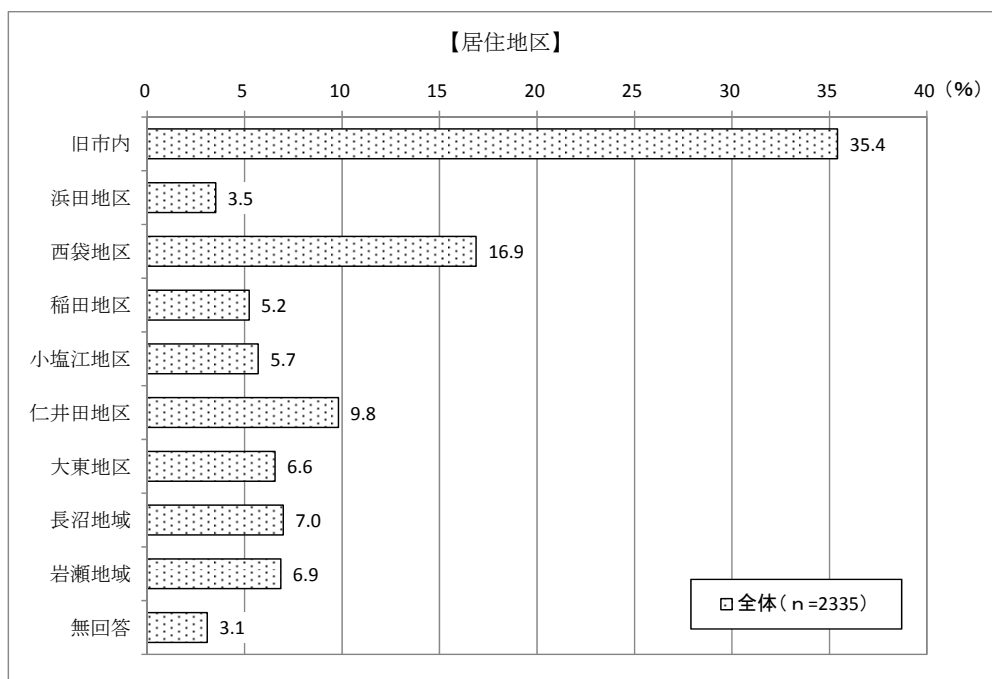
年齢は、「65～69歳」が31.8%と最も高く、年齢が高くなるに従い比率は低下する。

性別は、「男性」が42.7%、「女性」が54.9%と、女性の比率が若干高い。



3 居住地区

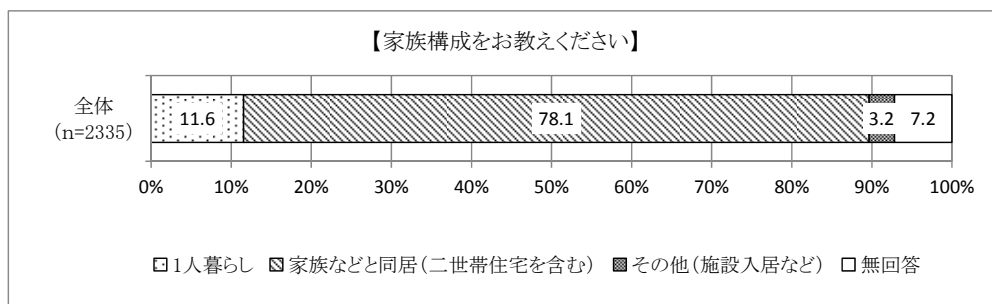
居住地区は「旧市内」が35.4%と最も高く、以下、「西袋地区」(16.9%)、「仁井田地区」(9.8%)、「長沼地域」(7.0%)、「岩瀬地域」(6.9%)、「大東地区」(6.6%)、「小塩江地区」(5.7%)、「稲田地区」(5.2%)、「浜田地区」(3.5%)と続く。



1 ご家族や生活状況について

Q 1. 家族構成をお教えてください

家族構成は、「家族などと同居(二世帯住宅含む)」が 78.1%で半数以上を占める。

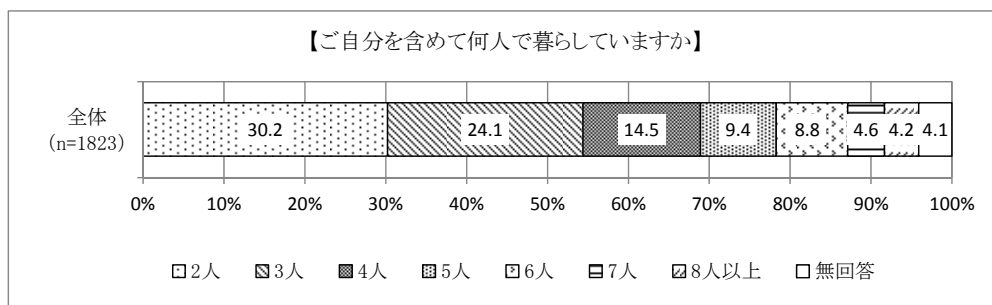


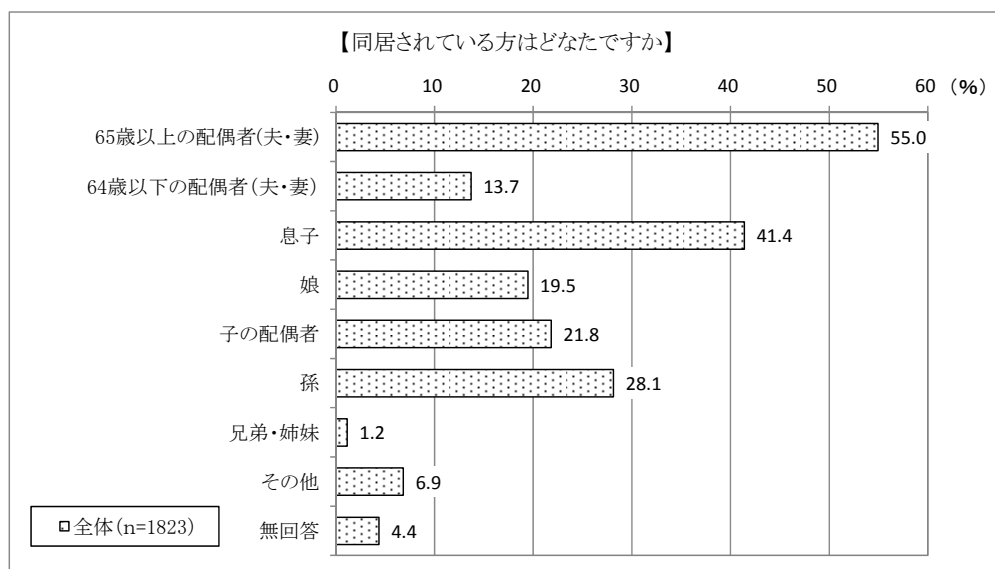
(家族などと同居されている方のみ)

Q 1-1. ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか(いくつでも)

同居人数は、「2人」が 30.2%と最も高く、「3人」(24.1%)、「4人」(14.5%)と続く。

同居者は、「65歳以上の配偶者(夫・妻)」が 55.0%と最も高い。

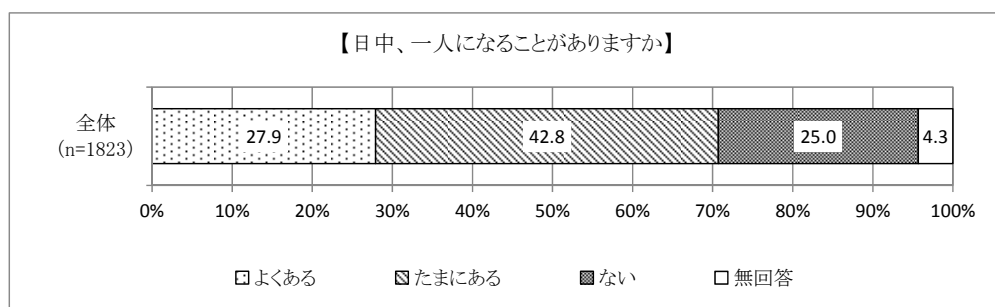




(家族などと同居されている方のみ)

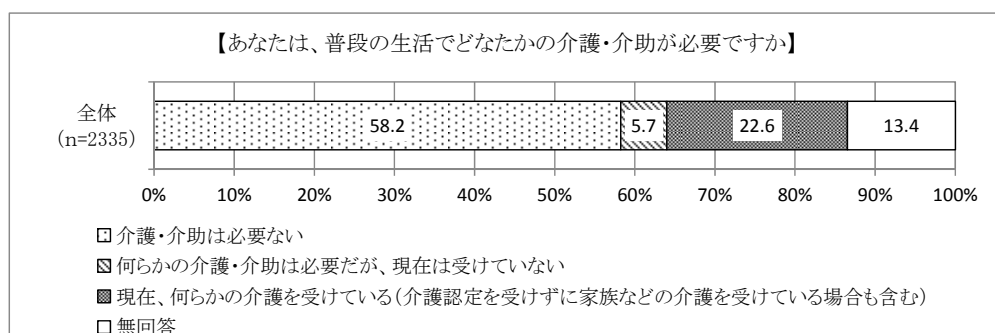
Q 1－2. 日中、一人になることがありますか

日中、一人になることは、「たまにある」が 42.8%と最も高い。



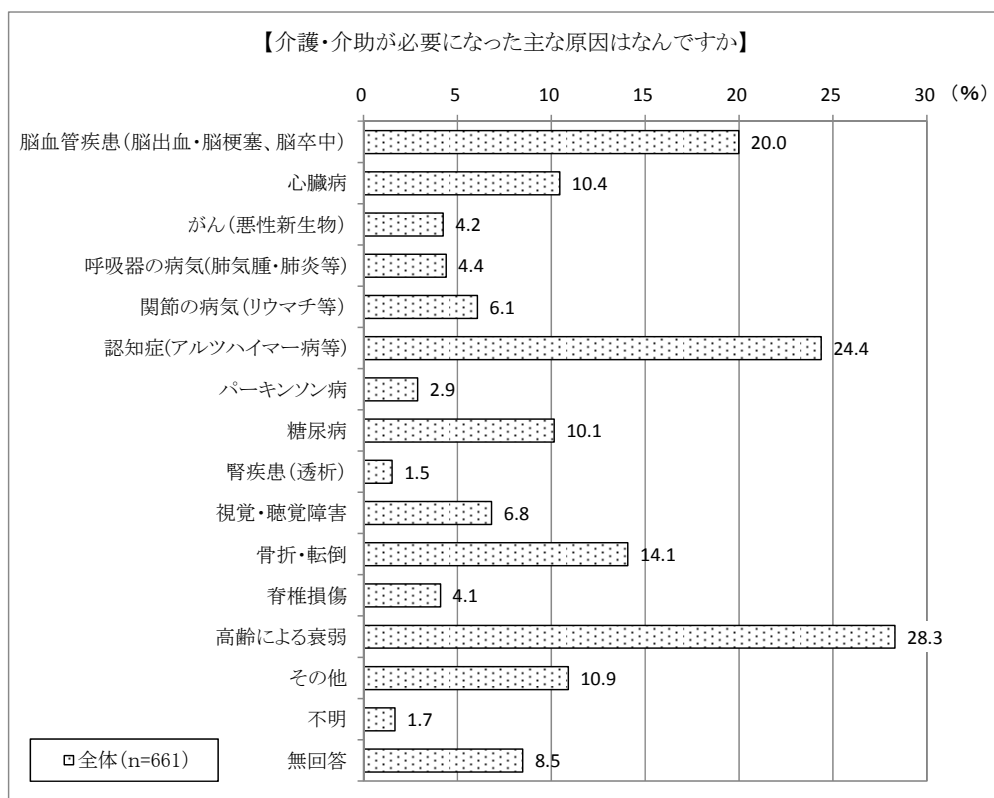
Q 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が 58.2%と過半数を占める。

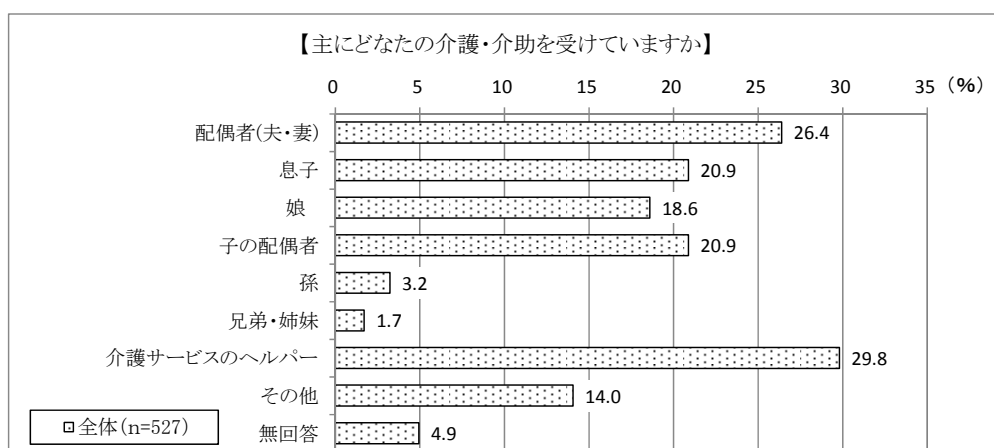


Q 2－1. (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

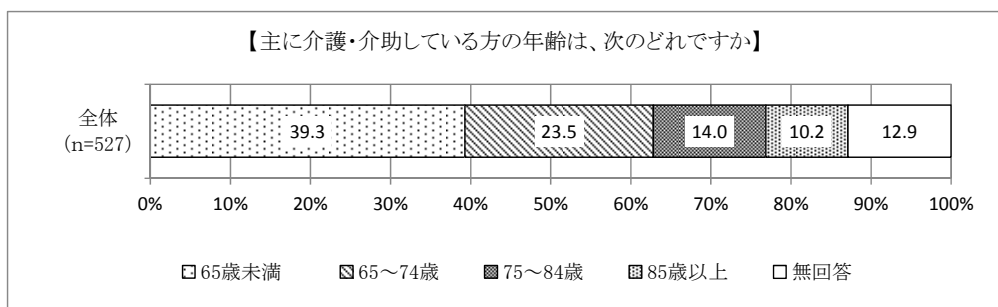
「高齢による衰弱」が28.3%と最も高く、以下、「認知症 (アルツハイマー病等)」(24.4%)、「脳血管疾患 (脳出血・脳梗塞、脳卒中)」(20.0%)、「骨折・転倒」(14.1%)と続く。



Q 2－2. (介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか
「介護サービスのヘルパー」が 29.8%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が 26.4%となっている。

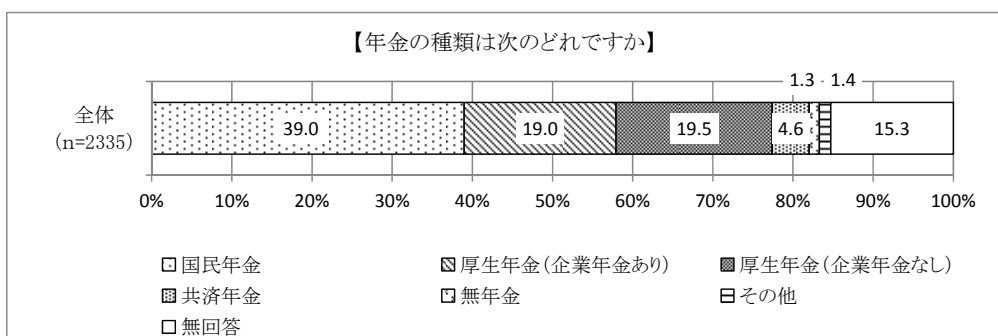


Q 2－3. (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか
「65歳未満」が39.3%と最も高く、「65～74歳」が23.5%、「75～84歳」が14.0%、「85歳以上」が10.2%となっている。



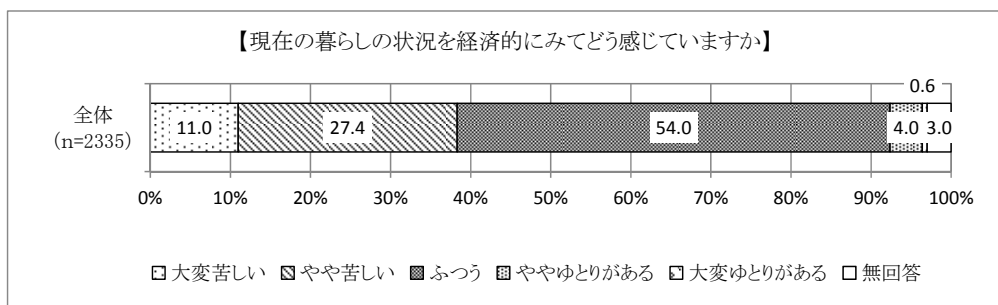
Q 3. 年金の種類は次のどれですか

「国民年金」が 39.0%で最も高く、「厚生年金（企業年金なし）」が 19.5%となっている。



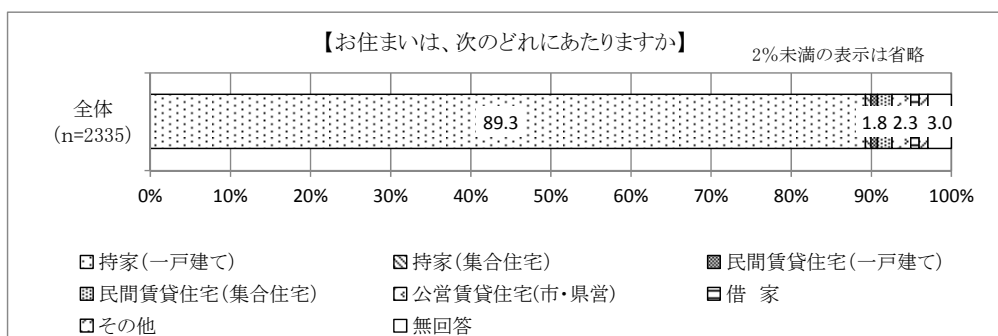
Q 4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が 54.0%と過半数を占め最も高い。「ややゆとりがある」(4.0%)と「大変ゆとりがある」(0.6%)を合わせた“ゆとりがある”は 4.6%と少数である。



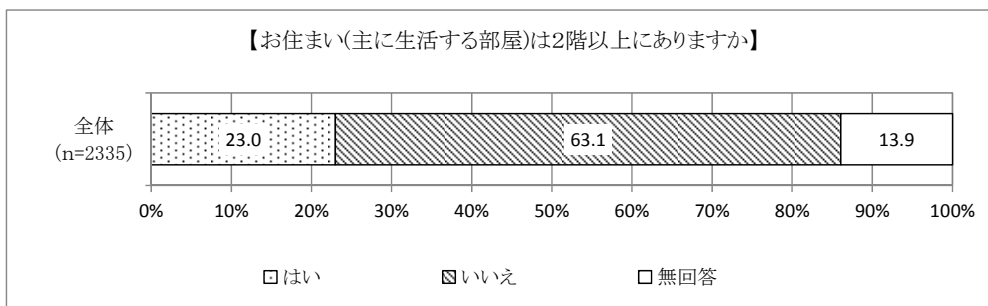
Q 5. お住まいは、次のどれにあたりますか

「持家（一戸建て）」が 89.3%と多数を占める。



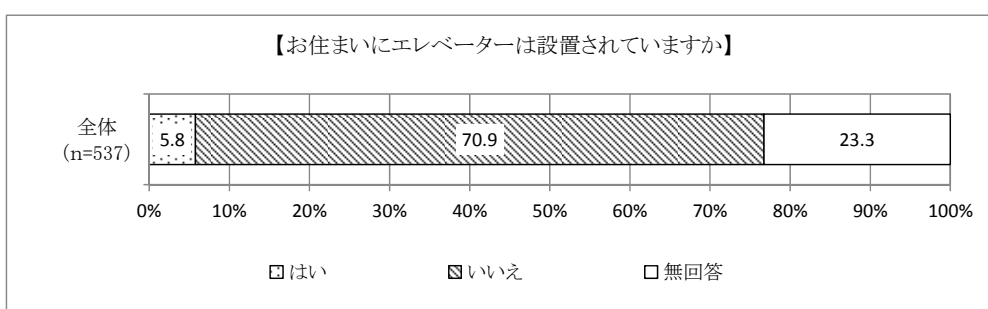
Q 6. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか

「いいえ」が63.1%と多数を占め、「はい」は23.0%となっている。



Q 6-1. (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか

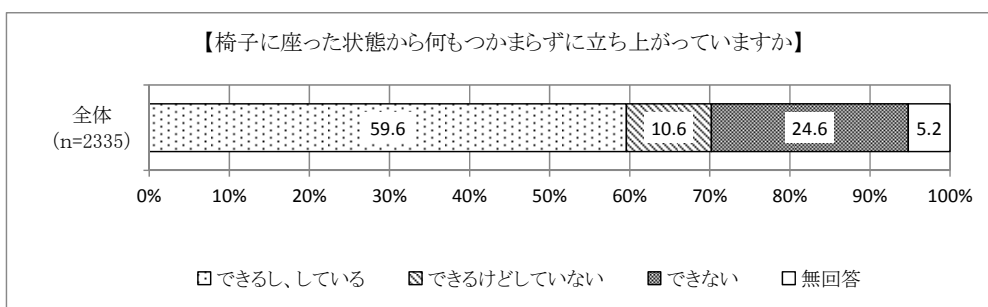
「いいえ」が70.9%と多数を占め、「はい」は5.8%となっている。



2 運動・閉じこもりについて

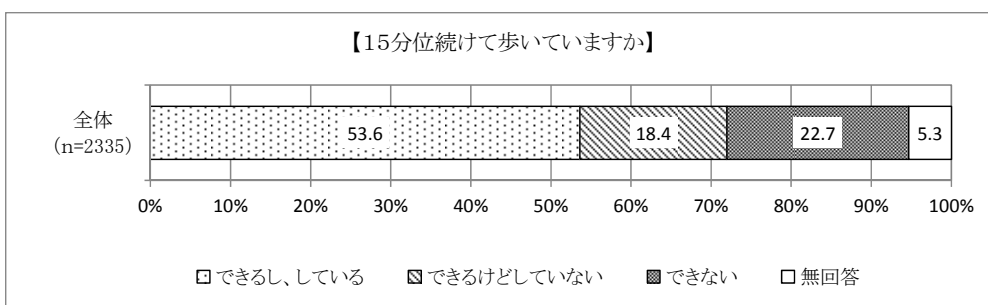
Q 1. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」が59.6%と多数を占め、「できない」は24.6%である。



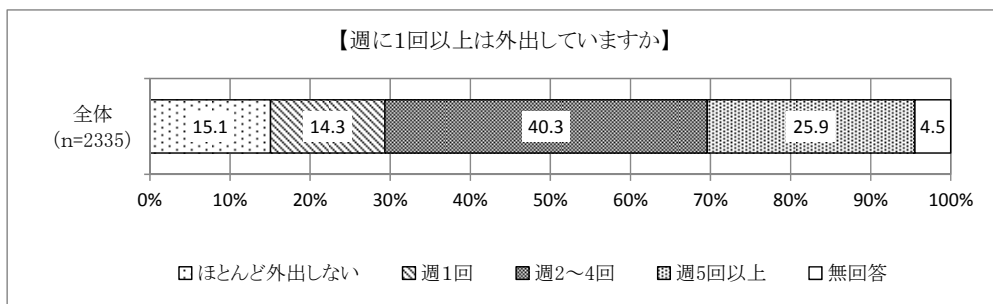
Q 2. 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」が53.6%と多数を占め、「できない」は22.7%である。



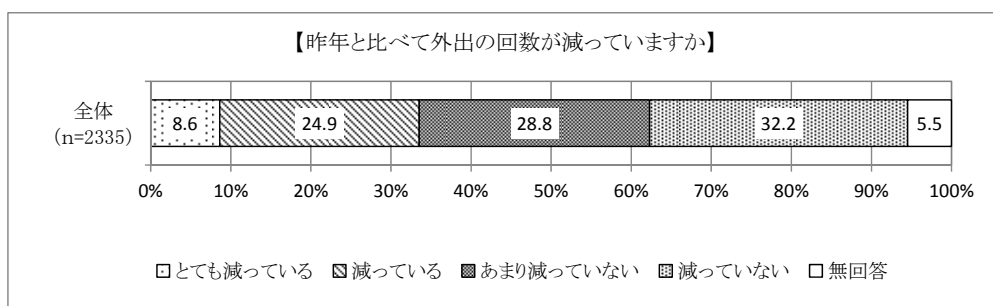
Q 3. 週に1回以上は外出していますか

「週2～4回」が40.3%と最も高く、「ほとんど外出しない」は15.1%となっている。



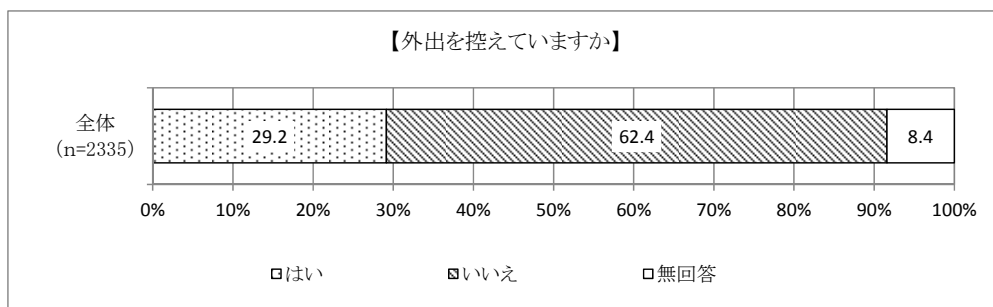
Q 4. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」が32.2%と最も高く、「あまり減っていない」は28.8%、「減っている」は24.9%、「とても減っている」は8.6%となっている。



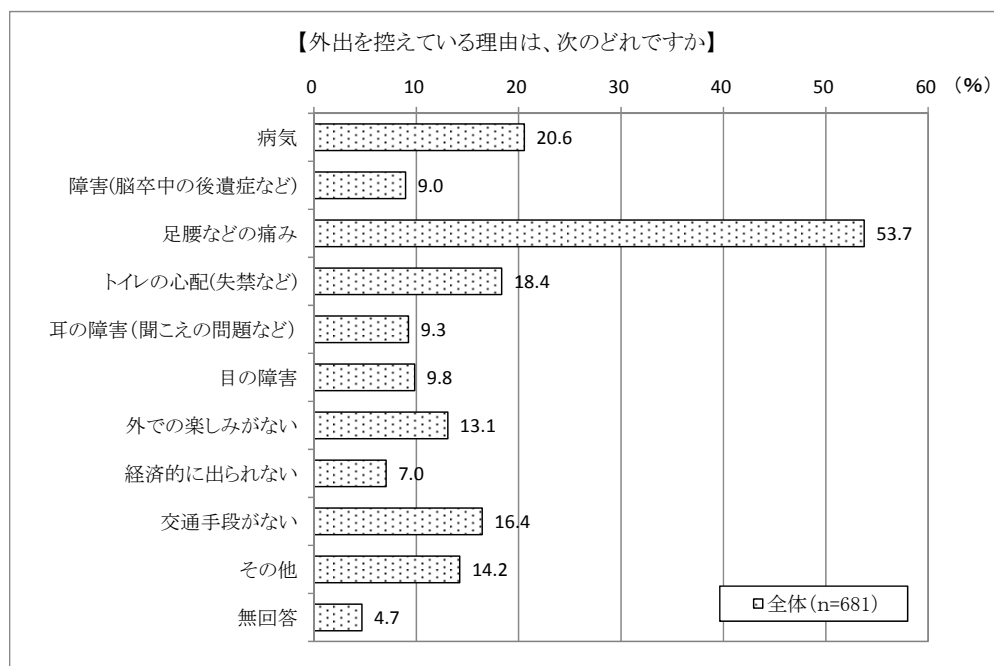
Q 5. 外出を控えていますか

「いいえ」が62.4%と多数を占め、「はい」は29.2%となっている。

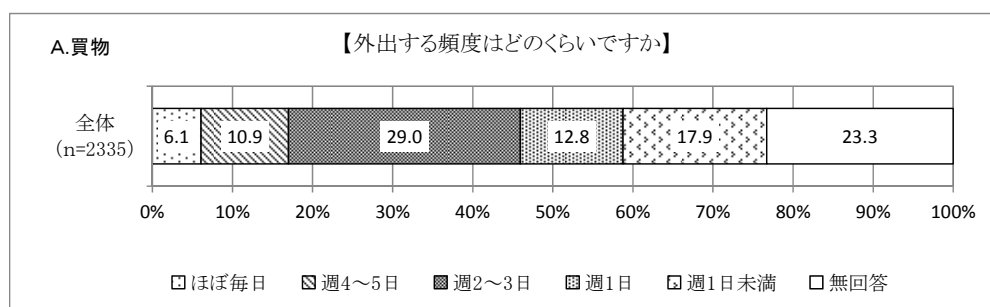


Q 5-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

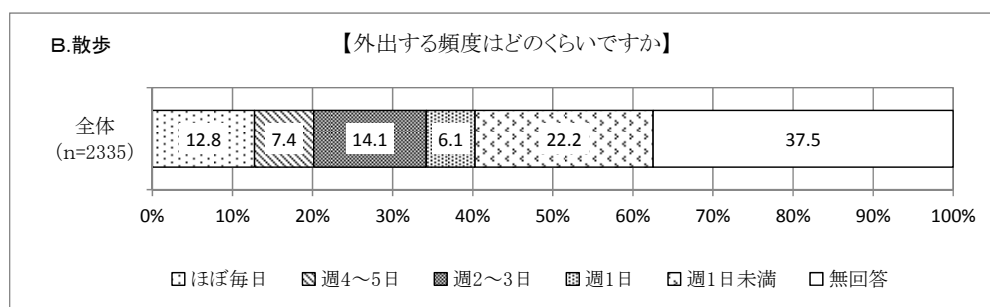
外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が53.7%と最も高く、以下、「病気」(20.6%)、「トイレの心配(失禁など)」(18.4%)、「交通手段がない」(16.4%)、「外での楽しみがない」(13.1%)と続いている。



Q 6. 「A. 買物」、「B. 散歩」で外出する頻度はどのくらいですか（それぞれ1つ）
 買い物は、「週2～3日」が29.0%と最も高く、「週1日未満」が17.9%と続く。

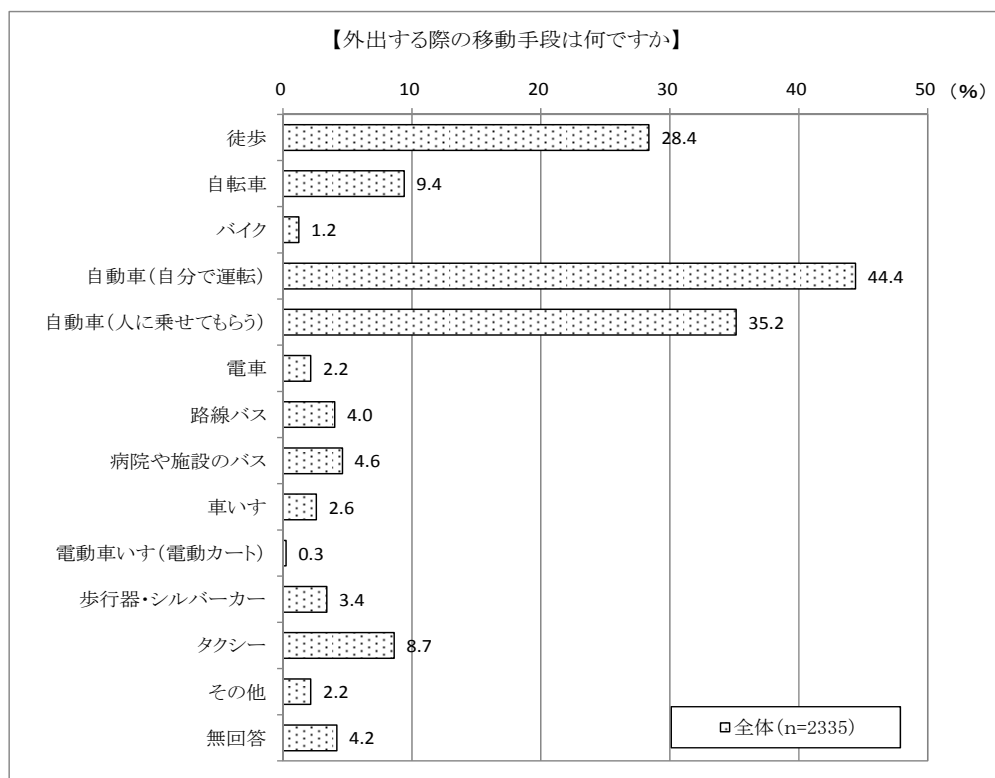


散歩は、「週1日未満」が22.2%と最も高く、「週2～3日」が14.1%と続く。



Q 7. 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

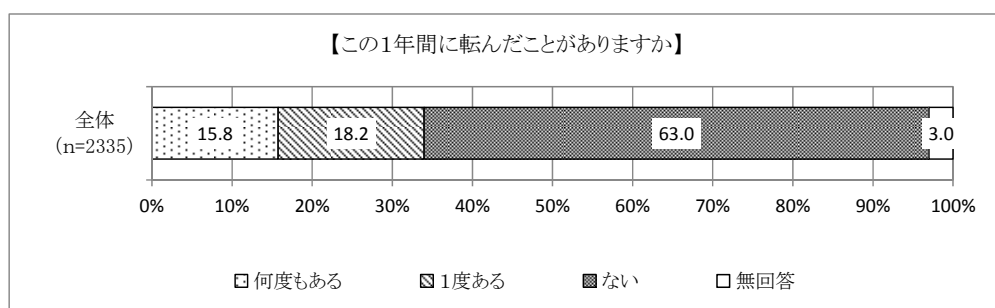
外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が44.4%と最も高く、「自動車（人に乗せてもらう）」(35.2%)や「徒歩」(28.4%)の回答も多い。



3 転倒について

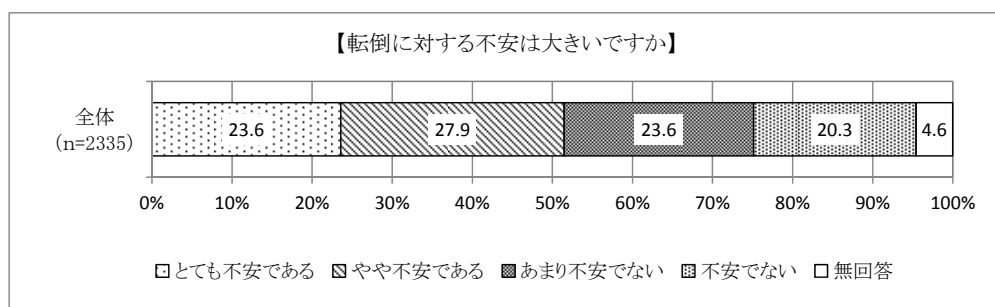
Q 1. この1年間に転んだことがありますか

「ない」が63.0%と多数を占め、「1度ある」は18.2%、「何度もある」は15.8%である。



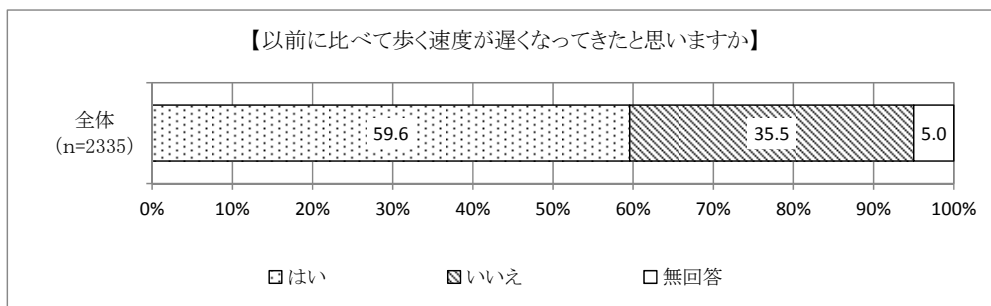
Q 2. 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安については、「やや不安である」(27.9%)と「とても不安である」(23.6%)を合わせた“不安である”は51.5%と過半数を占める。



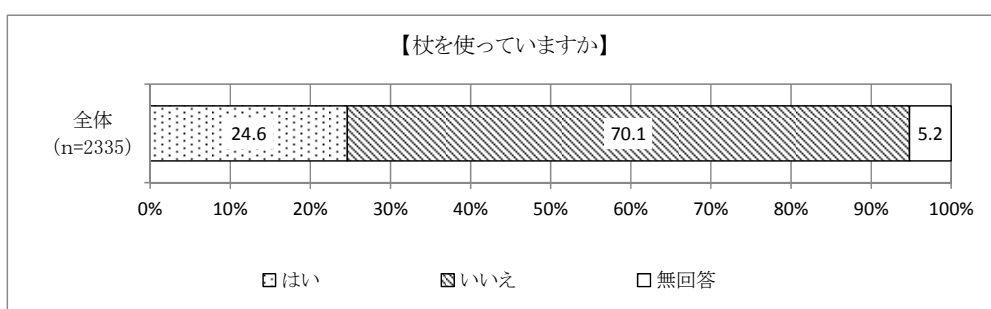
Q 3. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

「はい」が59.6%と多数を占め、「いいえ」は35.5%となっている。



Q 4. 杖を使っていますか

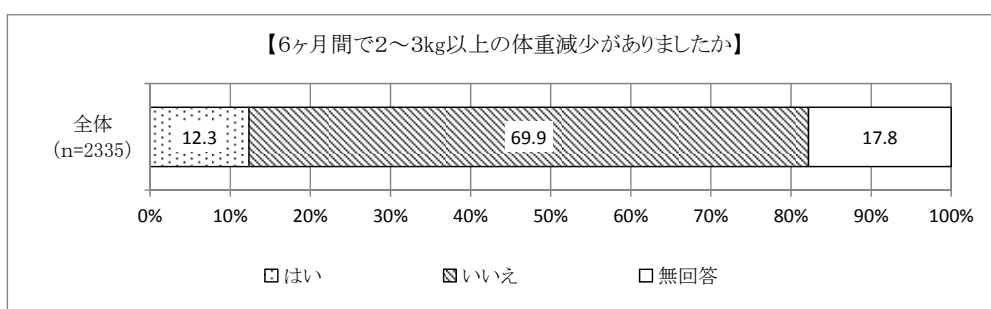
「いいえ」が70.1%と多数を占め、「はい」は24.6%となっている。



4 口腔・栄養について

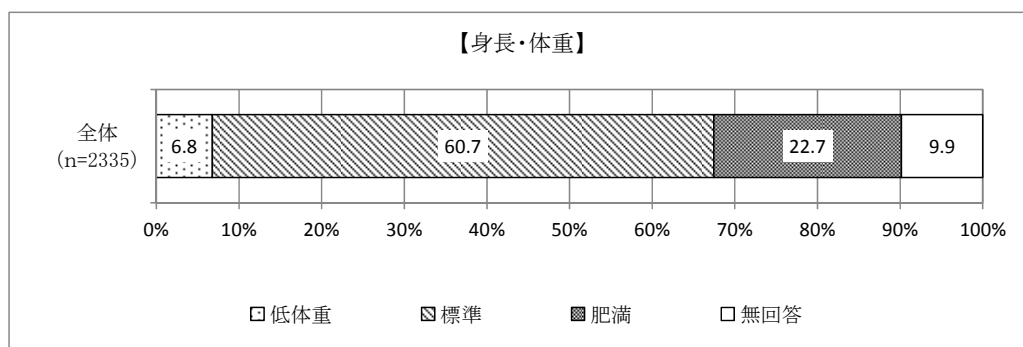
Q 1. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」は12.3%であり、「いいえ」が69.9%と多数を占めている。



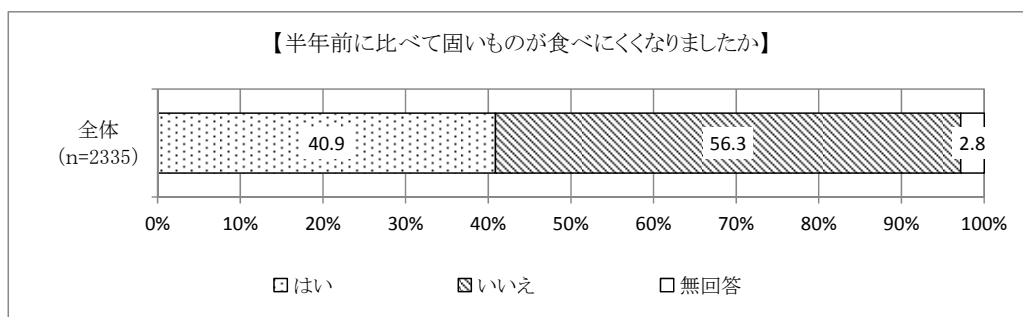
Q 2. 身長・体重

体重と身長の関係から肥満度をみると、「標準」（BMIが18.5以上25.0未満）が60.7%と過半数を占めており、「肥満」（同25.0以上）は22.7%、「低体重」（同18.5未満）は6.8%となっている。



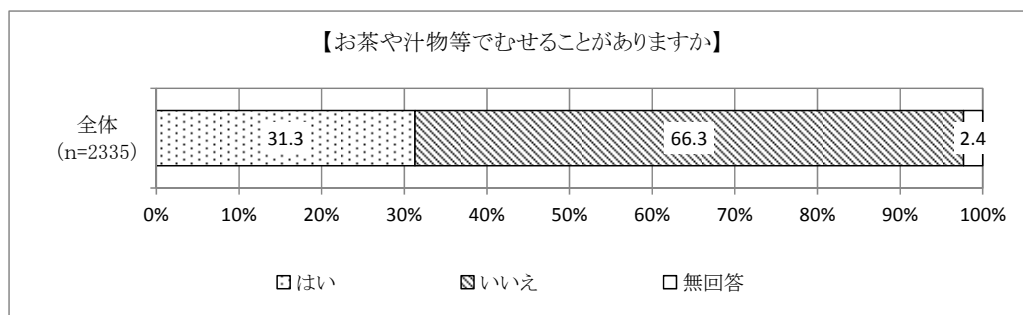
Q 3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「いいえ」が 56.3%と多数を占め、「はい」は 40.9%となっている。



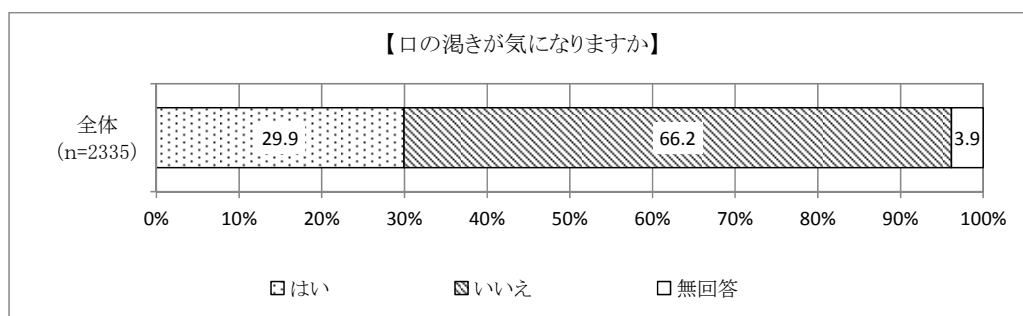
Q 4. お茶や汁物等でむせることがありますか

「いいえ」が 66.3%と多数を占め、「はい」は 31.3%となっている。



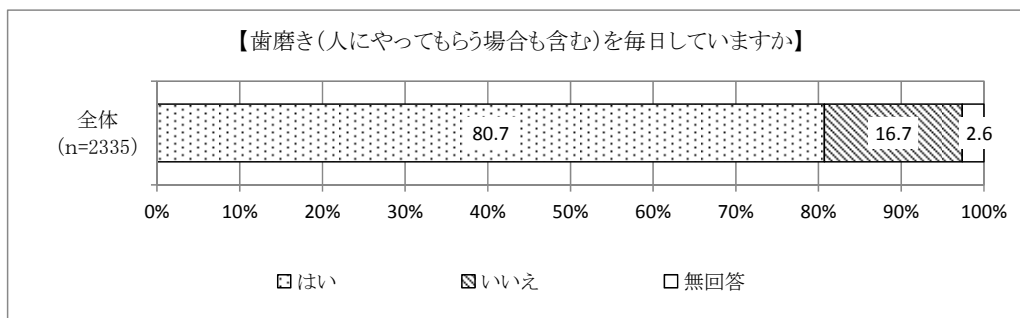
Q 5. 口の渇きが気になりますか

「いいえ」が 66.2%と多数を占め、「はい」は 29.9%となっている。



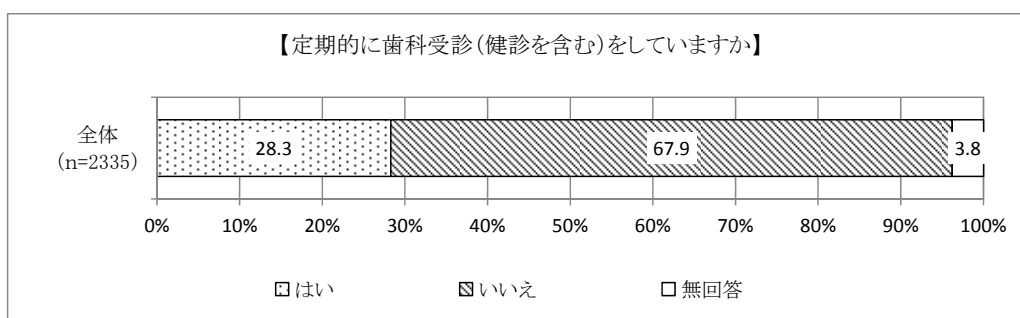
Q 6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」が80.7%と多数を占め、「いいえ」は16.7%となっている。



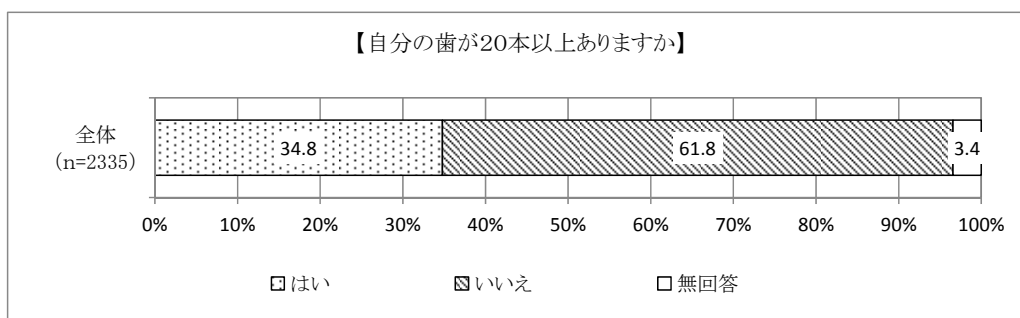
Q 7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか

「いいえ」が67.9%と多数を占め、「はい」は28.3%となっている。



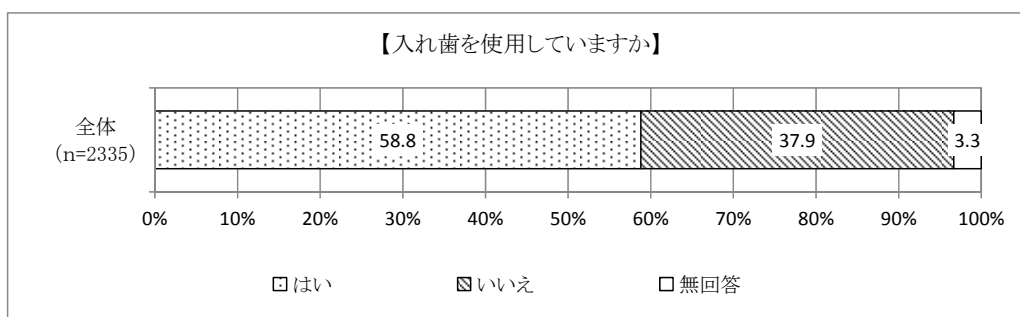
Q 8. 自分の歯が20本以上ありますか

「いいえ」が61.8%と多数を占め、「はい」は34.8%となっている。



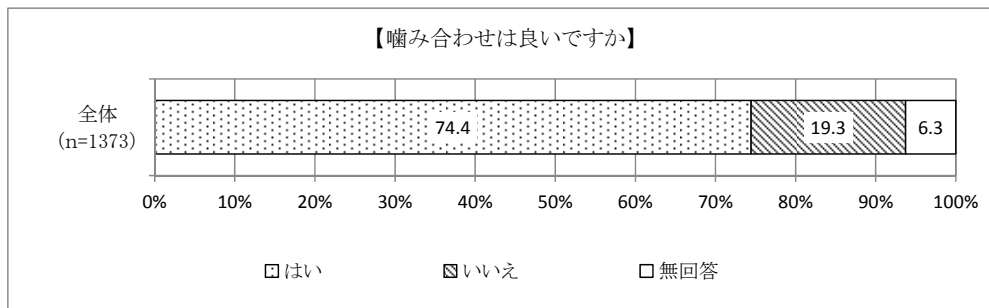
Q 9. 入れ歯を使用していますか

「はい」が58.8%と多数を占めており、「いいえ」は37.9%となっている。



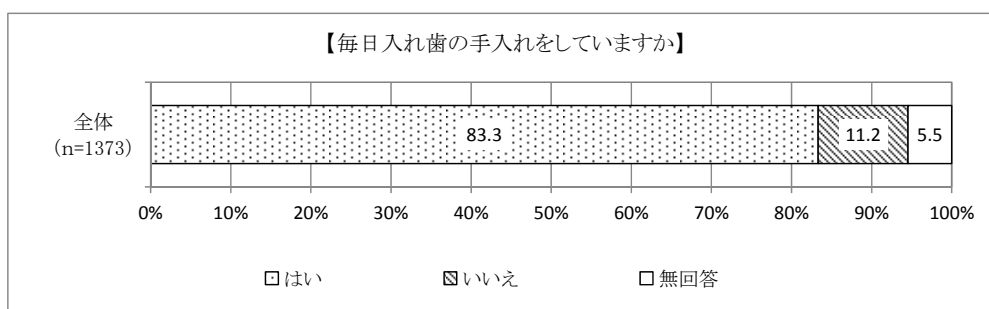
Q 9－1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか

「はい」が74.4%と多数を占めており、「いいえ」は19.3%となっている。



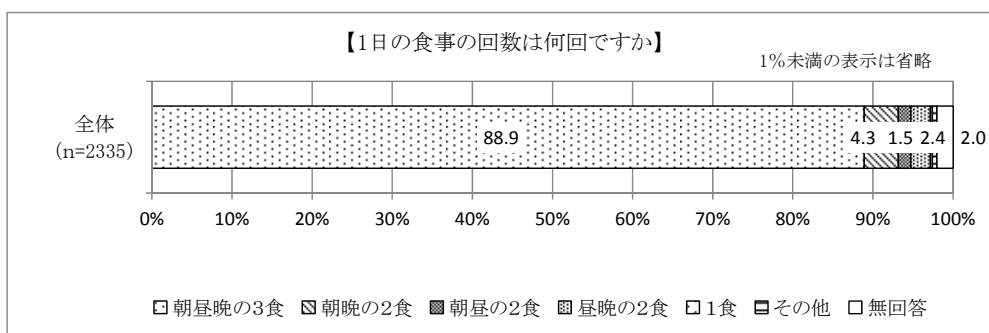
Q 9－2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」が83.3%と多数を占めており、「いいえ」は11.2%となっている。



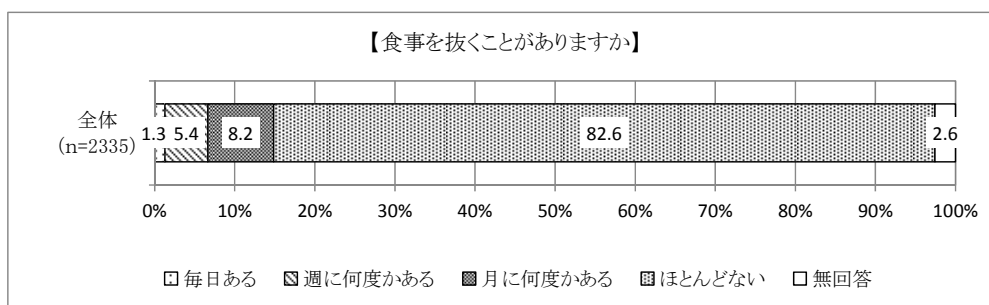
Q 10. 1日の食事の回数は何回ですか

「朝昼晩の3食」が88.9%と多数を占めている。



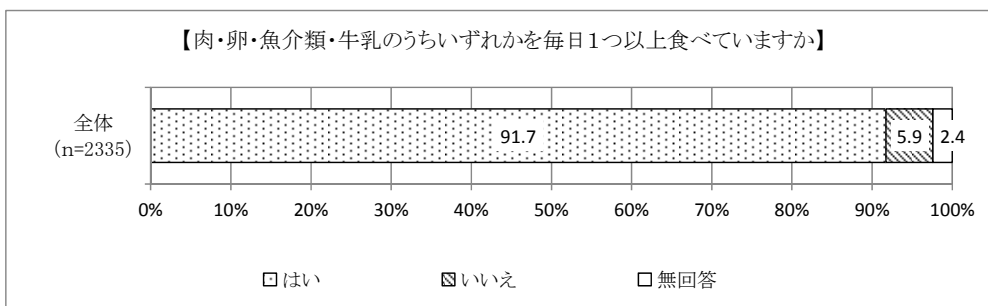
Q 11. 食事を抜くことがありますか

「ほとんどない」が82.6%と多数を占めている。



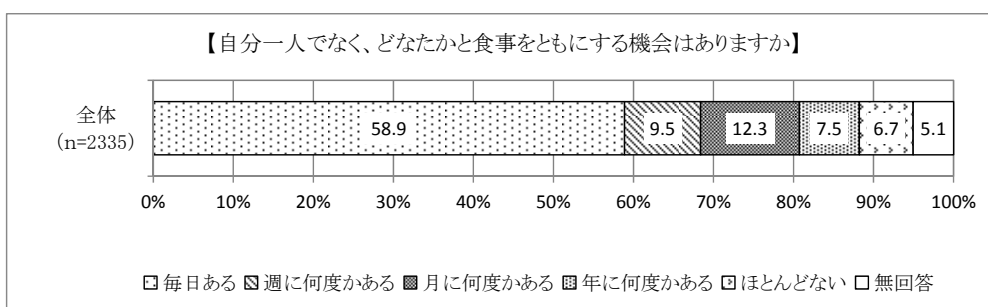
Q 1 2. 肉・卵・魚介類・牛乳のうちいずれかを毎日1つ以上食べていますか

「はい」が91.7%と多数を占めており、「いいえ」は5.9%となっている。



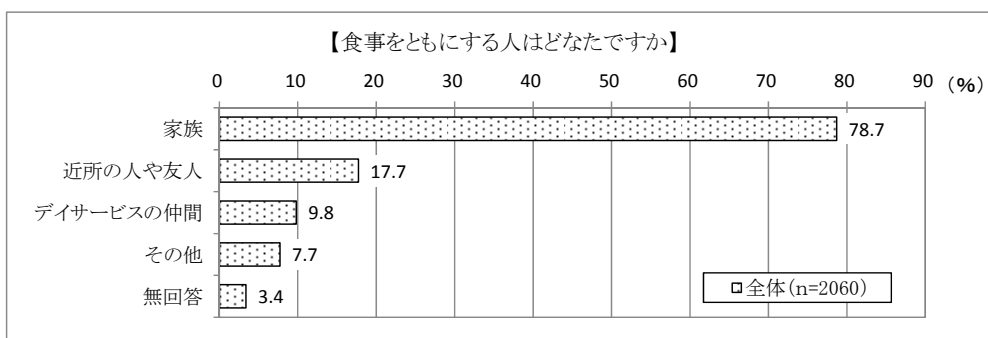
Q 1 3. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか

「毎日ある」が58.9%と最も高く、「ほとんどない」は6.7%と1割未満である。



Q 1 3-1. (どなたかと食事をとる機会がある方のみ) 食事をとる人はどなたですか (いくつでも)

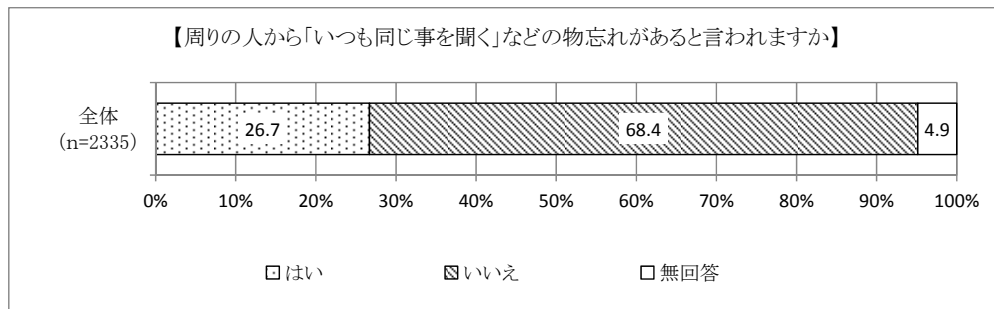
「家族」が78.7%と多数を占めており、以下、「近所の人や友人」(17.7%)、「デイサービスの仲間」(9.8%)となっている。



5 物忘れについて

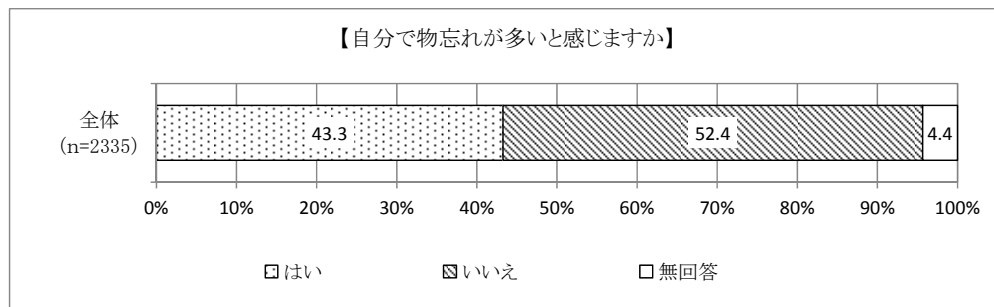
Q 1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか

「いいえ」が68.4%と多数を占めており、「はい」は26.7%となっている。



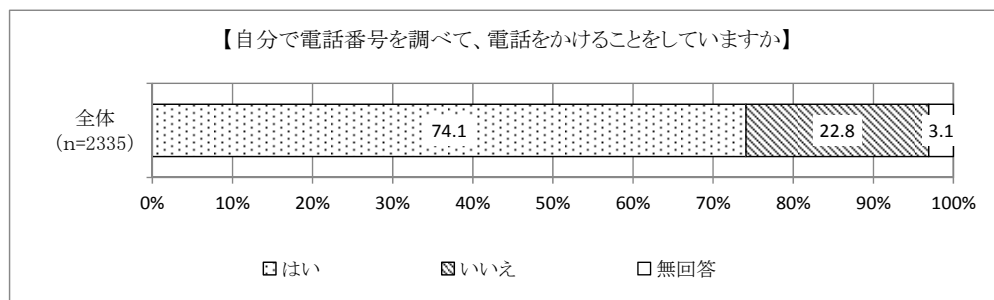
Q 2. 自分で物忘れが多いと感じますか

「いいえ」が 52.4%、「はい」が 43.3%と、“いいえ”の比率がわずかに高い。



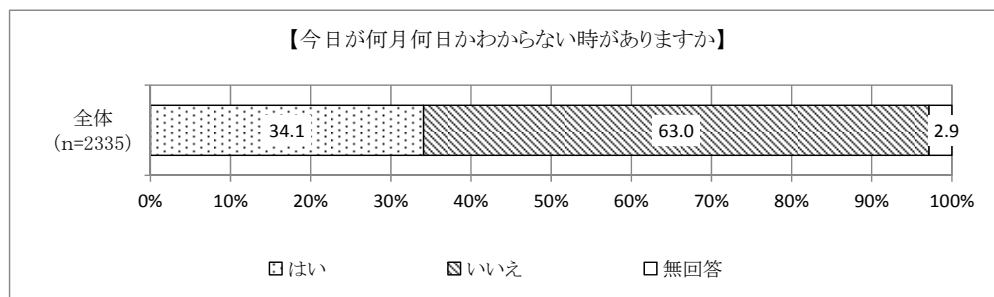
Q 3. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」が 74.1%と多数を占め、「いいえ」は 22.8%となっている。



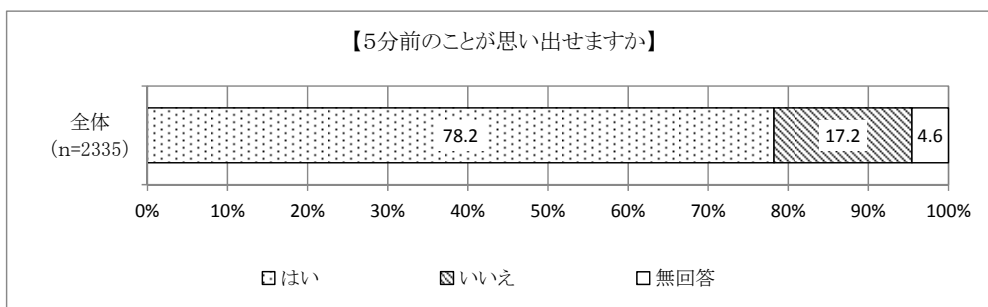
Q 4. 今日が何月何日かわからない時がありますか

「いいえ」が 63.0%と多数を占め、「はい」は 34.1%となっている。



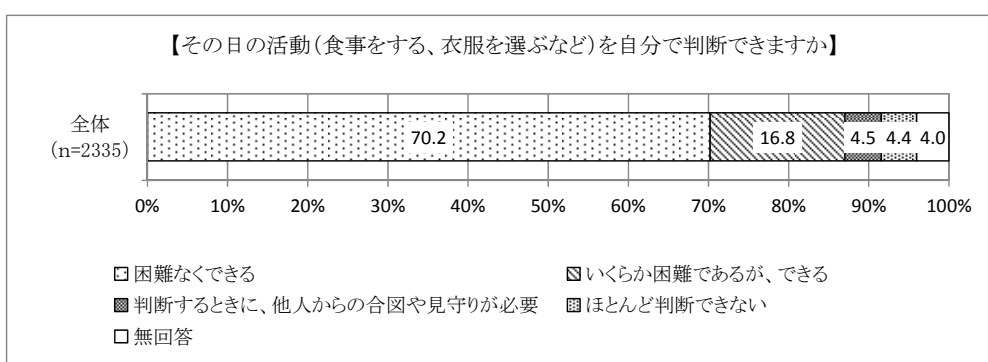
Q 5. 5分前のことが思い出せますか

「はい」が78.2%と多数を占め、「いいえ」は17.2%となっている。



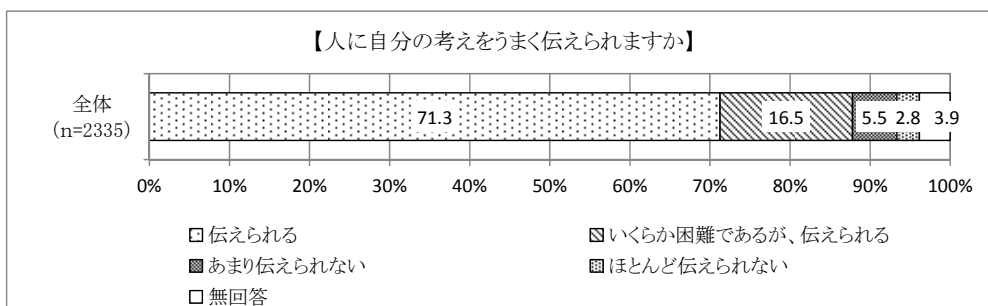
Q 6. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか

「困難なくできる」が70.2%と多数を占め、「ほとんど判断できない」は4.4%となっている。



Q 7. 人に自分の考えをうまく伝えられますか

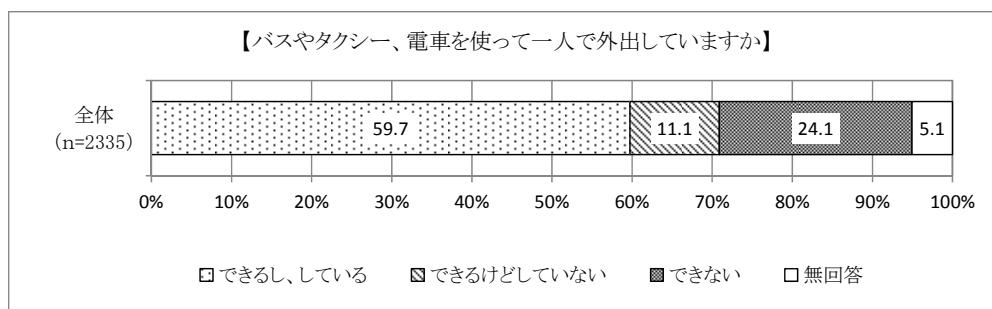
「伝えられる」が71.3%と多数を占め、「ほとんど伝えられない」は2.8%となっている。



6 日常生活について

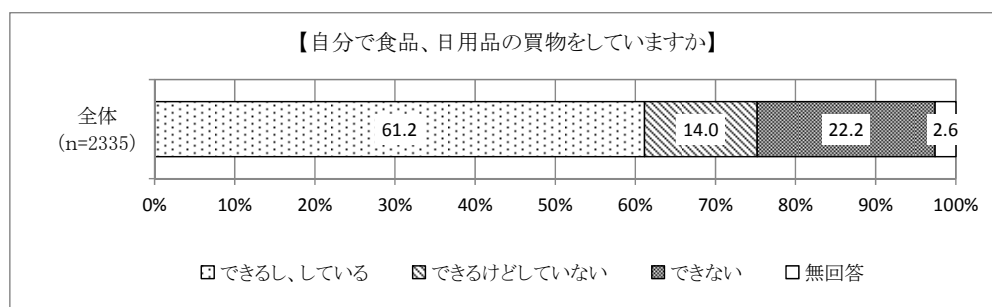
Q 1. バスやタクシー、電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」が59.7%と多数を占め、「できない」は24.1%となっている。



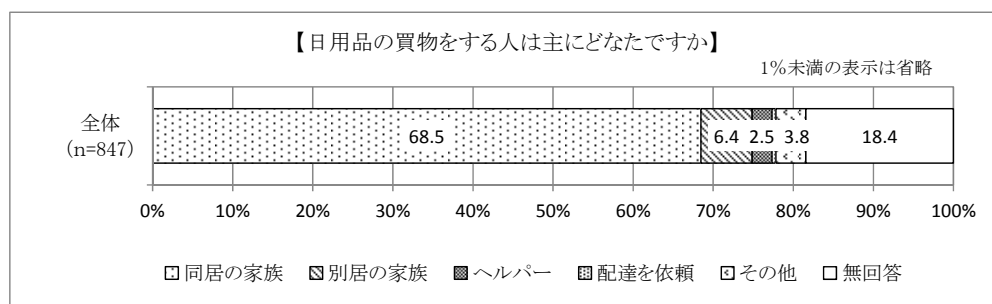
Q 2. 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が 61.2% と多数を占め、「できない」は 22.2% となっている。



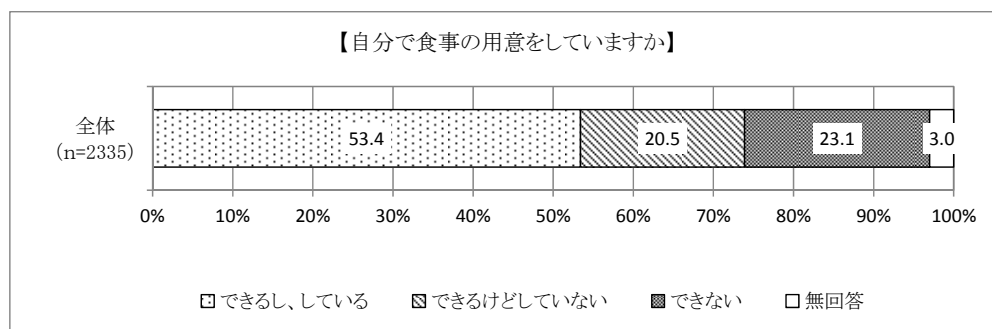
Q 2-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか

「同居の家族」が 68.5% と多数を占め、「別居の家族」が 6.4% となっている。



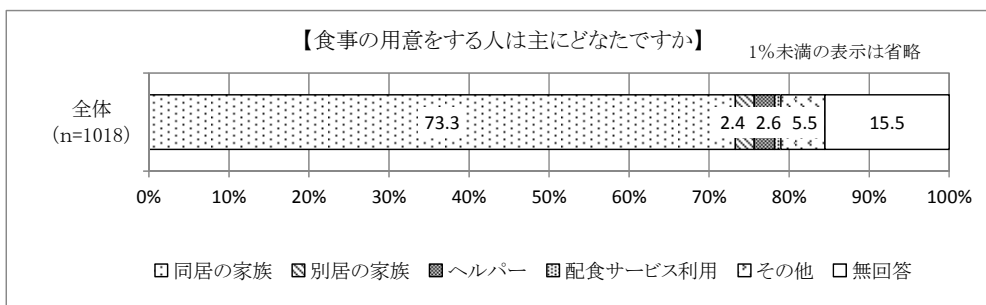
Q 3. 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」が 53.4% と多数を占め、「できない」は 23.1% となっている。



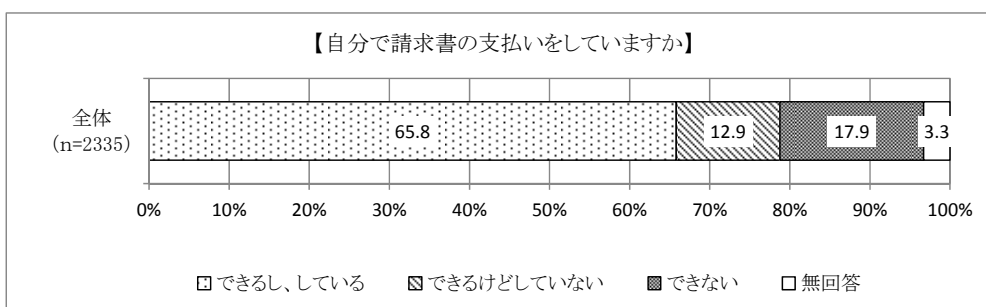
Q 3 - 1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか

「同居の家族」が73.3%と多数を占めている。



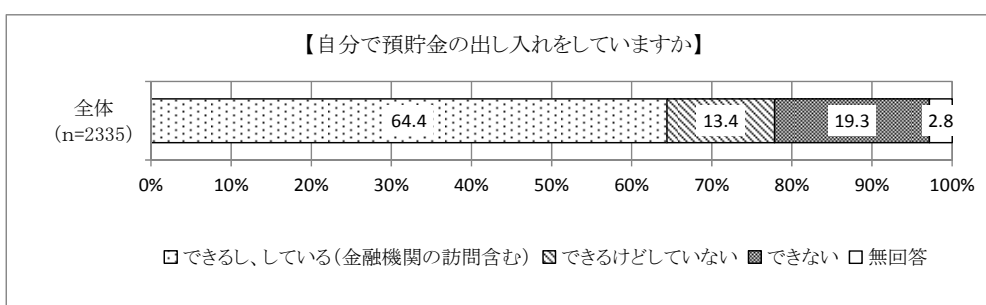
Q 4. 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が65.8%と多数を占め、「できない」は17.9%となっている。



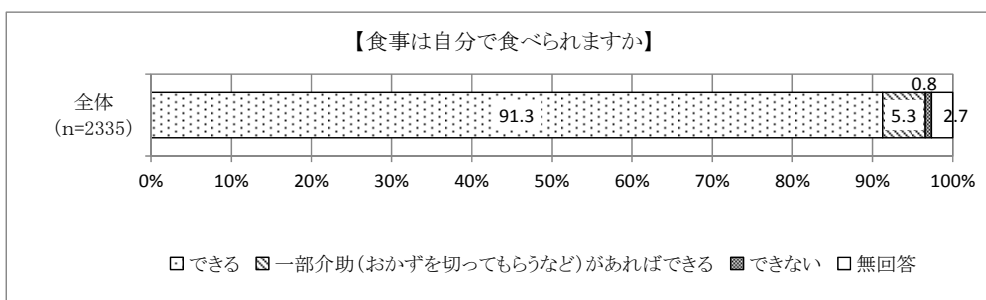
Q 5. 自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している(金融機関の訪問含む)」が64.4%と多数を占め、「できない」は19.3%となっている。



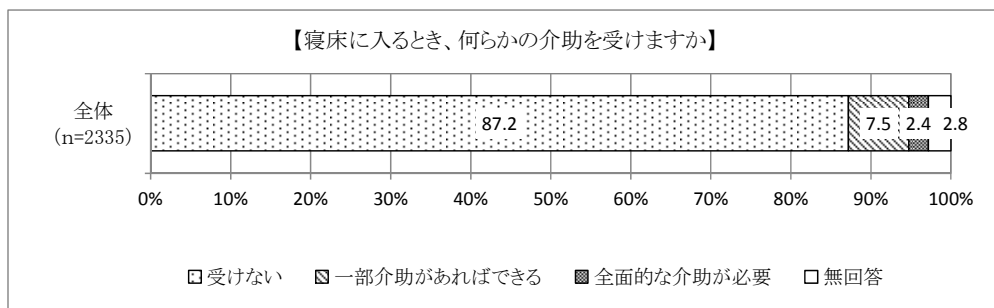
Q 6. 食事は自分で食べられますか

「できる」が91.3%と多数を占めており、「できない」は0.8%となっている。



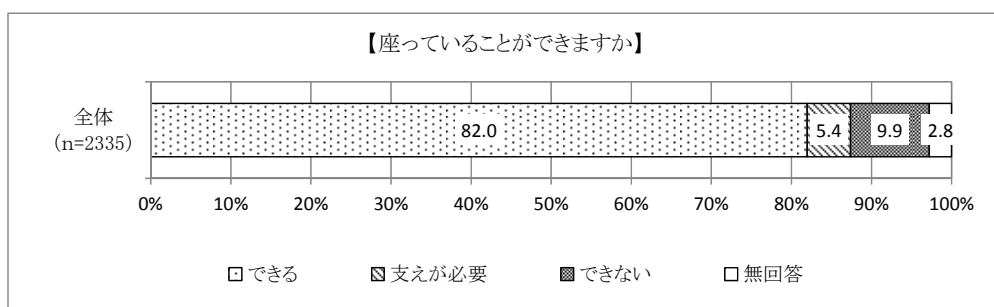
Q 7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか

「受けない」が87.2%と多数を占め、「全面的な介助が必要」は2.4%となっている。



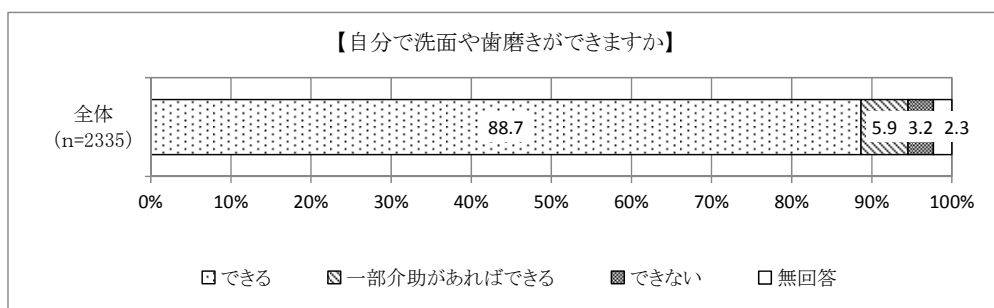
Q 8. 座っていることができますか

「できる」が82.0%と多数を占めており、「できない」は9.9%となっている。



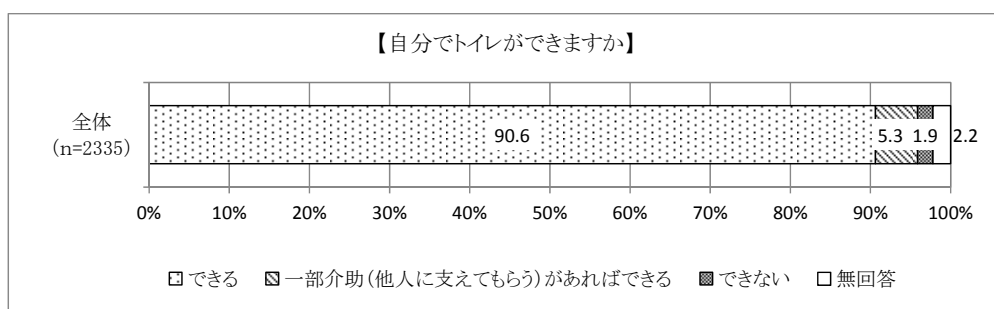
Q 9. 自分で洗面や歯磨きができますか

「できる」が88.7%と多数を占めており、「できない」は3.2%となっている。



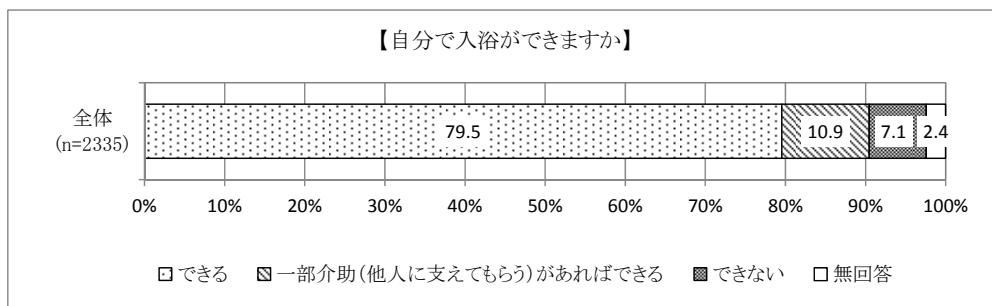
Q 10. 自分でトイレができますか

「できる」が90.6%と多数を占めており、「できない」は1.9%となっている。



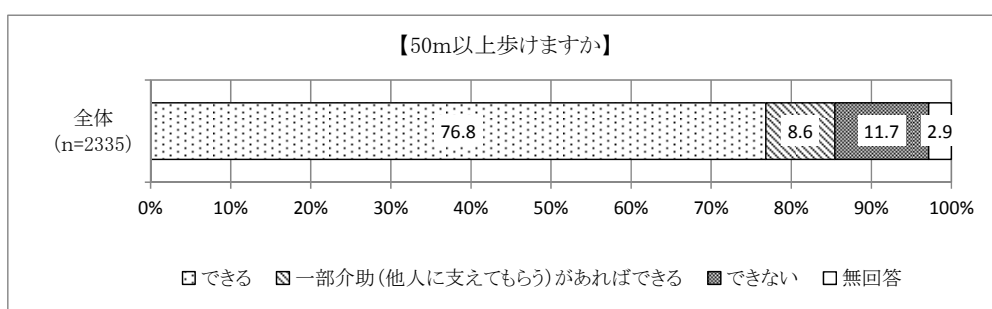
Q 1 1. 自分で入浴ができますか

「できる」が79.5%と多数を占めており、「できない」は7.1%となっている。



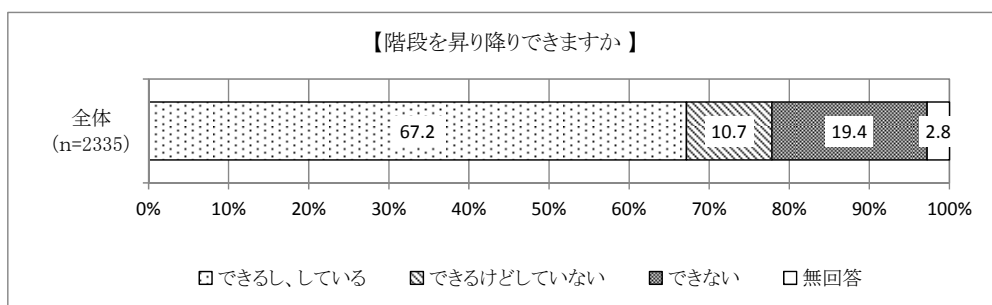
Q 1 2. 50m以上歩けますか

「できる」が76.8%と多数を占めており、「できない」は11.7%となっている。



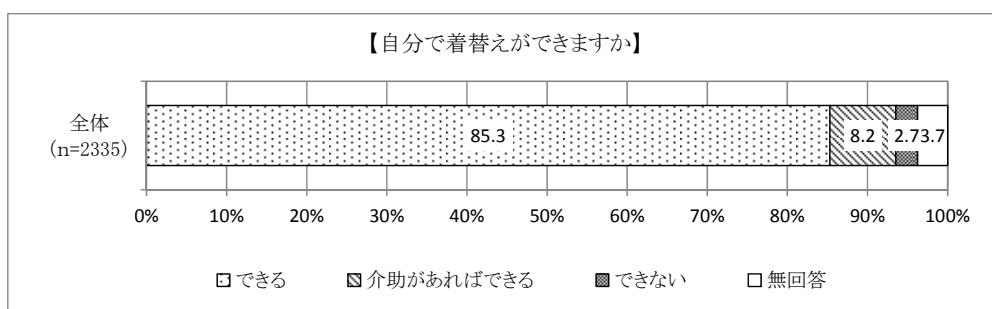
Q 1 3. 階段を昇り降りできますか

「できるし、している」が67.2%と多数を占め、「できない」は19.4%となっている。



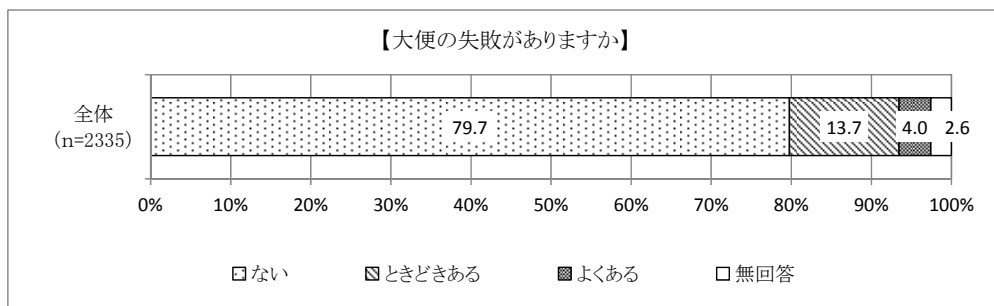
Q 1 4. 自分で着替えができますか

「できる」が85.3%と多数を占めており、「できない」は2.7%となっている。



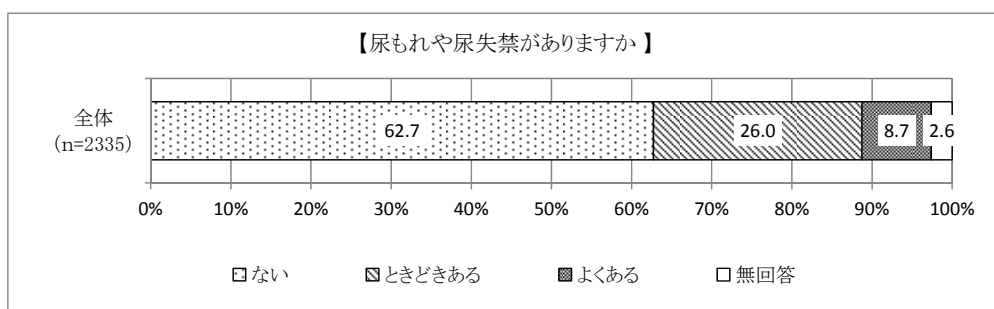
Q 1 5. 大便の失敗がありますか

「ない」が79.7%と多数を占め、「よくある」は4.0%となっている。



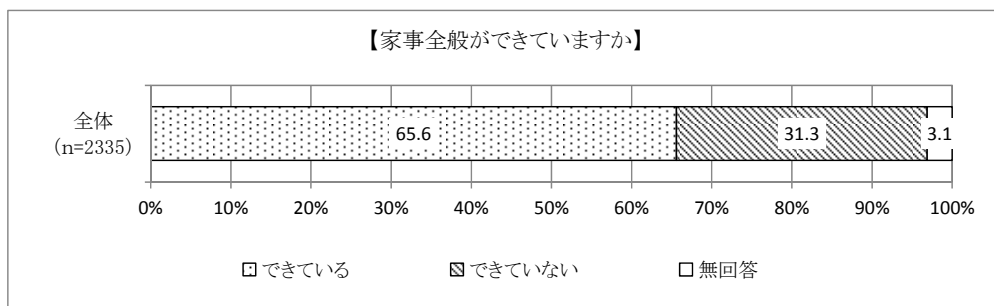
Q 1 6. 尿もれや尿失禁がありますか

「ない」が62.7%と多数を占めており、「よくある」は8.7%となっている。



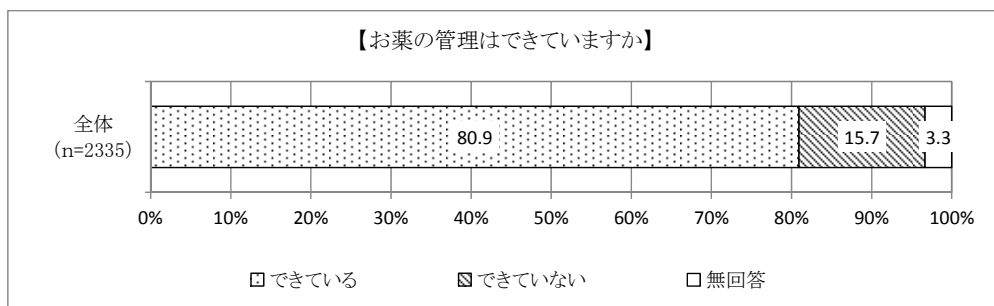
Q 1 7. 家事全般ができていますか

「できている」が65.6%と多数を占めており、「できていない」は31.3%となっている。



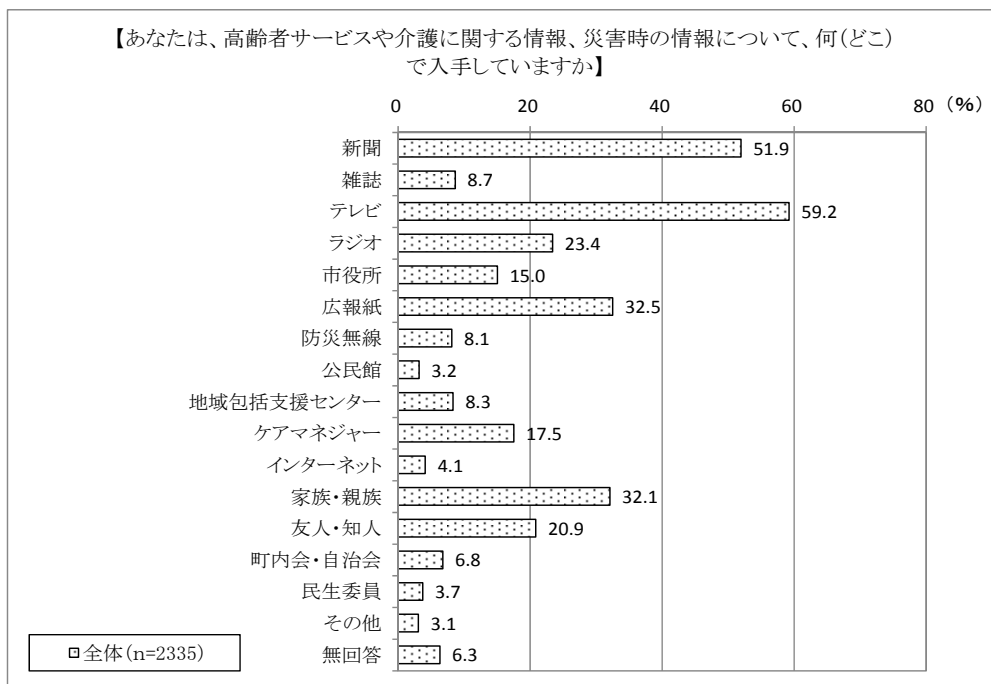
Q 1 8. お薬の管理はできていますか

「できている」が80.9%と多数を占めており、「できていない」は15.7%となっている。



Q 19. あなたは、高齢者サービスや介護に関する情報、災害時の情報について、何（どこ）で入手していますか（いくつでも）

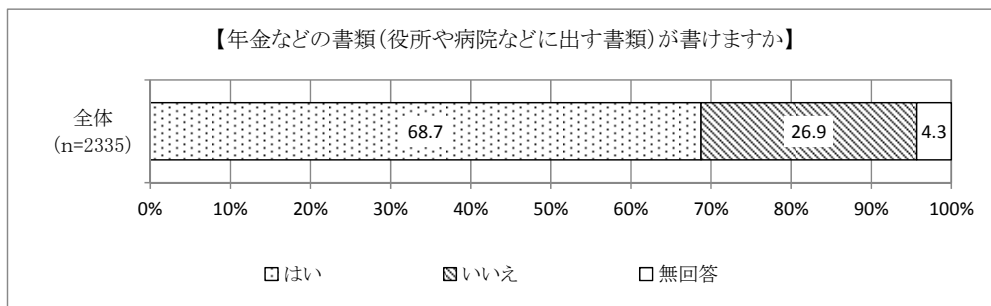
「テレビ」(59.2%) 及び「新聞」(51.9%) の比率が高く過半数を占める。



7 社会参加について

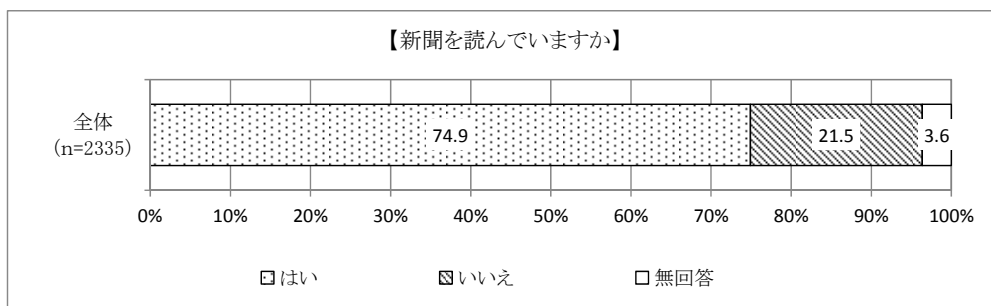
Q 1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」が68.7%と多数を占めており、「いいえ」は26.9%となっている。



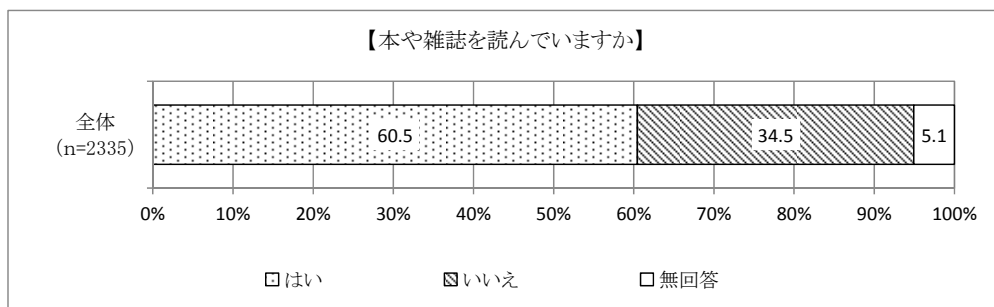
Q 2. 新聞を読んでいますか

「はい」が74.9%と多数を占めており、「いいえ」は21.5%となっている。



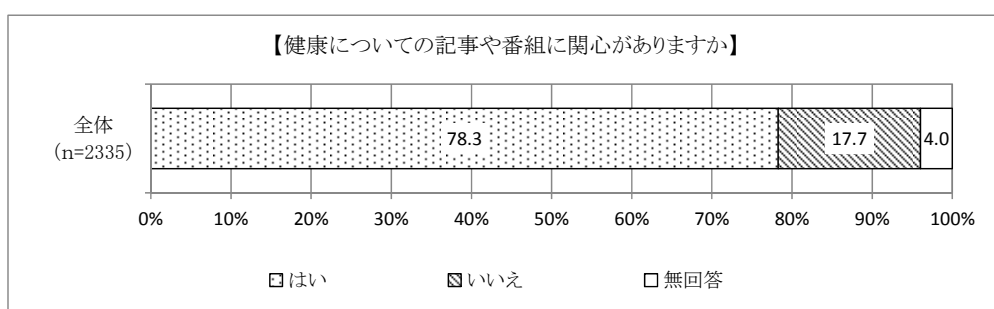
Q 3. 本や雑誌を読んでいますか

「はい」が60.5%と多数を占めており、「いいえ」は34.5%となっている。



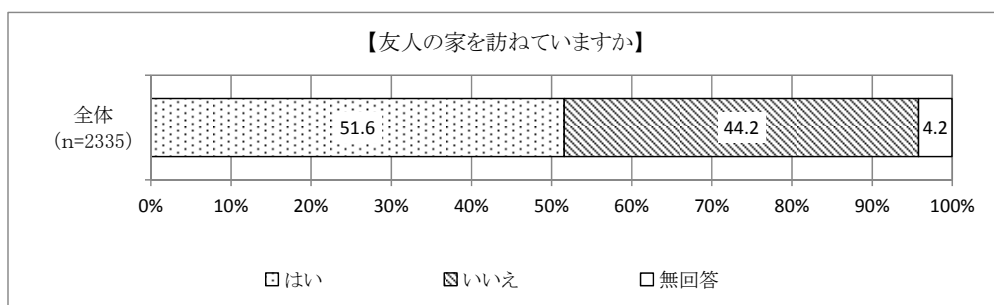
Q 4. 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」が78.3%と多数を占めており、「いいえ」は17.7%となっている。



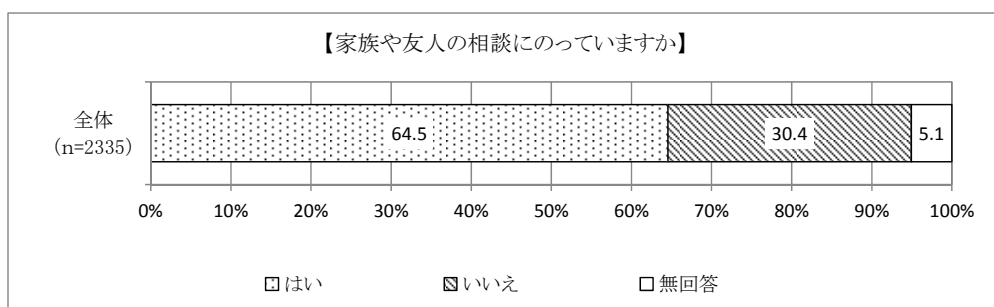
Q 5. 友人の家を訪ねていますか

「はい」が51.6%、「いいえ」は44.2%となっている。



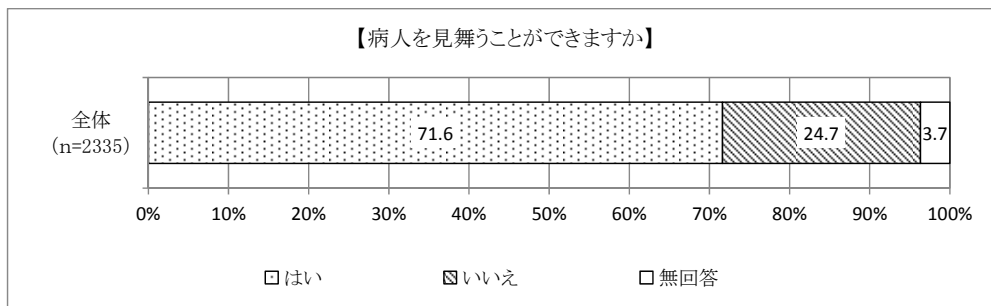
Q 6. 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が64.5%と多数を占めており、「いいえ」は30.4%となっている。



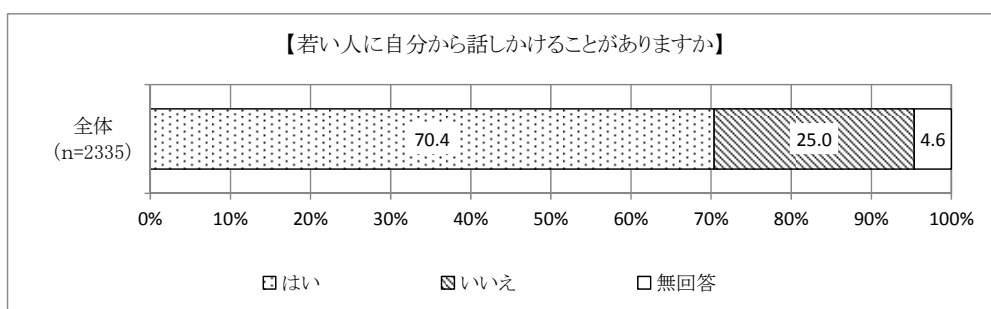
Q 7. 病人を見舞うことができますか

「はい」が71.6%と多数を占めており、「いいえ」は24.7%となっている。



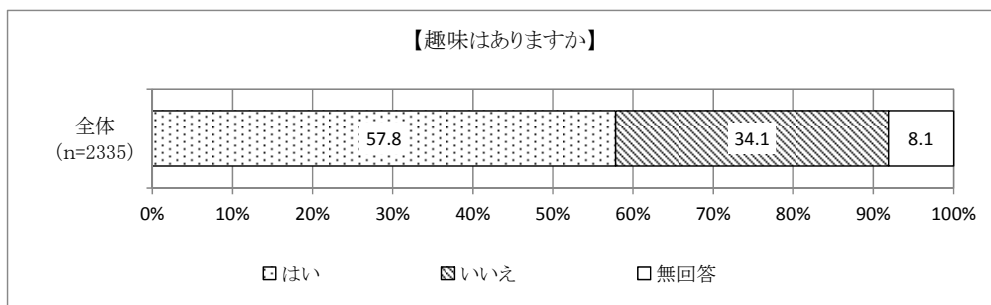
Q 8. 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」が70.4%と多数を占めており、「いいえ」は25.0%となっている。



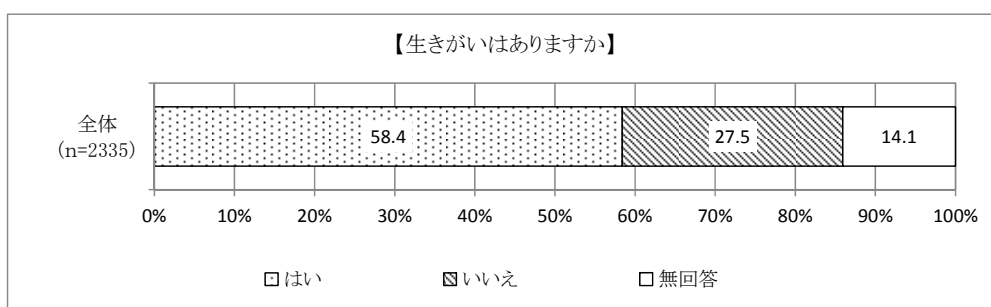
Q 9. 趣味はありますか

「はい」が57.8%と過半数を占め、「いいえ」は34.1%となっている。



Q 10. 生きがいがありますか

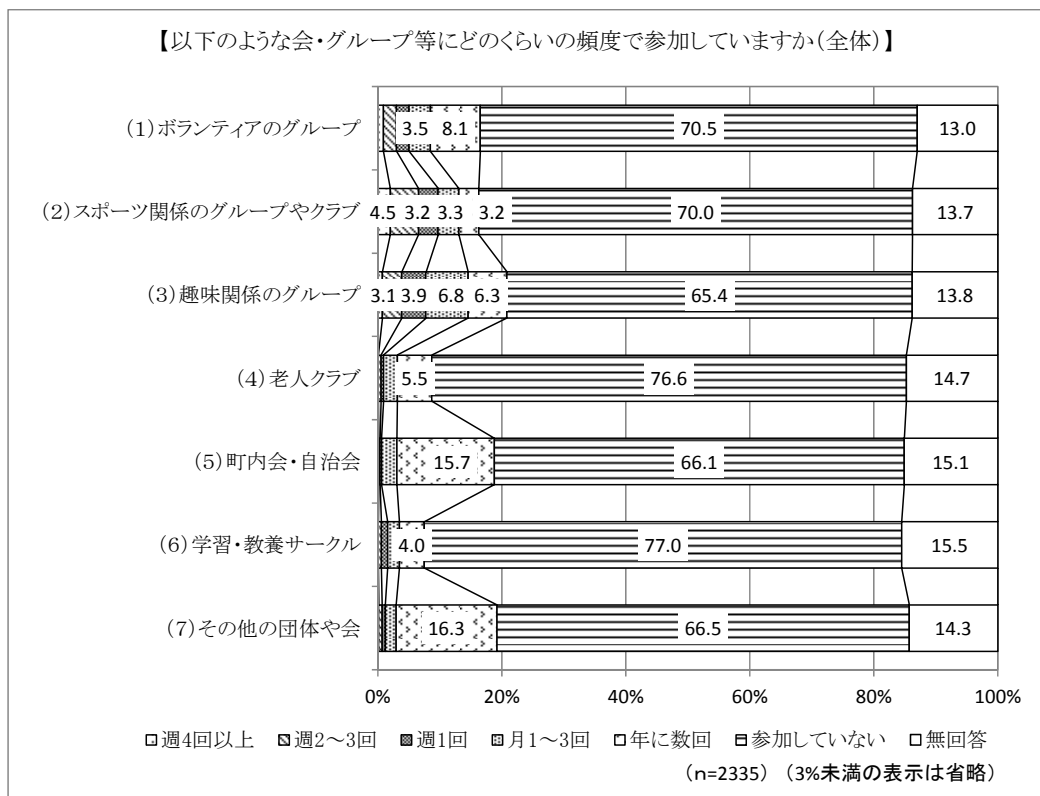
「はい」が58.4%と過半数を占め、「いいえ」は27.5%となっている。



Q 1 1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

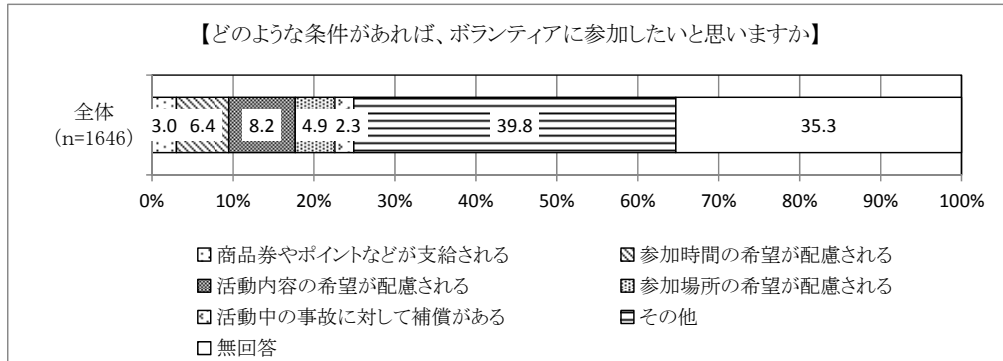
(1) ～ (7) について、それぞれ回答してください

年に数回以上参加している人の比率は、(1) ボランティアのグループは 16.5%、(2) スポーツ関係のグループやクラブは 16.3%、(3) 趣味関係のグループは 20.8%、(4) 老人クラブは 8.7%、(5) 町内会・自治会は 18.8%、(6) 学習・教養サークルは 7.5%、(7) その他の団体や会（高齢者サロン、世代間交流会、祭り、行事など）は 19.2%となっている。



Q11 (1-2) . (1) で「6. 参加していない」に○を付けた方に伺います。どのような条件があれば、ボランティアに参加したいと思いますか。

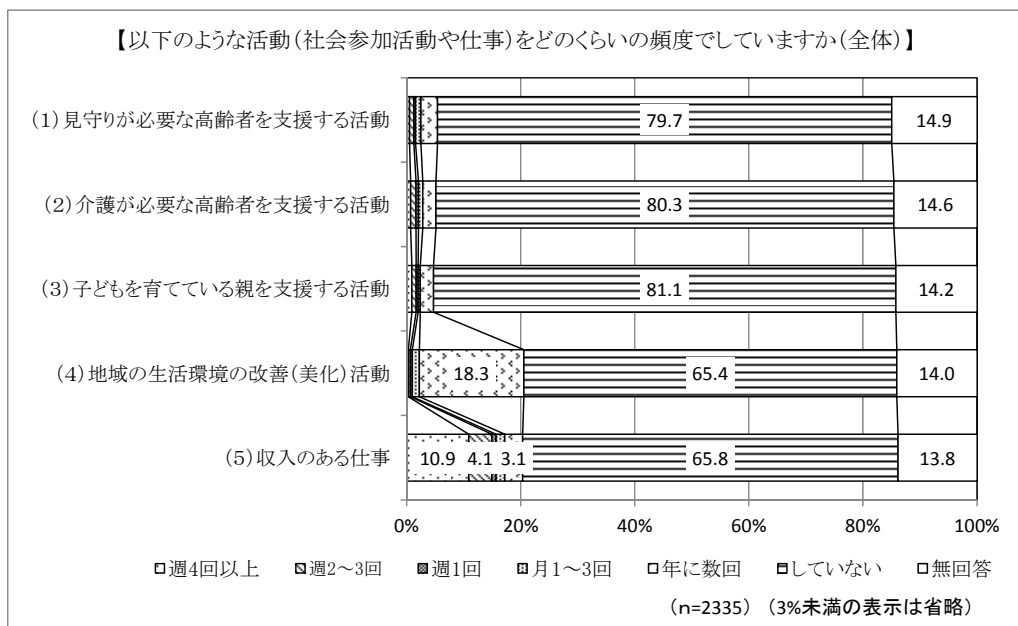
「活動内容の希望が配慮される」が 8.2%、「参加時間の希望が配慮される」は 6.4%などとなっている。なお、「その他」(39.8%)の内容としては、高齢や身体面、移動の困難さ等を理由に参加できない旨の意見が多くみられる。



**Q12. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか
(1)～(5)について、それぞれ回答してください**

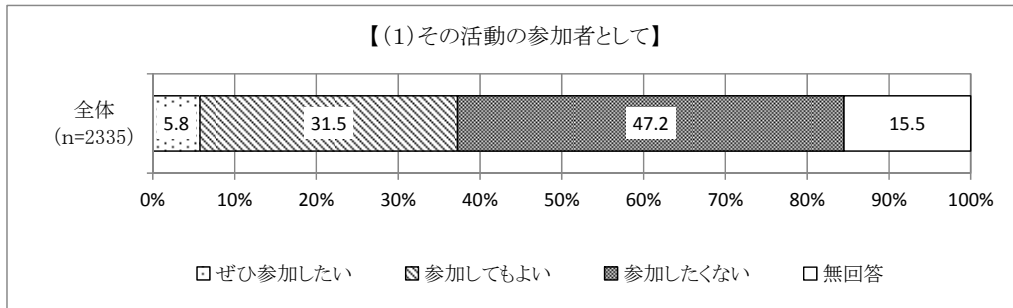
年に数回以上参加している人の比率は、(1)見守りが必要な高齢者を支援する活動は5.4%、(2)介護が必要な高齢者を支援する活動は5.1%、(3)子どもを育てている親を支援する活動は4.7%、(4)地域の生活環境の改善(美化)活動は20.6%、(5)収入のある仕事は20.3%となっている。

また、(4)地域の生活環境の改善(美化)活動は「年に数回」(18.3%)が、(5)収入のある仕事は「週4回以上」(10.9%)が、それぞれ高い比率となっている。



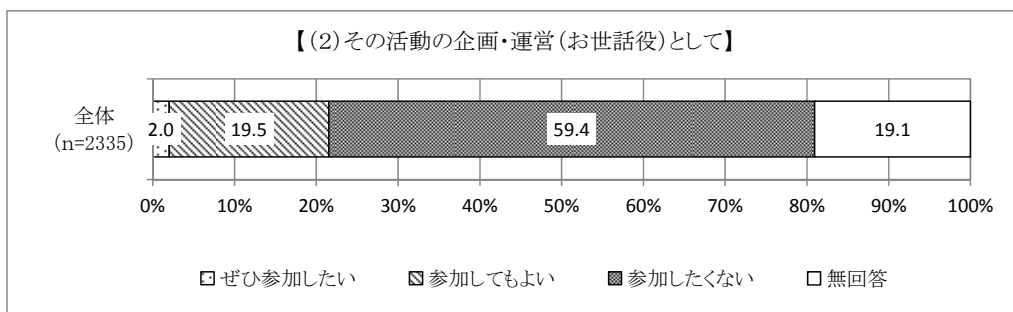
Q 1 3 （１）． 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」(31.5%)と「ぜひ参加したい」(5.8%)を合わせて参加意向がある方は37.3%となっている。



（２）その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」(19.5%)と「ぜひ参加したい」(2.0%)を合わせて参加意向がある方は21.5%となっている。

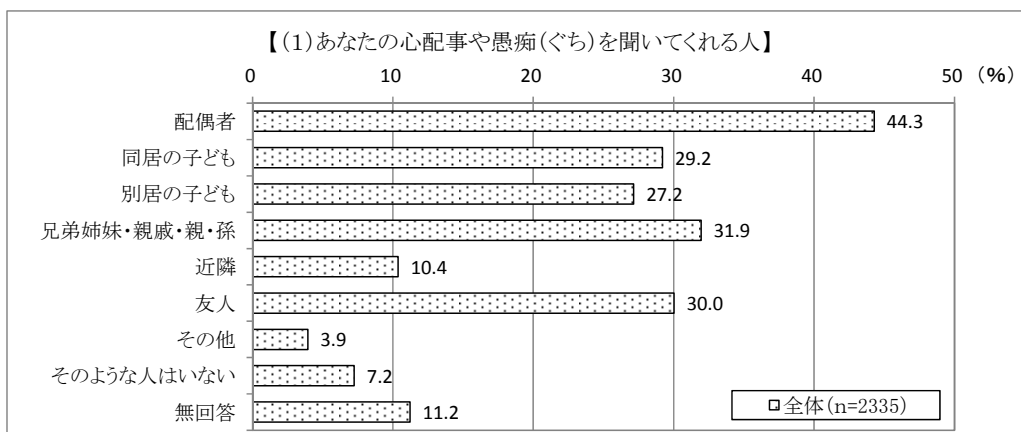


Q 1 4． あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

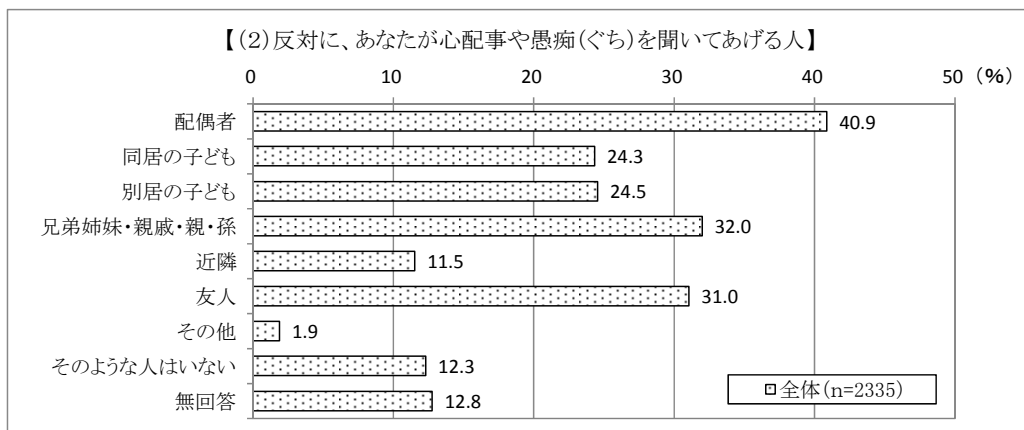
（１）～（４）について、あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「８． そのような人はいない」に○をつけてください

（１） あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

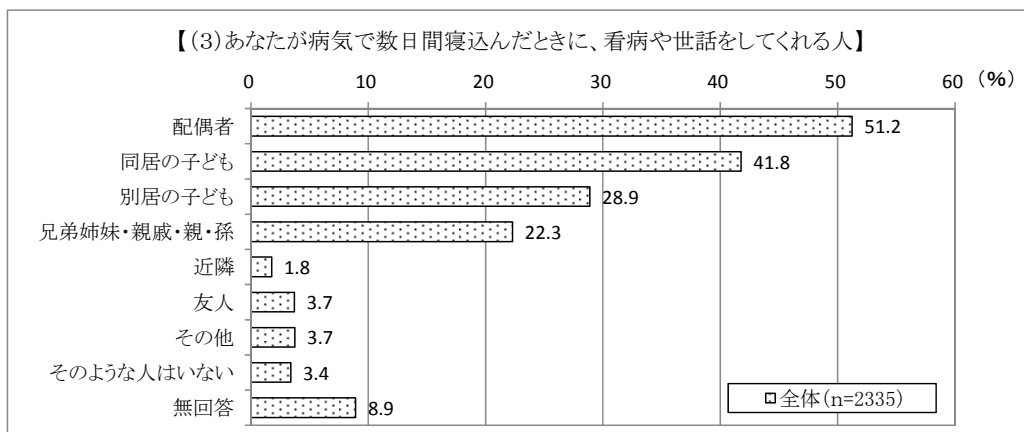
「配偶者」が44.3%と最も高い。なお、「そのような人はいない」は7.2%である。



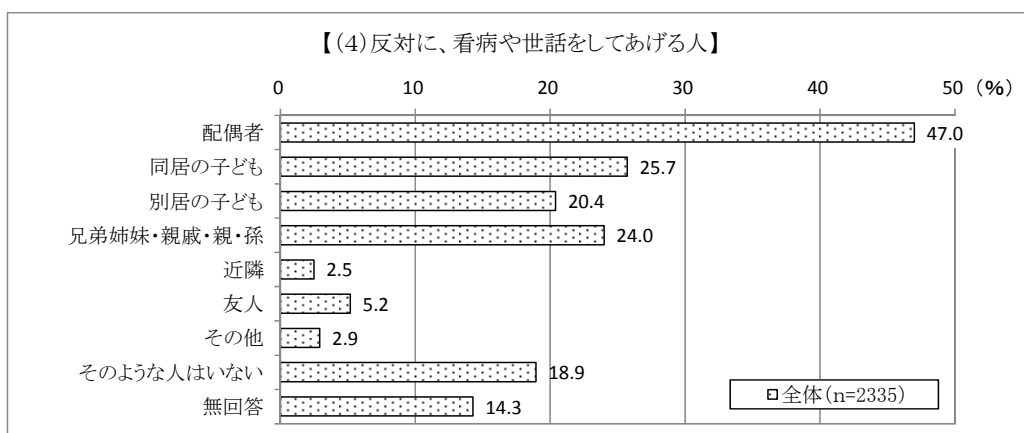
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）
「配偶者」が40.9%と最も高い。なお、「そのような人はいない」は12.3%である。



- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）
「配偶者」が51.2%と最も高い。なお、「そのような人はいない」は3.4%である。

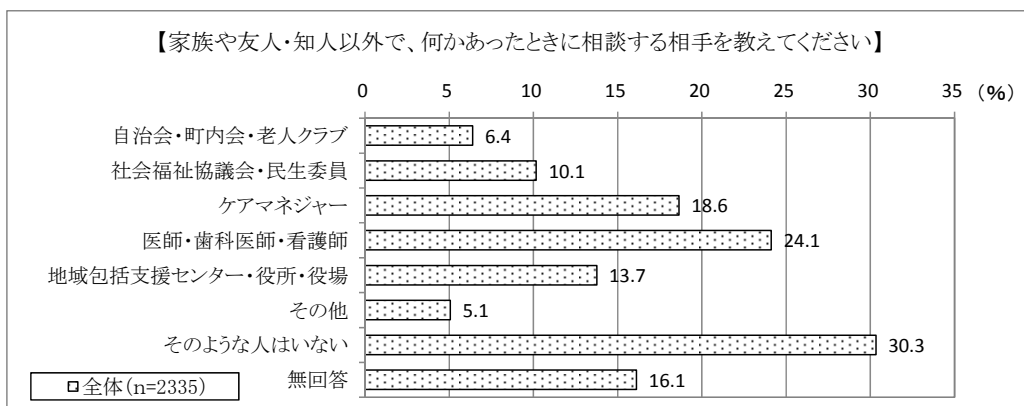


- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）
「配偶者」が47.0%と最も高い。なお、「そのような人はいない」は18.9%である。



**Q 1 5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)**

「医師・歯科医師・看護師」が 24.1%で最も高い。なお、「そのような人はいない」は 30.3%である。

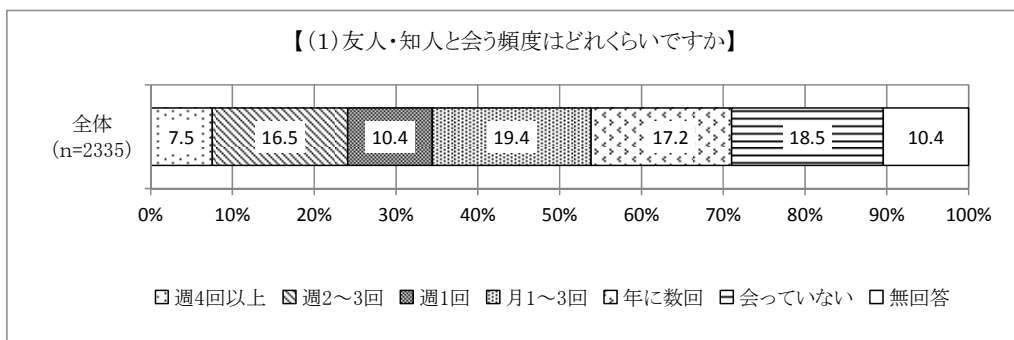


Q 1 6. 友人関係についておうかがいします

(1) ～ (3) について、それぞれ回答してください

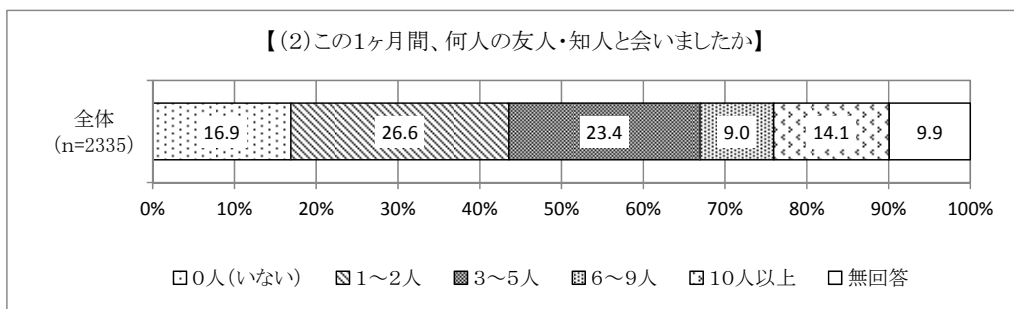
(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

「月 1 ～ 3 回」が 19.4%と最も高い。なお、「会っていない」は 18.5%となっている。



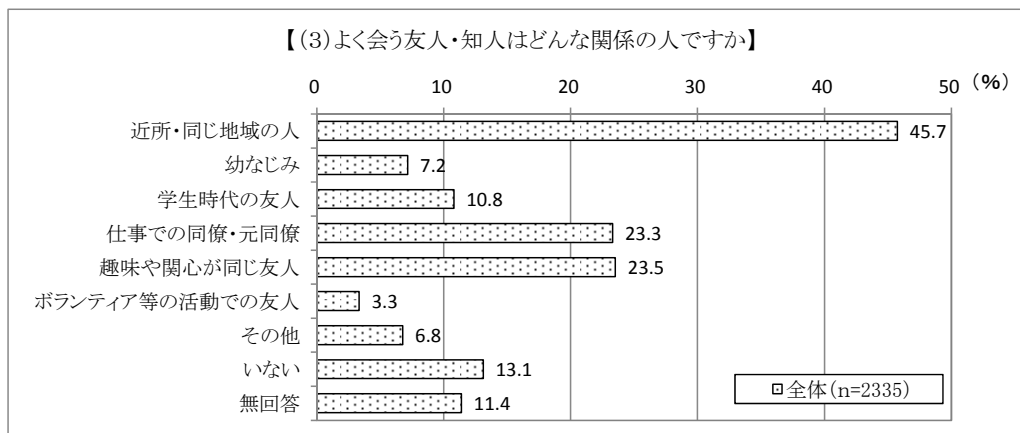
(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします

「1 ～ 2 人」が 26.6%と最も高い。「0 人 (いない)」は 16.9%となっている。



（３）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

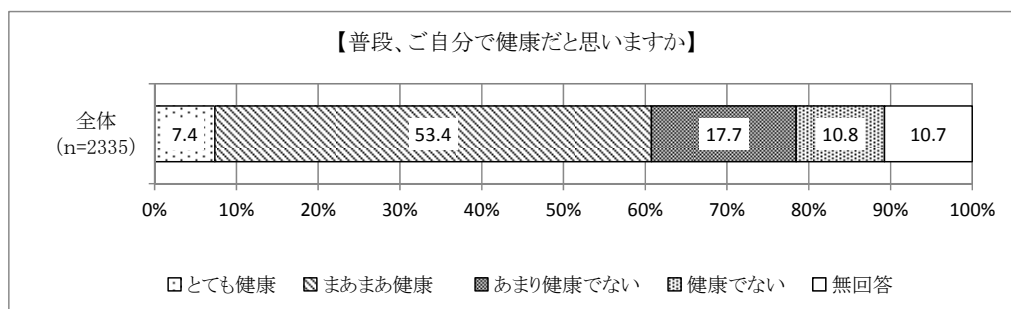
「近所・同じ地域の人」が45.7%と多数を占め、以下、「趣味や関心が同じ友人」(23.5%)、「仕事での同僚・元同僚」(23.3%)と続いている。



8 健康について

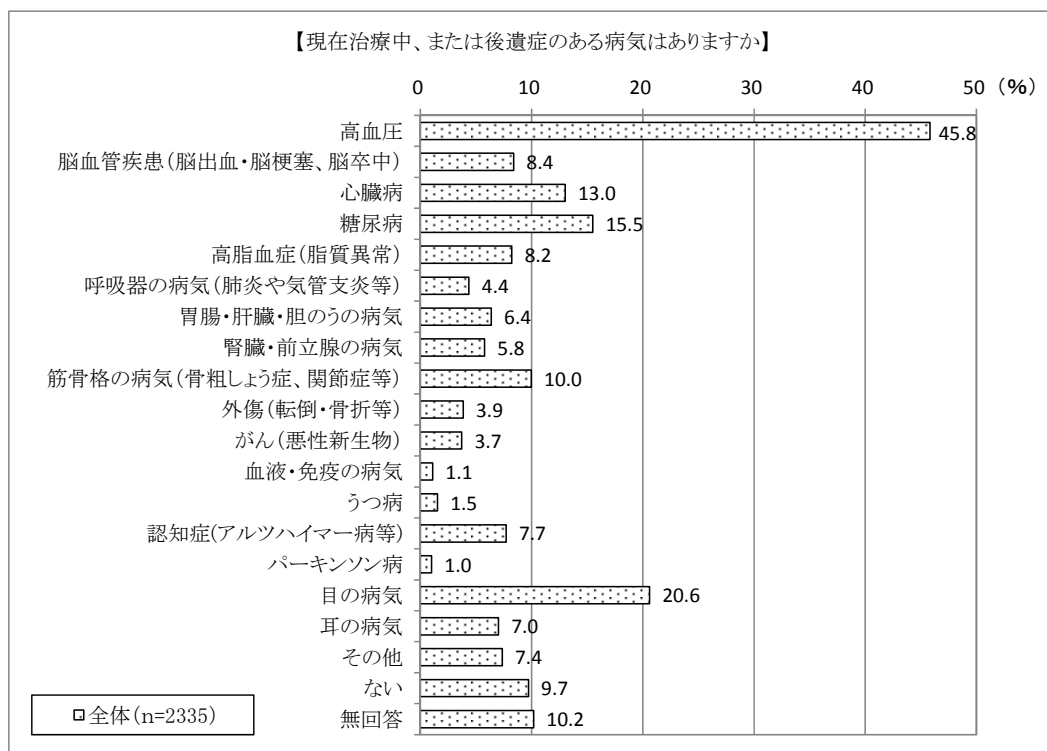
Q 1. 普段、ご自分で健康だと思いますか

「まあまあ健康」(53.4%)と「とても健康」(7.4%)を合わせて「健康である」が60.8%である。



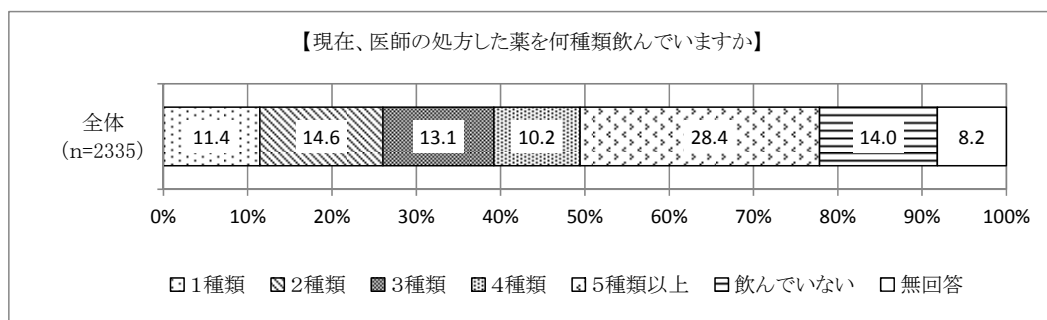
Q 2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」が45.8%と最も高く、以下、「目の病気」(20.6%)、「糖尿病」(15.5%)、「心臓病」(13.0%)、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」(10.0%)と続いている。



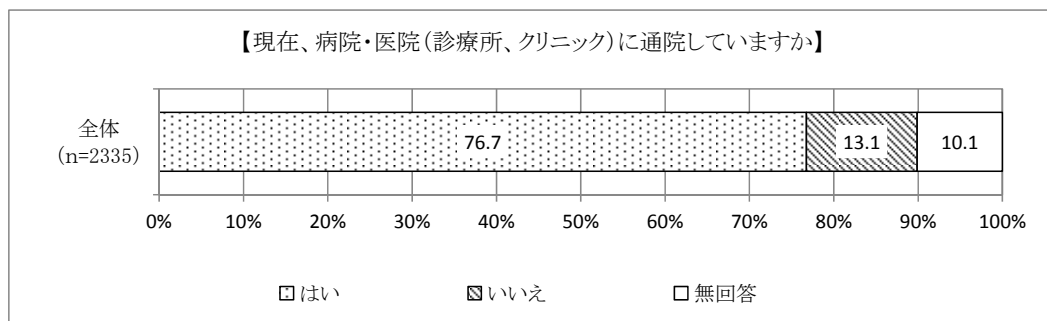
Q 3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか

「5種類以上」が28.4%と最も高い。なお。「飲んでいない」は14.0%となっている。



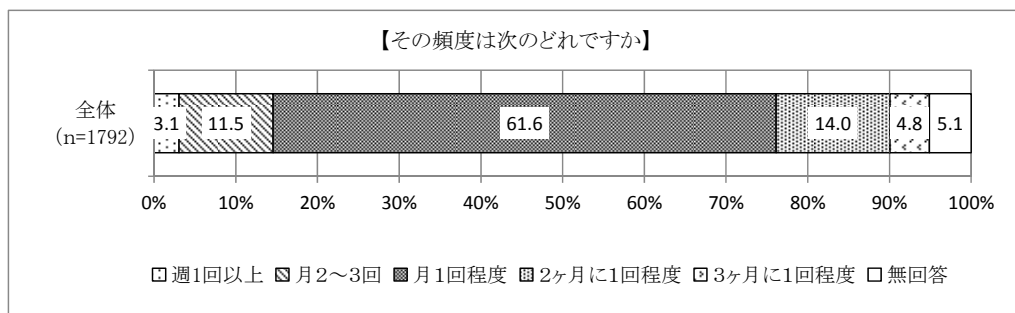
Q 4. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか

「はい」が76.7%と過半数を占め、「いいえ」は13.1%となっている。



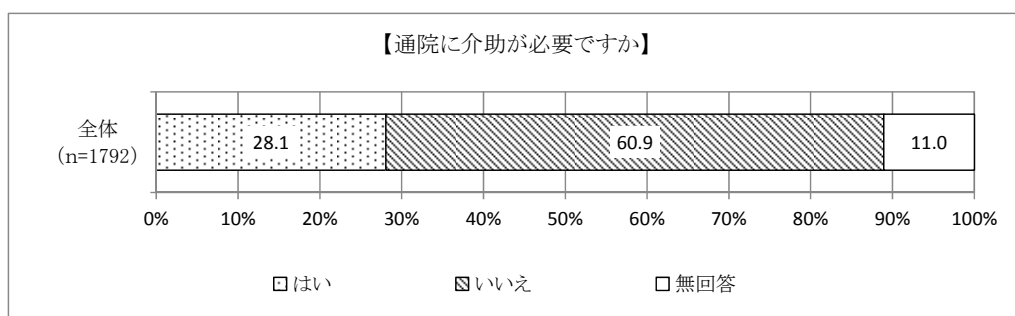
Q 4－1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか

「月1回程度」が61.6%と多数を占めている。



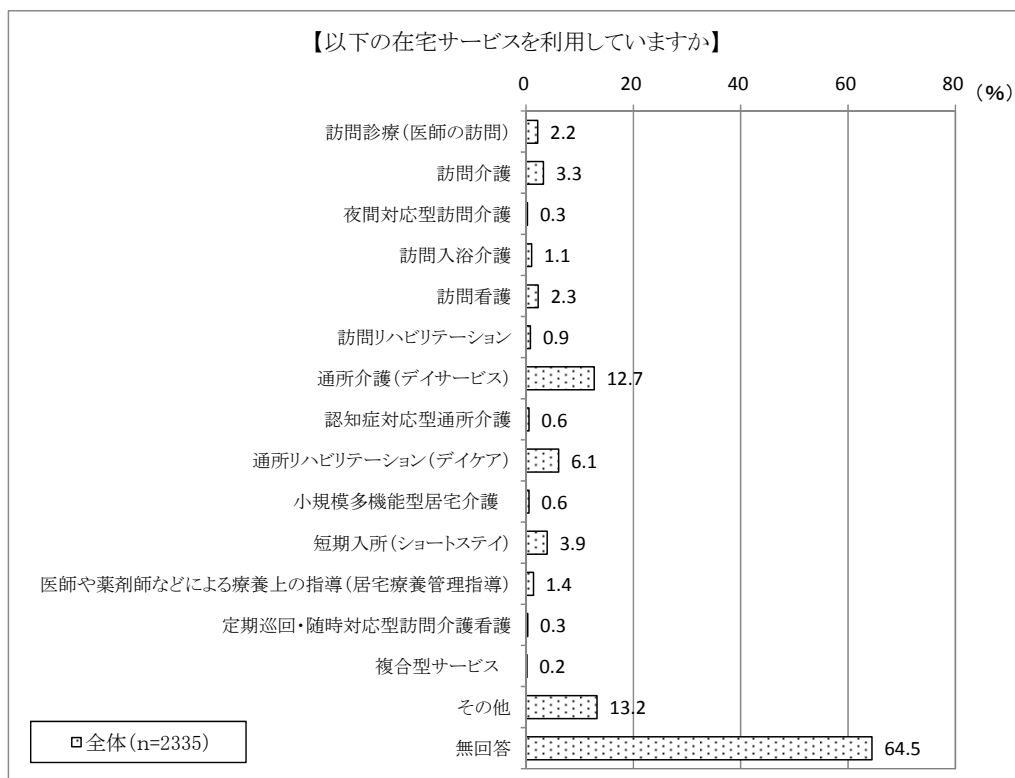
Q 4－2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

「いいえ」が60.9%と過半数を占め、「はい」は28.1%となっている。



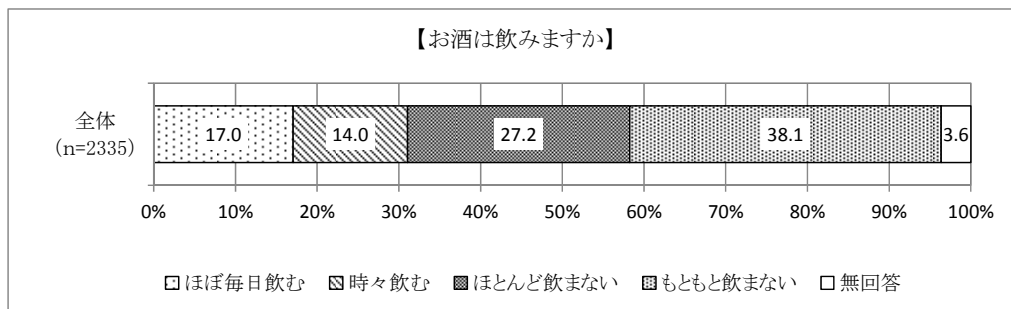
Q 5. 以下の在宅サービスを利用していますか (いくつでも)

「通所介護 (デイサービス)」が12.7%と最も高く、「通所リハビリテーション (デイケア)」(6.1%)、「短期入所 (ショートステイ)」(3.9%)、「訪問介護」(3.3%)と続いている。



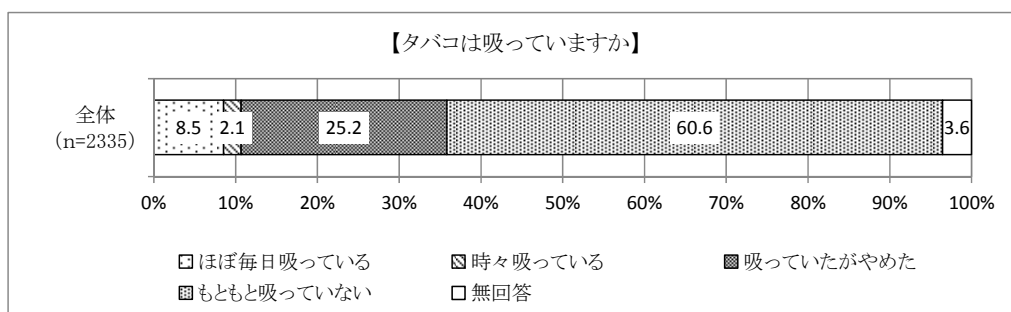
Q 6. お酒は飲みますか

「もともと飲まない」が38.1%、「ほとんど飲まない」は27.2%、「ほぼ毎日飲む」は17.0%、「時々飲む」は14.0%となっている。



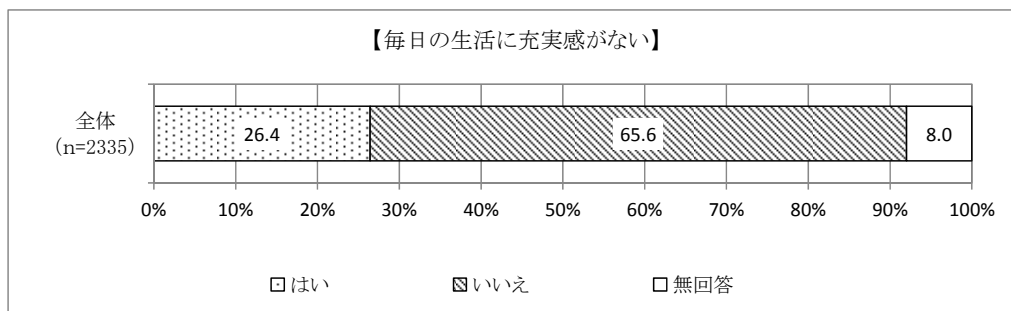
Q 7. タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が60.6%と多数を占める。



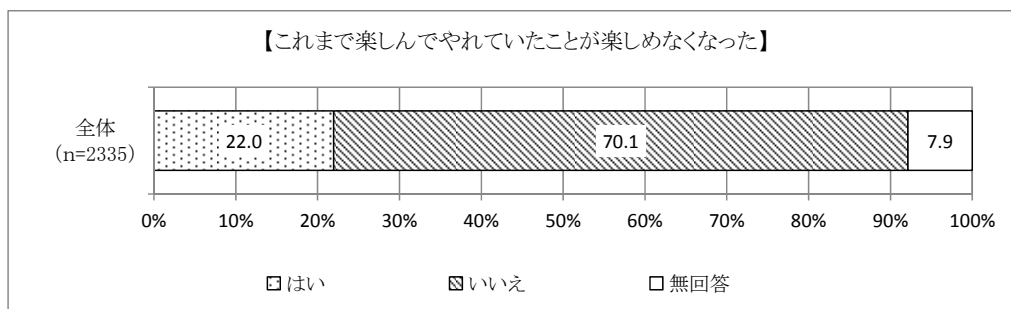
Q 8. (この1か月間) 毎日の生活に充実感がない

「いいえ」が65.6%と多数を占めており、「はい」は26.4%となっている。

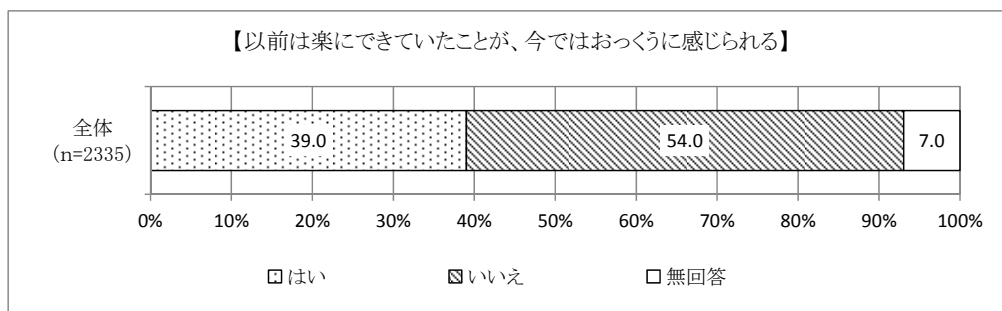


Q 9. (この1か月間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

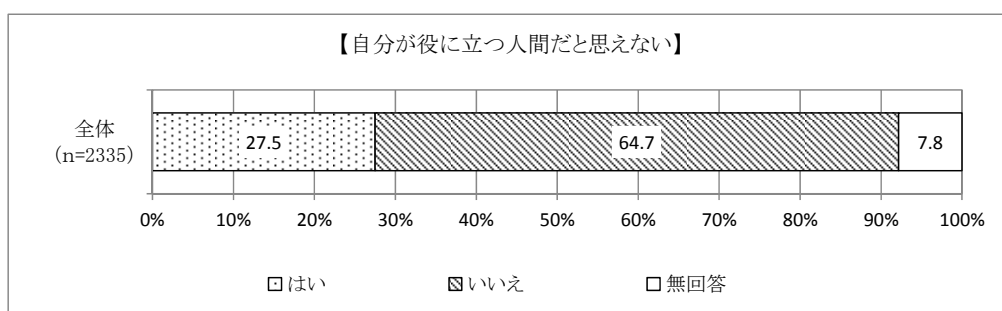
「いいえ」が70.1%と多数を占めており、「はい」は22.0%となっている。



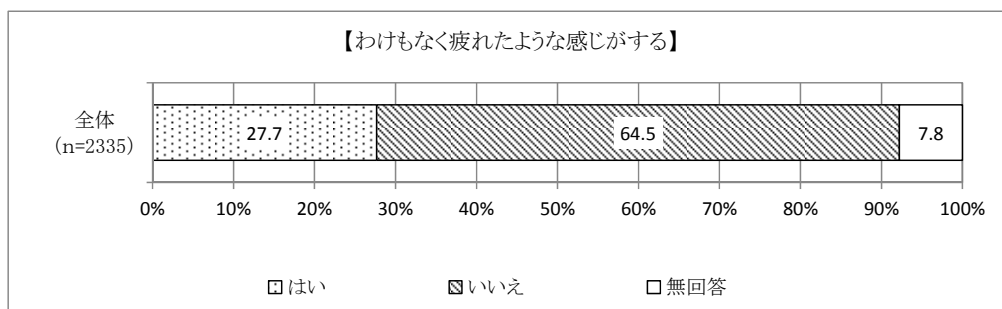
Q 1 0. (この1か月間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる
「いいえ」が54.0%と半数を占めており、「はい」は39.0%となっている。



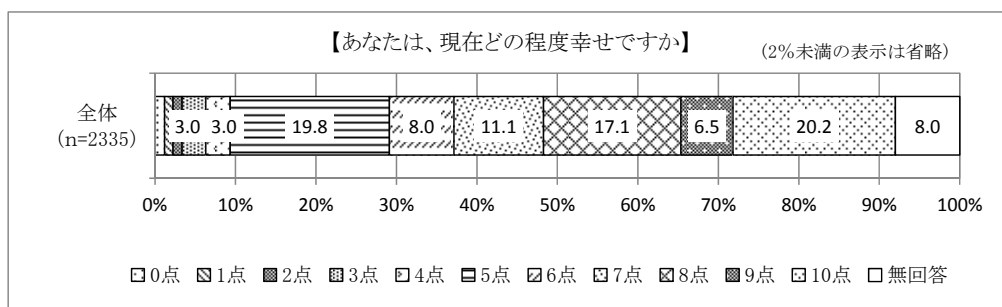
Q 1 1. (この1か月間) 自分が役に立つ人間だと思えない
「いいえ」が64.7%と多数を占めており、「はい」は27.5%となっている。



Q 1 2. (この1か月間) わけもなく疲れたような感じがする
「いいえ」が64.5%と多数を占めており、「はい」は27.7%となっている。



Q 1 3. あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○を付けてください。）
「10点」が20.2%と最も高い。平均（無回答を除く）は8.4点となる。



9 リスク対象者

国が作成した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」に基づき、調査結果から各機能が低下している高齢者を以下のとおり判断する。

・運動器	23.1%	・転倒	34.0%
・閉じこもり	29.3%	・低栄養	1.3%
・口腔機能	30.0%	・認知機能	43.3%
・うつ傾向	30.8%		

上記より、認知機能の低下している高齢者割合が 43.3%と最も高く、特に 75 歳以上では 53.3%と過半数を占める。

◇運動器 (上段：人、下段：%)

区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,521	540	274	2,335
	65.1%	23.1%	11.7%	100.0%
65～74歳	962	83	85	1,130
	85.1%	7.3%	7.5%	100.0%
75歳以上	525	438	167	1,130
	46.5%	38.8%	14.8%	100.0%

◇転倒 (上段：人、下段：%)

区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,472	793	70	2,335
	63.0%	34.0%	3.0%	100.0%
65～74歳	847	266	17	1,130
	75.0%	23.5%	1.5%	100.0%
75歳以上	584	497	49	1,130
	51.7%	44.0%	4.3%	100.0%

◇閉じこもり (上段：人、下段：%)

区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,545	685	105	2,335
	66.2%	29.3%	4.5%	100.0%
65～74歳	900	197	33	1,130
	79.6%	17.4%	2.9%	100.0%
75歳以上	600	467	63	1,130
	53.1%	41.3%	5.6%	100.0%

◇低栄養 (上段：人、下段：%)

区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,711	31	593	2,335
	73.3%	1.3%	25.4%	100.0%
65～74歳	905	5	220	1,130
	80.1%	0.4%	19.5%	100.0%
75歳以上	773	26	331	1,130
	68.4%	2.3%	29.3%	100.0%

◇口腔機能 (上段：人、下段：%)

区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,515	700	120	2,335
	64.9%	30.0%	5.1%	100.0%
65～74歳	886	215	29	1,130
	78.4%	19.0%	2.6%	100.0%
75歳以上	584	460	86	1,130
	51.7%	40.7%	7.6%	100.0%

◇認知機能 (上段：人、下段：%)

区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,223	1,010	102	2,335
	52.4%	43.3%	4.4%	100.0%
65～74歳	726	373	31	1,130
	64.2%	33.0%	2.7%	100.0%
75歳以上	465	602	63	1,130
	41.2%	53.3%	5.6%	100.0%

◇うつ傾向 (上段：人、下段：%)

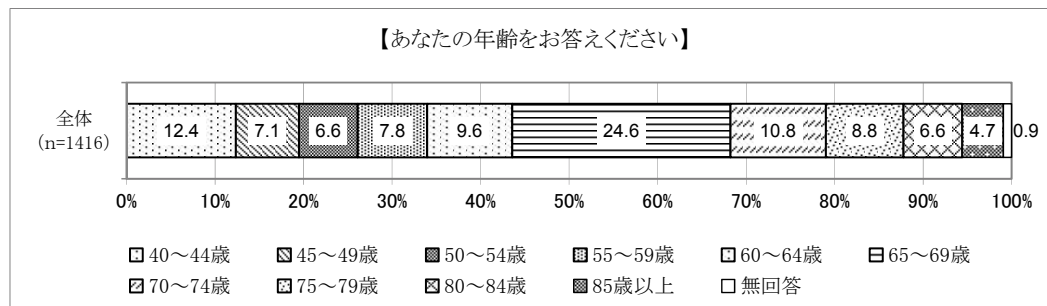
区 分	問題なし	低下者	判定不能	計
市全体	1,391	720	224	2,335
	59.6%	30.8%	9.6%	100.0%
65～74歳	811	265	54	1,130
	71.8%	23.5%	4.8%	100.0%
75歳以上	541	437	152	1,130
	47.9%	38.7%	13.5%	100.0%

Ⅲ 市民意識調査（一般） 集計結果

1 回答者の属性

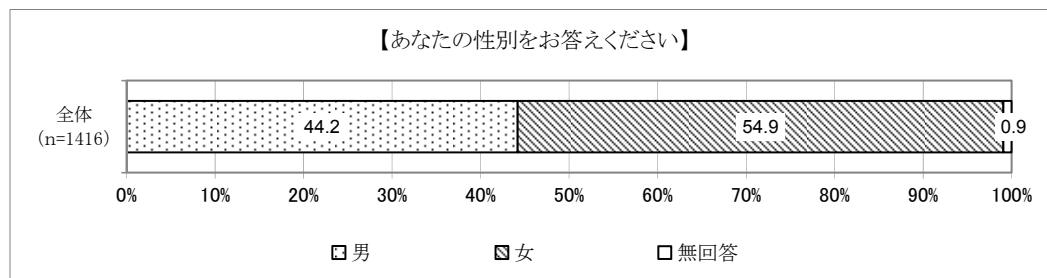
問1 平成29年1月1日現在のあなたの年齢をお答えください。（1つだけ○）

「65～69歳」が24.6%と最も高い。



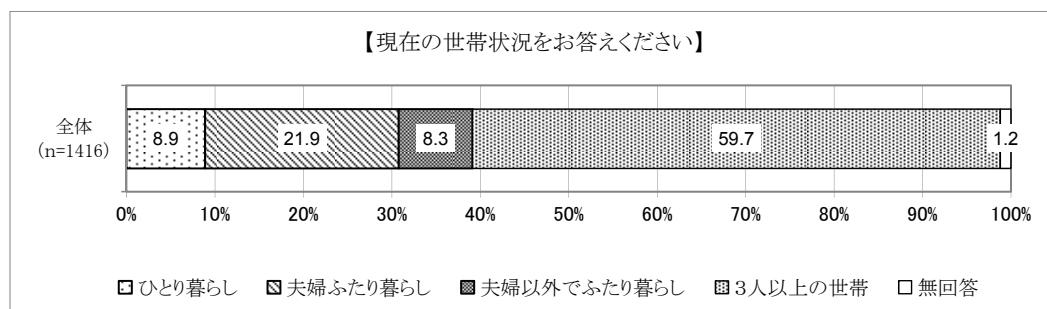
問2 あなたの性別をお答えください。（1つだけ○）

「男性」が44.2%、「女性」が54.9%となっている。



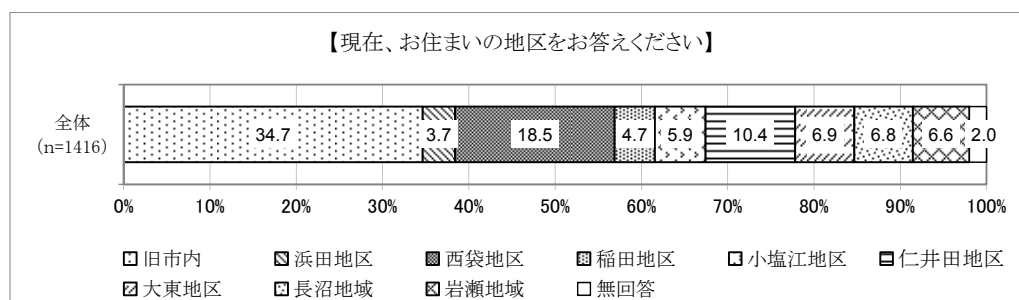
問3 現在の世帯状況をお答えください。（1つだけ○）

「3人以上の世帯」が59.7%と最も高い。



問4 現在、お住まいの地区をお答えください。（1つだけ○）

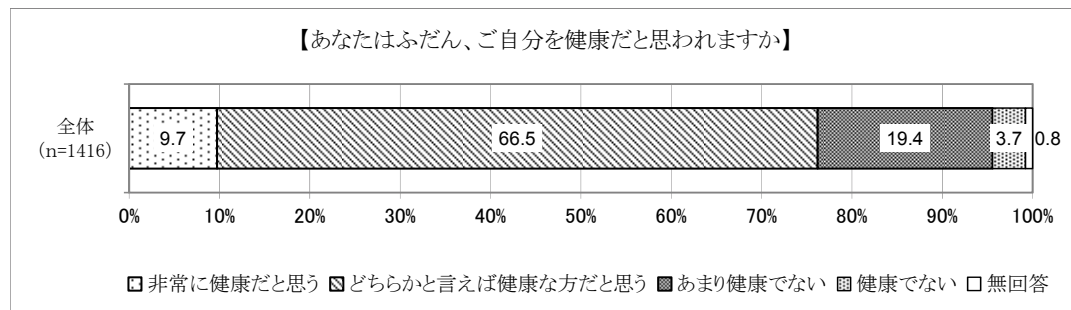
「旧市内」が34.7%と最も高い。



2 健康状態

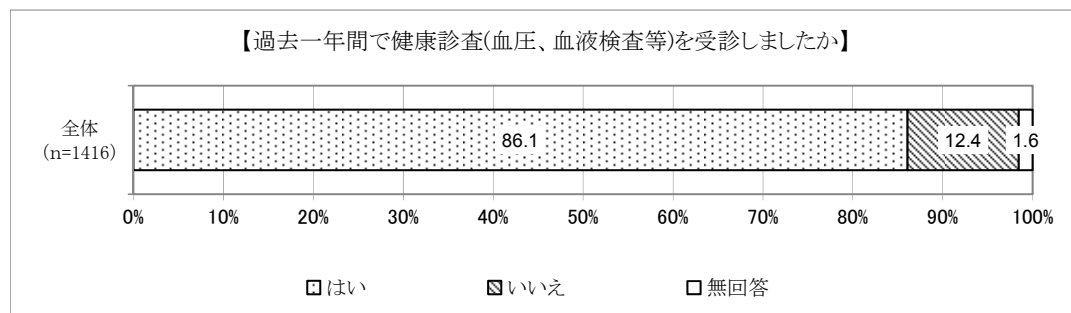
問5 あなたはふだん、ご自分を健康だと思われますか。（1つだけ○）

「どちらかと言えば健康な方だと思う」（66.5%）と「非常に健康だと思う」（9.7%）を合わせて、全体の半数以上が“健康である”との回答となっている。



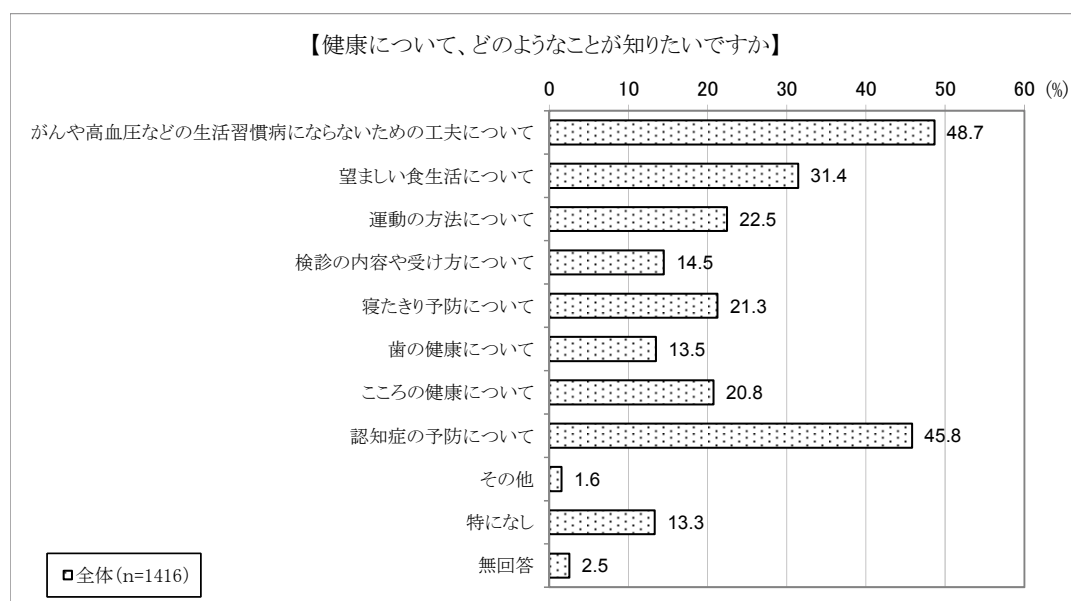
問6 過去一年間で健康診査(血圧、血液検査等)を受診しましたか。（1つだけ○）

「はい」が86.1%と多数を占め、「いいえ」は12.4%となっている。



問7 健康について、どのようなことが知りたいですか。（主なもの3つまでに○）

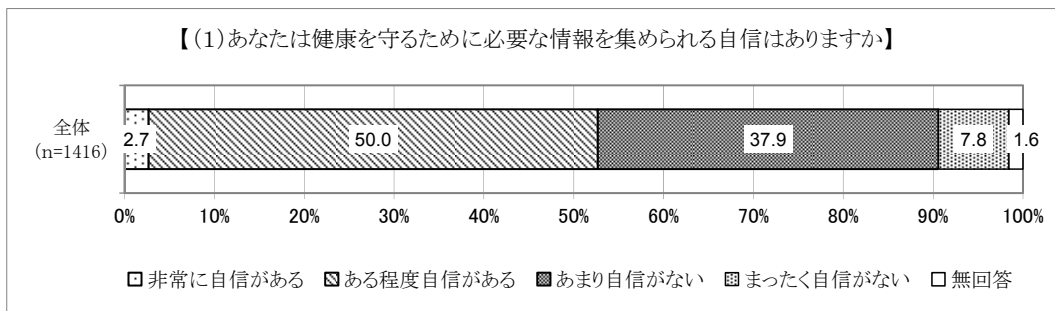
「がんや高血圧などの生活習慣病にならないための工夫について」（48.7%）や「認知症の予防について」（45.8%）、「望ましい食生活について」（31.4%）などの回答比率が高い。



問8 あなたが自分の健康管理のためにしている（する）事に自信があるかどうかについて伺います。（それぞれ1つだけ○）

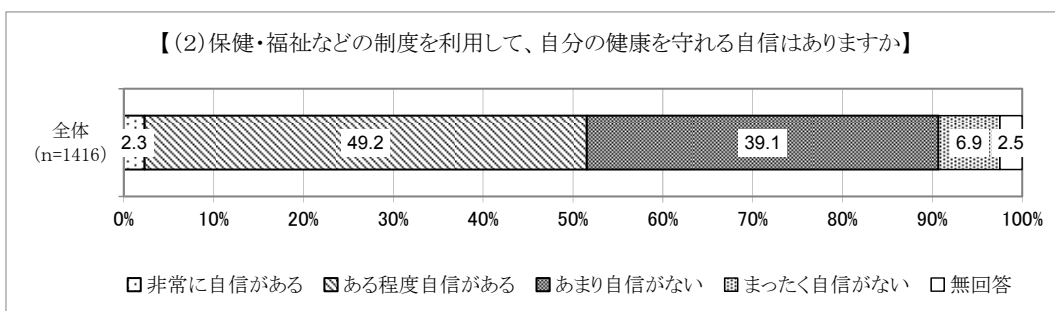
（1）あなたは健康を守るために必要な情報を集められる自信はありますか。

「ある程度自信がある」（50.0%）と「非常に自信がある」（2.7%）を合わせて、全体の半数以上が“自信がある”との回答となっている。



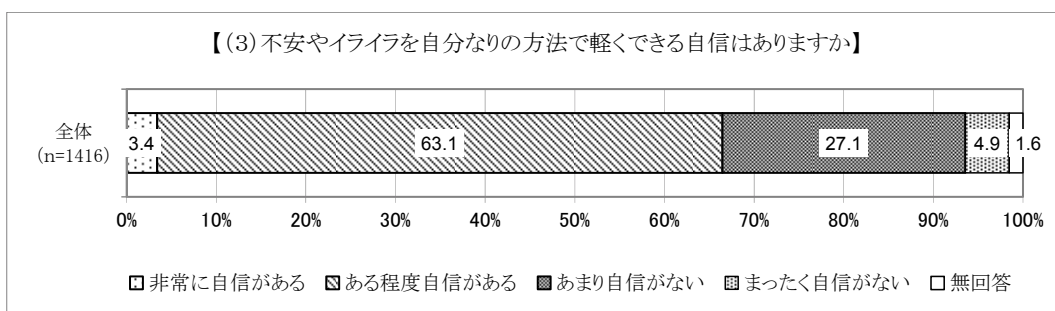
（2）保健・福祉などの制度を利用して、自分の健康を守れる自信はありますか。

「ある程度自信がある」（49.2%）と「非常に自信がある」（2.3%）と合わせて、全体の半数以上が“自信がある”との回答となっている。



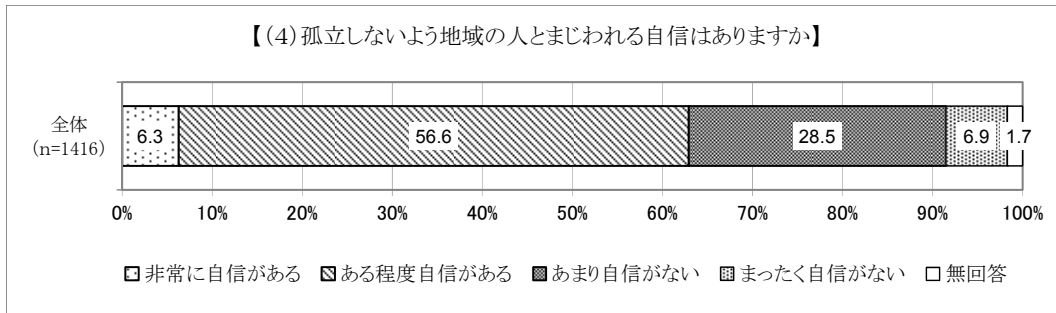
（3）不安やイライラを自分なりの方法で軽くできる自信はありますか。

「ある程度自信がある」（63.1%）と「非常に自信がある」（3.4%）と合わせて、全体の半数以上が“自信がある”との回答となっている。



（4）孤立しないよう地域の人とまじわれる自信はありますか。

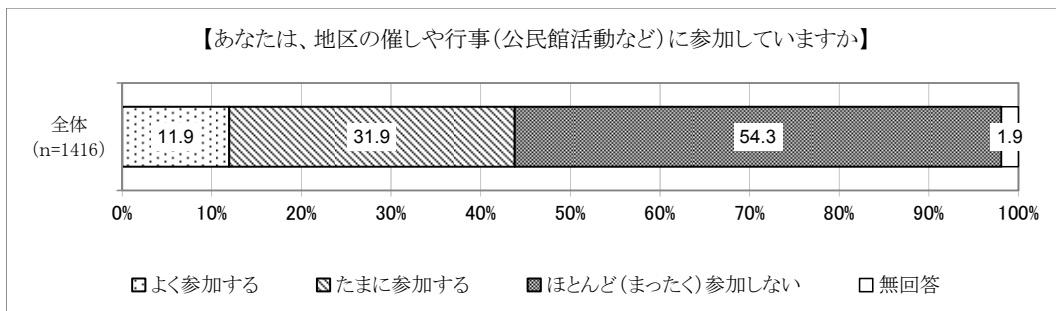
「ある程度自信がある」（56.6%）と「非常に自信がある」（6.3%）と合わせて、全体の半数以上が“自信がある”との回答となっている。



3 地域での暮らし

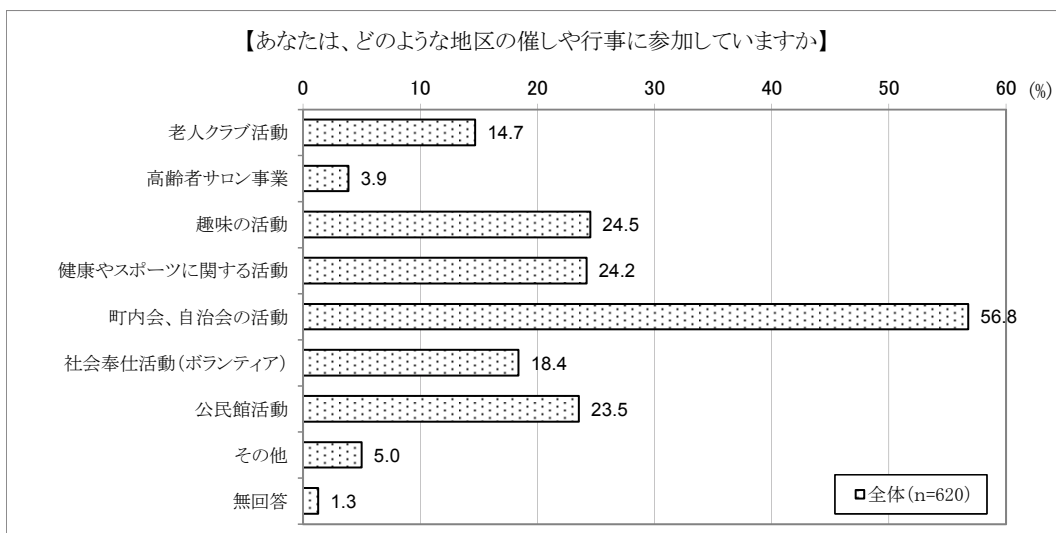
問9 あなたは、地区の催しや行事（公民館活動など）に参加していますか。
（1つだけ○）

「ほとんど（まったく）参加しない」が54.3%と最も高い。



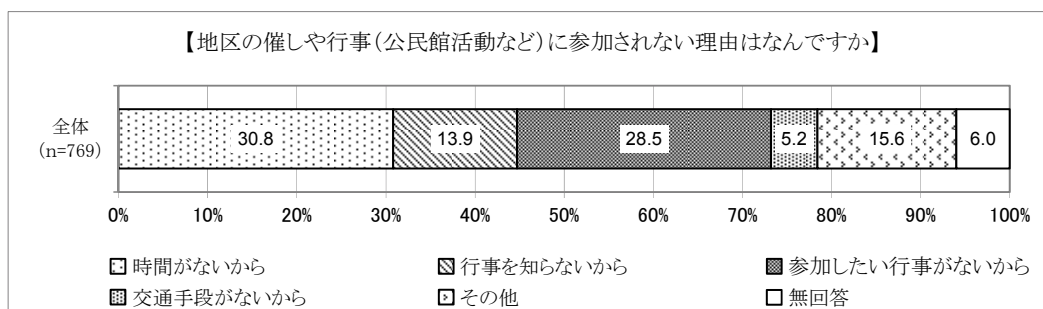
問10 問9で「1」または「2」と答えた方に伺います。あなたは、どのような地区の催しや行事に参加していますか。（主なもの3つまでに○）

「町内会、自治会の活動」が56.8%と最も高い。



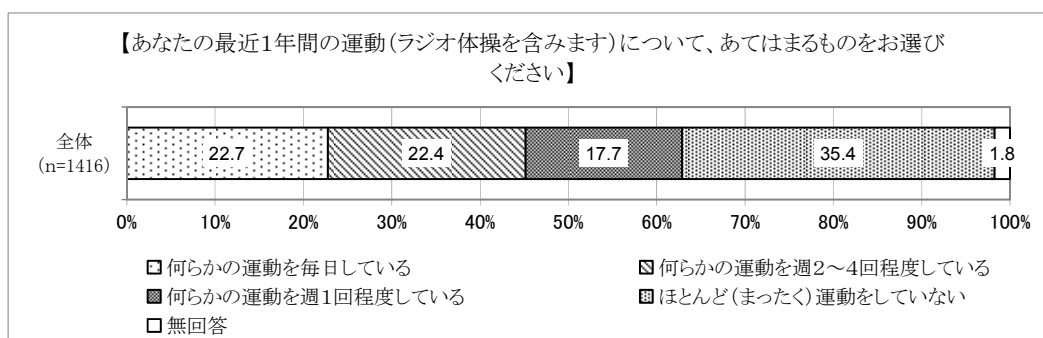
問 1 1 問 9 で「3」と答えた方に伺います。地区の催しや行事（公民館活動など）に参加されない理由は何ですか。（1つだけ○）

「時間がないから」（30.8%）や「参加したい行事がないから」（28.5%）の回答比率が高い。



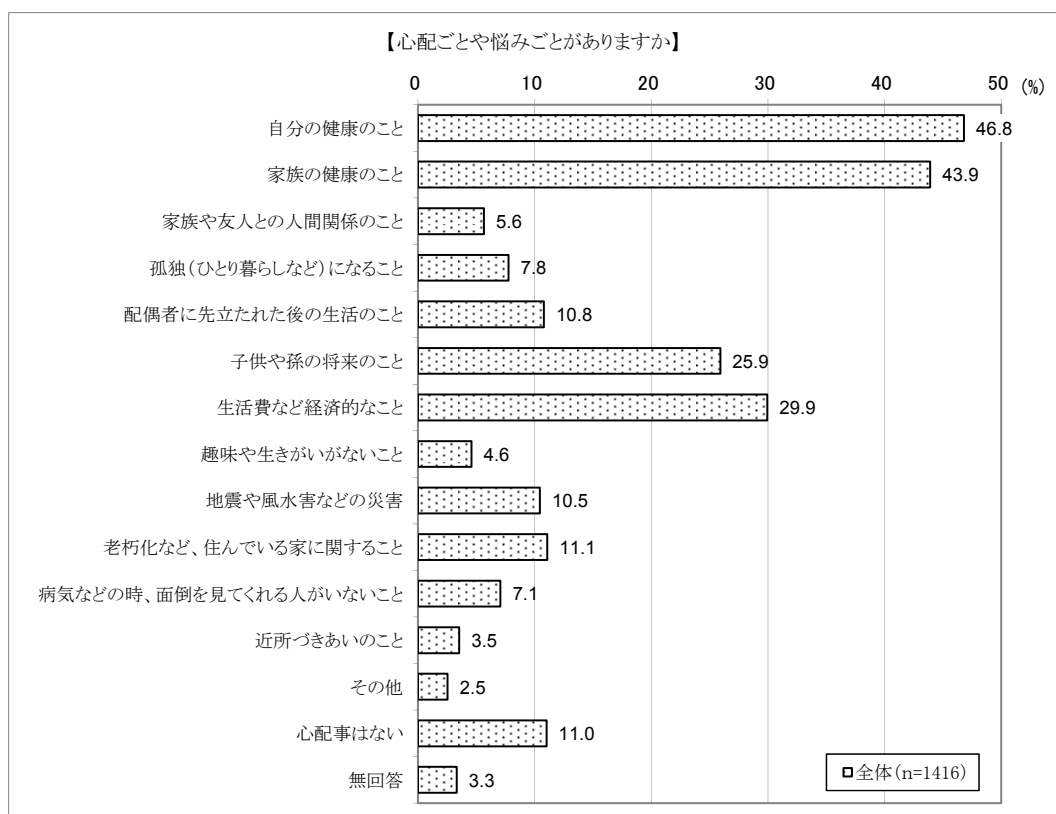
問 1 2 あなたの最近 1 年間の運動（ラジオ体操を含みます）について、あてはまるものをお選びください。（1つだけ○）

「何らかの運動を毎日している」が 22.7%、「何らかの運動を週 2～4 回程度している」が 22.4%などとなっている。なお、「ほとんど（まったく）運動をしていない」は 35.4%となっている。



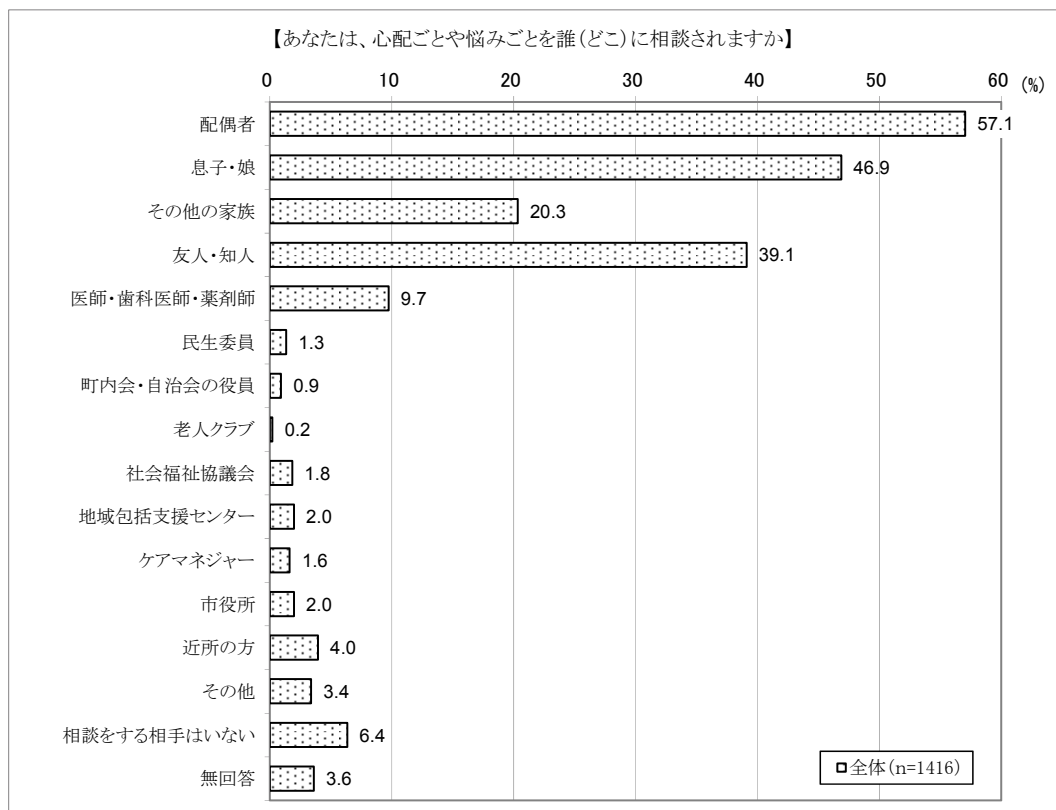
問 1 3 心配ごとや悩みごとがありますか。（主なもの3つまでに○）

「自分の健康のこと」（46.8%）や「家族の健康のこと」（43.9%）の回答比率が高い。



問14 あなたは、心配ごとや悩みごとを誰(どこ)に相談されますか。(主なもの3つまでに○)

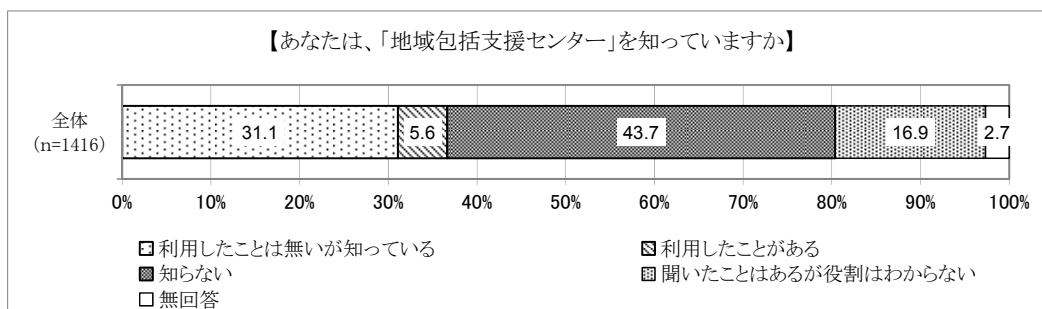
「配偶者」が 57.1%と最も高く、以下、「息子・娘」(46.9%)、「友人・知人」(39.1%)、「その他の家族」(20.3%)と続く。



4 介護支援等

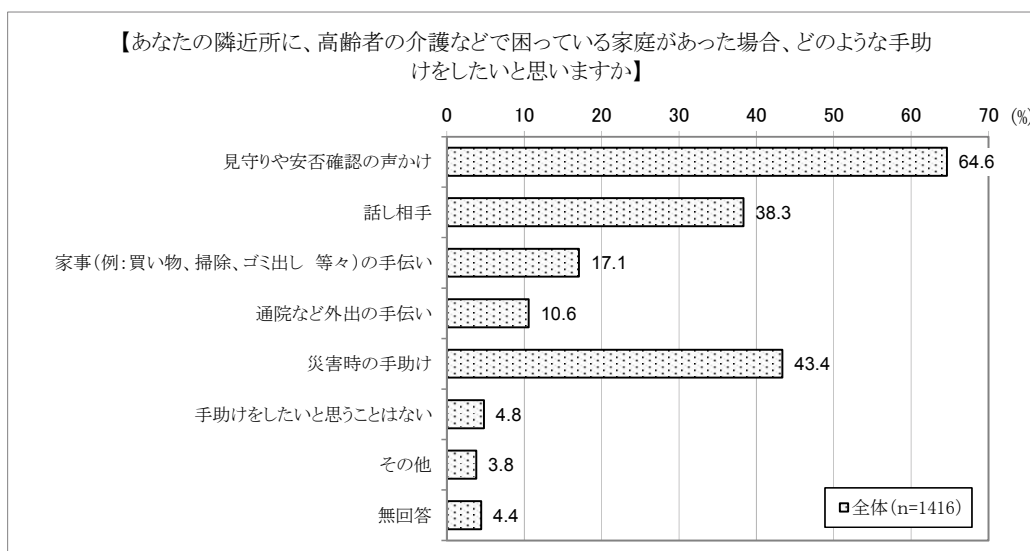
問 1 5 あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。（1つだけ○）

地域包括支援センターの認識については、「知らない」が43.7%と最も高い。



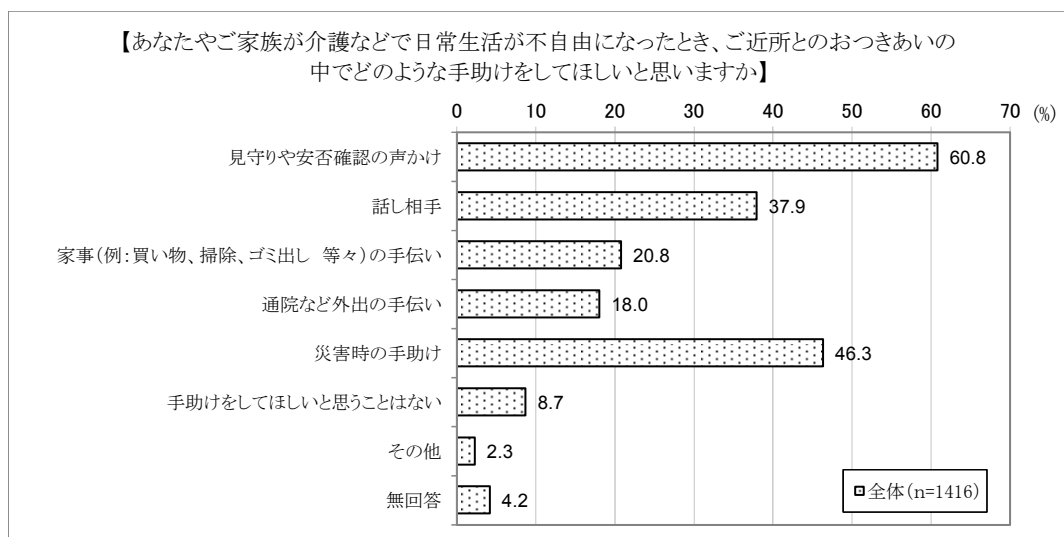
問 1 6 あなたの隣近所に、高齢者の介護などで困っている家庭があった場合、どのような手助けをしたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「見守りや安否確認の声かけ」が64.6%と半数以上を占め最も高い。



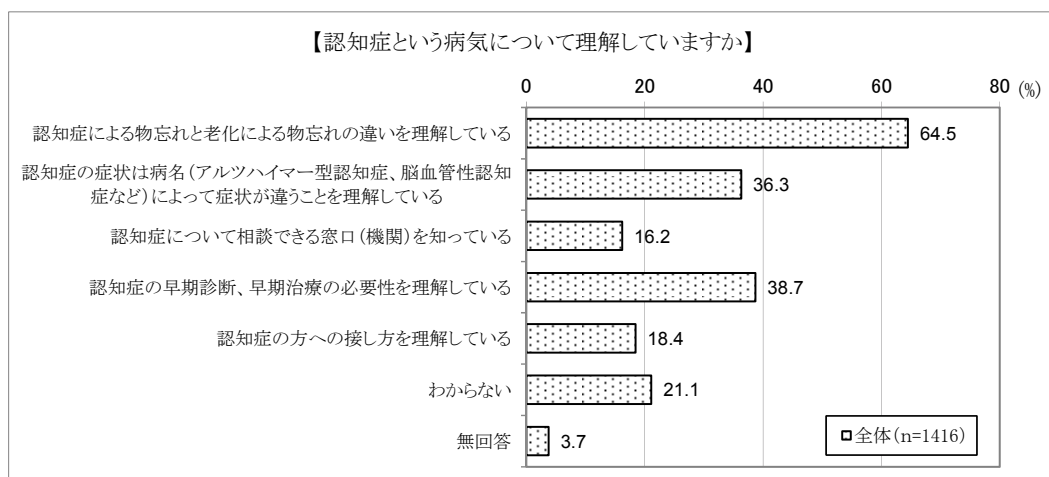
問 1 7 あなたやご家族が介護などで日常生活が不自由になったとき、ご近所とおつきあいの中でどのような手助けをしてほしいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

前問と同様に「見守りや安否確認の声かけ」が60.8%と半数以上を占め最も高い。



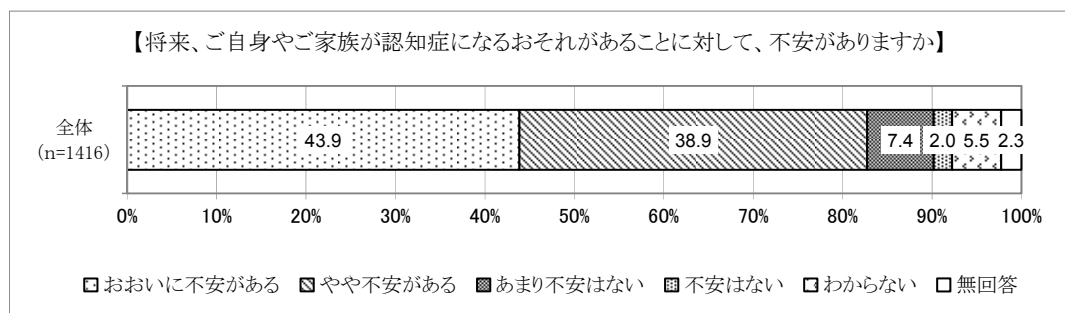
問 18 認知症という病気について理解していますか。(あてはまる番号すべてに○)

「認知症による物忘れと老化による物忘れの違いを理解している」が 64.5%と半数以上を占め最も高い。



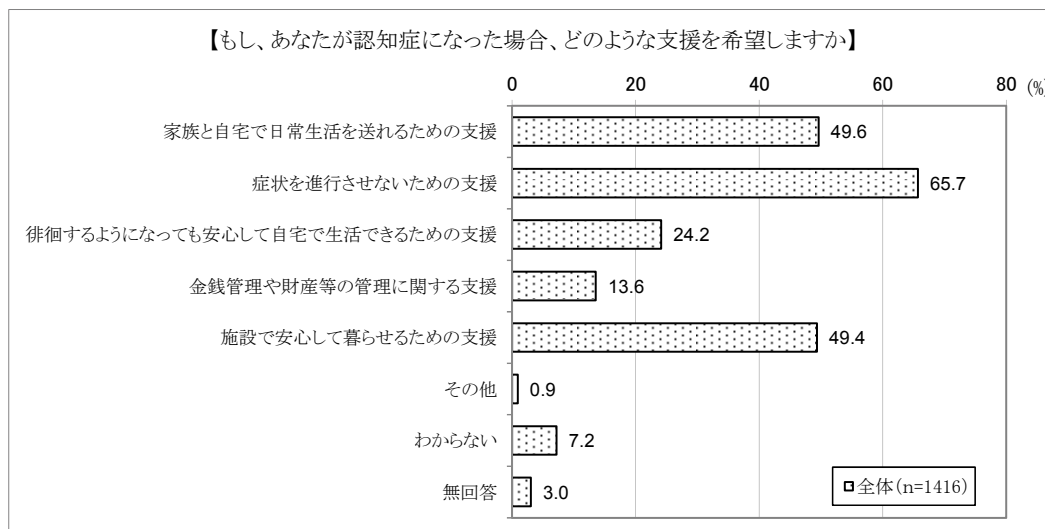
問 19 将来、ご自身やご家族が認知症になるおそれがあることに対して、不安がありますか。(1つだけ○)

「おおいに不安がある」(43.9%)と「やや不安がある」(38.9%)と合わせて、全体の8割以上が“不安がある”との回答である。



問20 もし、あなたが認知症になった場合、どのような支援を希望しますか。（主なものの3つまでに○）

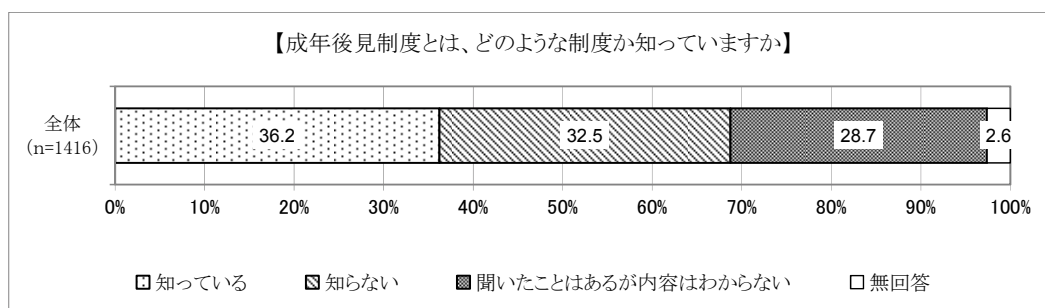
「症状を進行させないための支援」が65.7%と最も高い。



5 見守り等

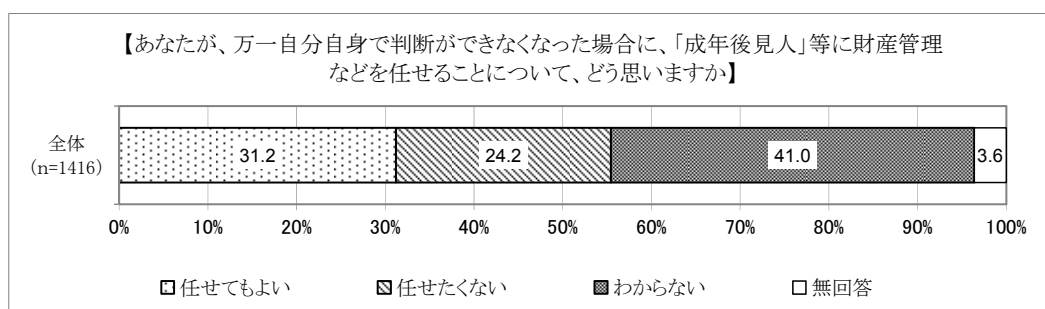
問21 成年後見制度とは、どのような制度か知っていますか。（1つだけ○）

「知らない」(32.5%)と「聞いたことはあるが内容はわからない」(28.7%)を合わせた6割の方が“わからない・知らない”となっている。



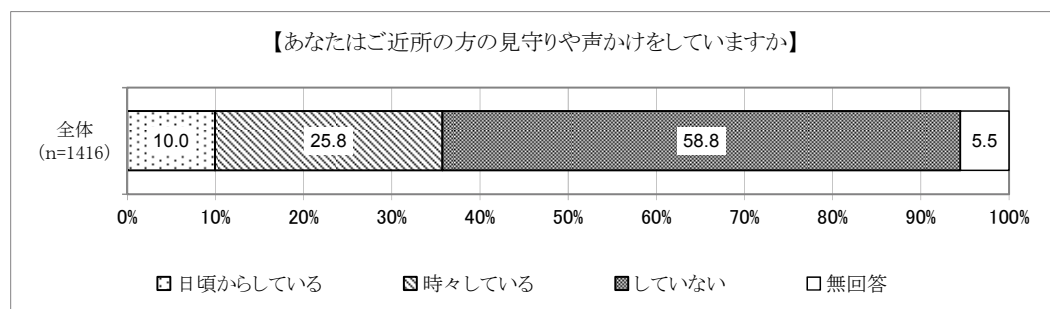
問22 あなたが、万一自分自身で判断ができなくなった場合に、「成年後見人」等に財産管理などを任せることについて、どう思いますか。（1つだけ○）

「わからない」が41.0%と最も高く、「任せてもいい」は31.2%、「任せたくない」は24.2%と続く。



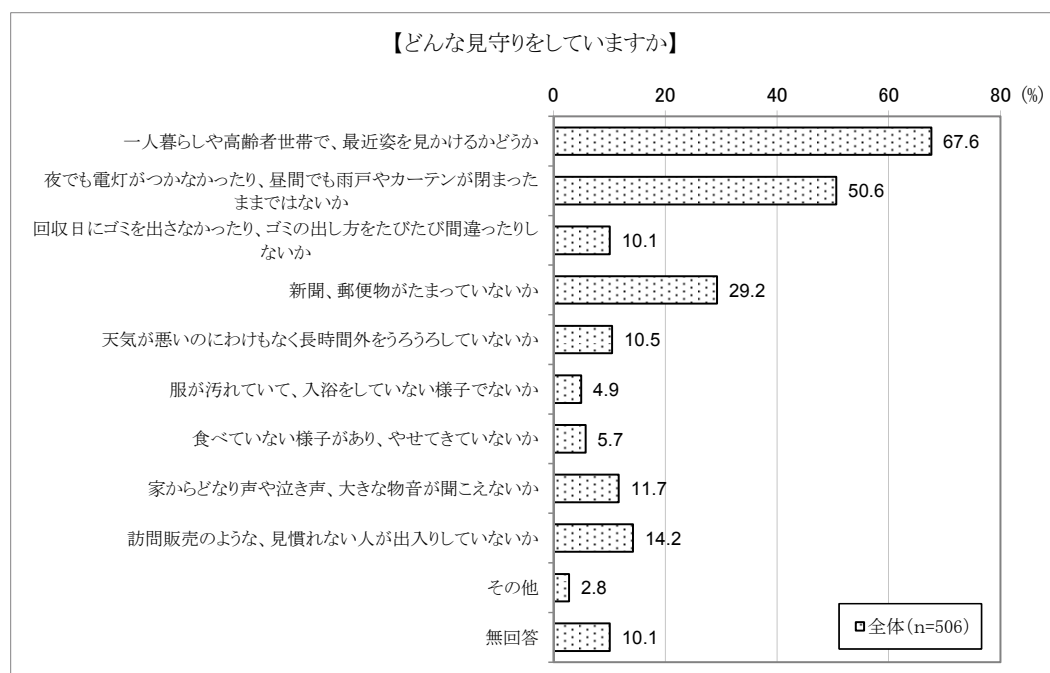
問 2 3 高齢者の孤独死の防止や認知症の早期発見・対応には、近隣住民の方々のつながりが大きな力になると考えています。あなたはご近所の方の見守りや声かけをしていますか。

「していない」が 58.8%と多数を占める。



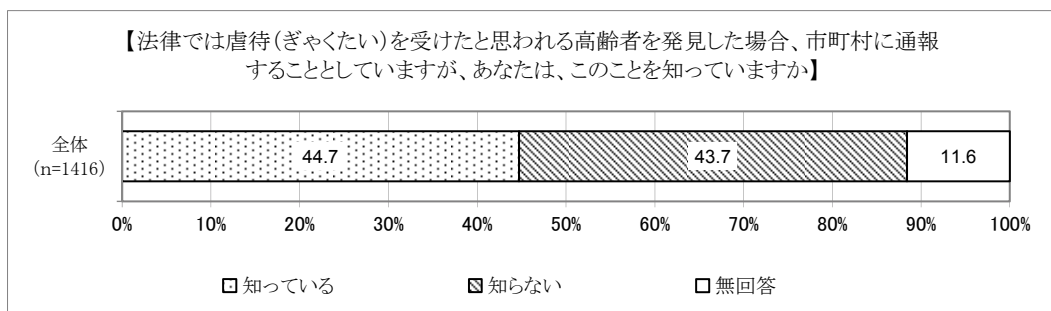
問 2 4 問 2 3 で「1」または「2」と回答した方に伺います。どんな見守りをしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

「一人暮らしや高齢者世帯で、最近姿を見かけるかどうか」が 67.6%と多数を占める。



問 2 5 法律では虐待（ぎゃくたい）を受けたと思われる高齢者を発見した場合、市町村に通報することとしています。あなたは、このことを知っていますか。

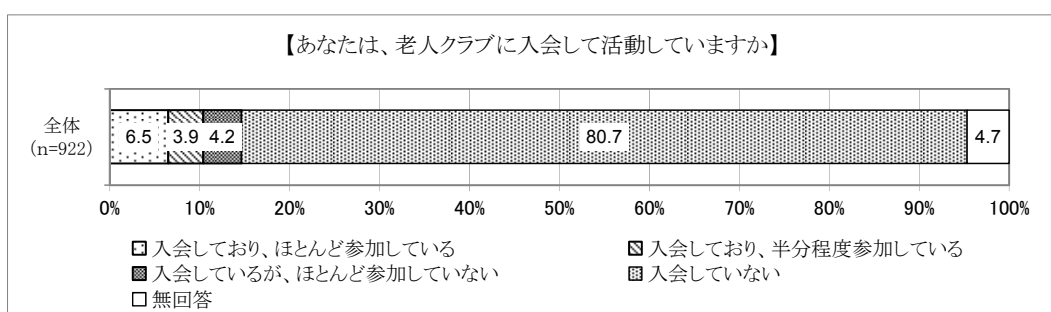
「知っている」が 44.7%、「知らない」が 43.7%とわずかに、“知っている”方の比率が高い。



6 老人クラブ (60 歳以上)

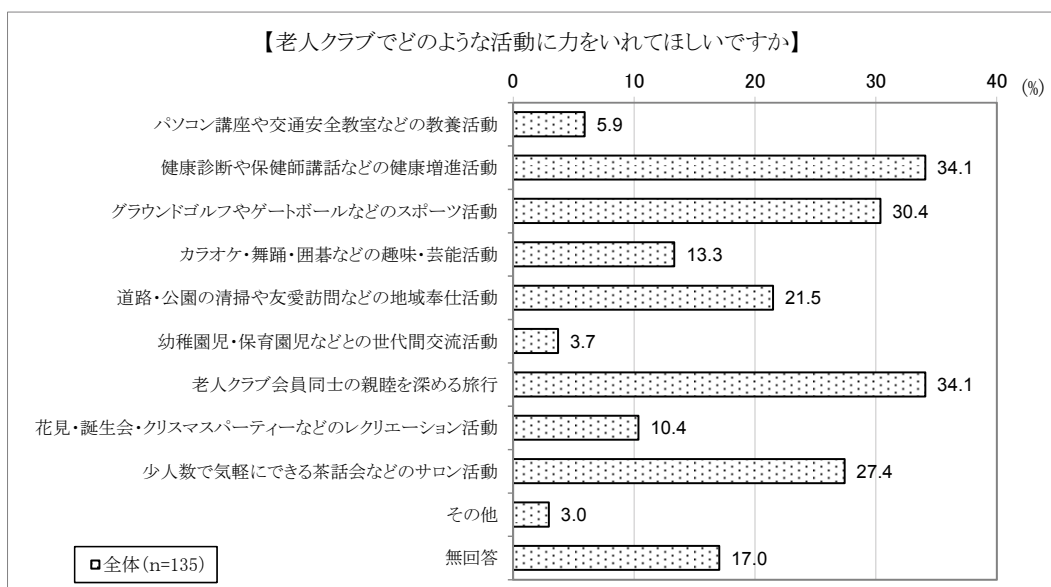
問 2 6 あなたは、老人クラブに入会して活動していますか。(1つだけ○)

「入会していない」が 80.7%と多数を占めている。



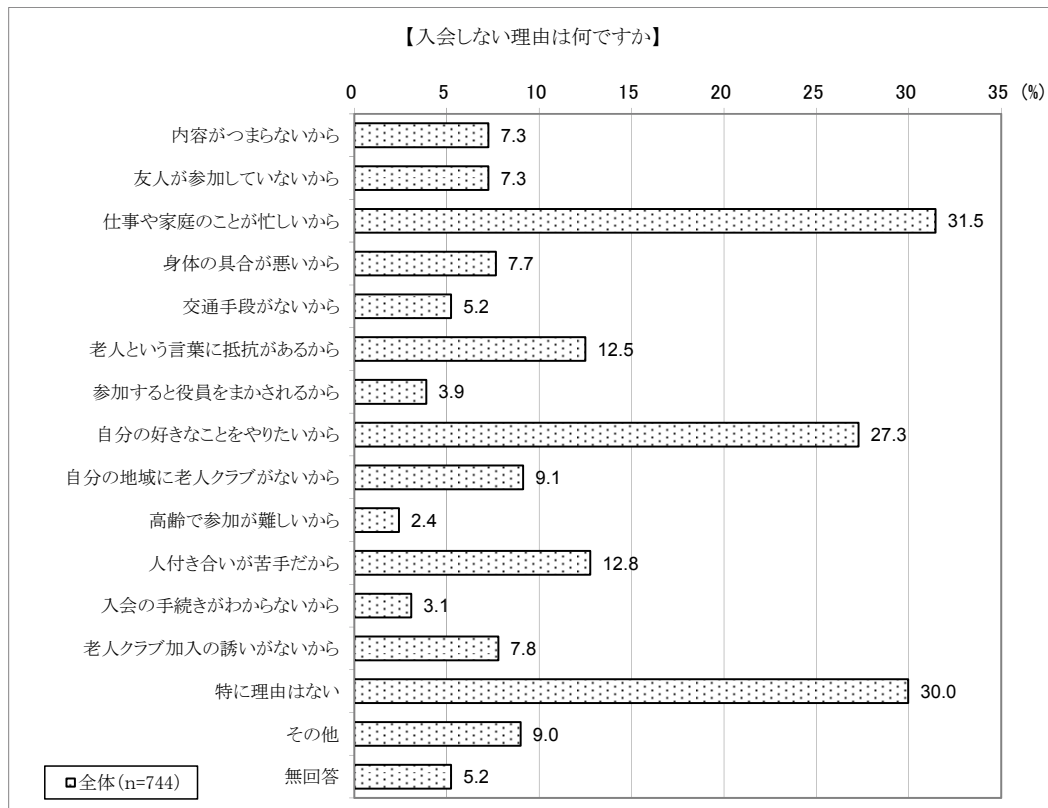
問 2 7 問 2 6 で「1」「2」または「3」と答えた方に伺います。老人クラブでどのような活動に力をいれてほしいですか。(主なもの3つまでに○)

「健康診断や保健師講話などの健康増進活動」及び「老人クラブ会員同士の親睦を深める旅行」がともに 34.1%と最も高い。



問28 問26で「4」と答えた方に伺います。入会しない理由は何ですか。（主なもの3つまでに○）

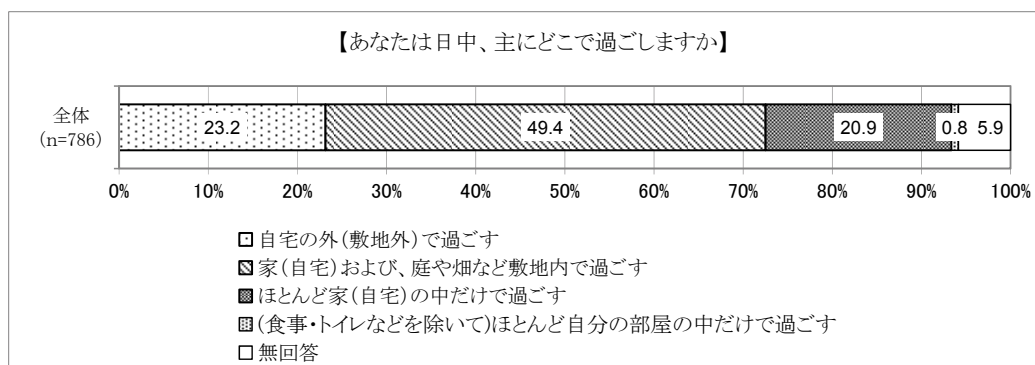
「仕事や家庭のことが忙しいから」が31.5%と最も高い。



7 生活実態（65歳以上）

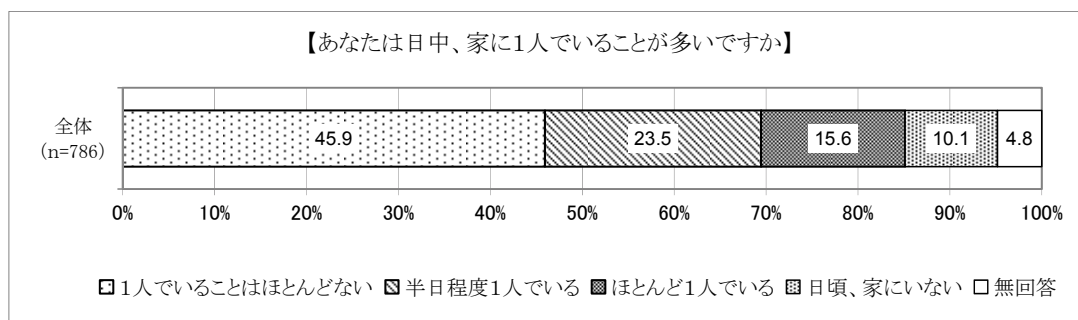
問29 あなたは日中、主にどこで過ごしますか。（1つだけ○）

「家（自宅）および、庭や畑など敷地内で過ごす」が49.4%と半数を占めている。



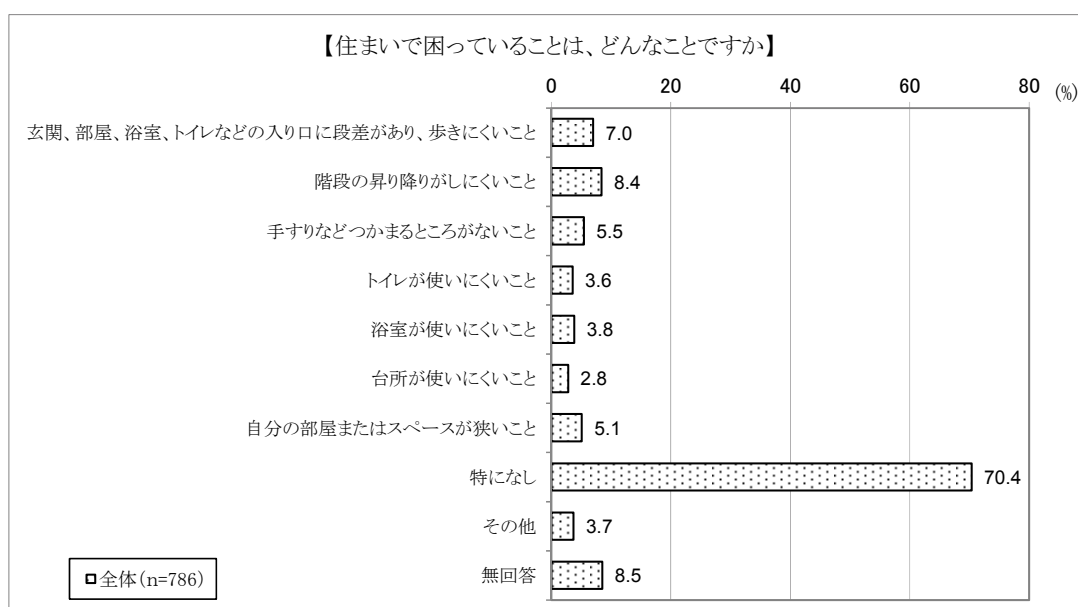
問30 あなたは日中、家に1人でいることが多いですか。（1つだけ○）

「1人でいることはほとんどない」が45.9%と最も高く、以下、「半日程度1人でいる」(23.5%)、「ほとんど1人でいる」(15.6%)、「日頃、家にいない」(10.1%)と続いている。



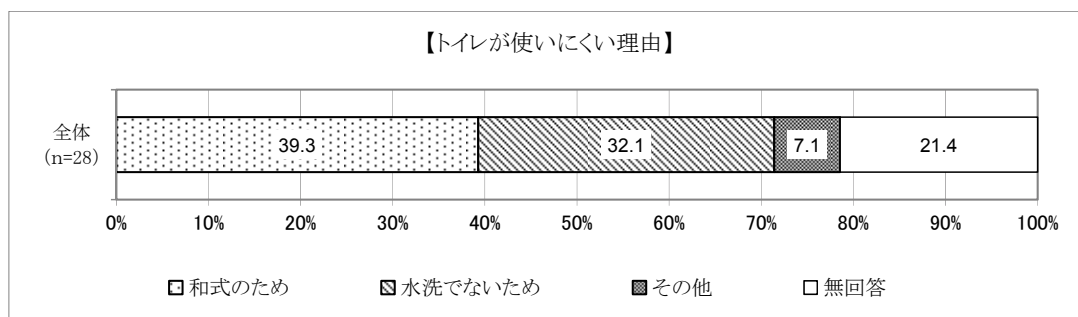
問3 1 住まいで困っていることは、どんなことですか。（主なもの3つまでに○）

困っていることでは「階段の昇り降りがしにくいこと」（8.4%）や「玄関、部屋、浴室、トイレなどの入り口に段差があり、歩きにくいこと」（7.0%）が上位である。なお、「特になし」が70.4%と半数以上を占める。



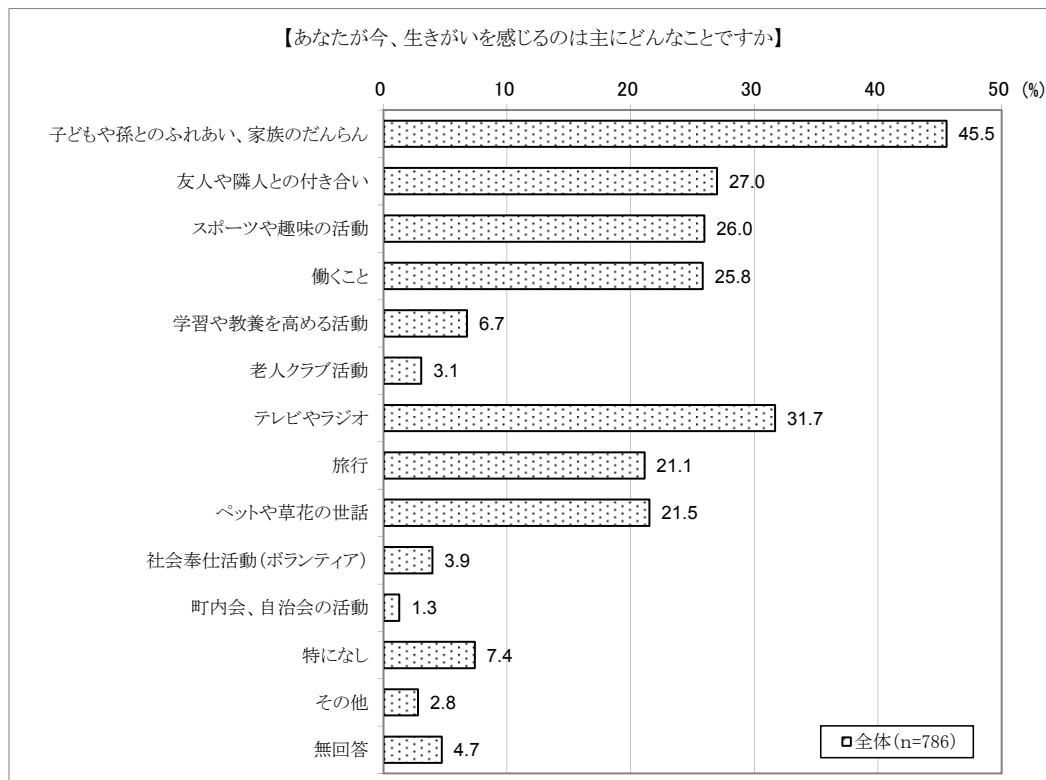
問3 1-1 トイレが使いにくい理由は、どんなことですか。

「和式のため」が39.3%、「水洗でないため」が32.1%となっている。



問３２ あなたが今、生きがいを感じるのは主にどんなことですか。（主なもの３つまでに○）

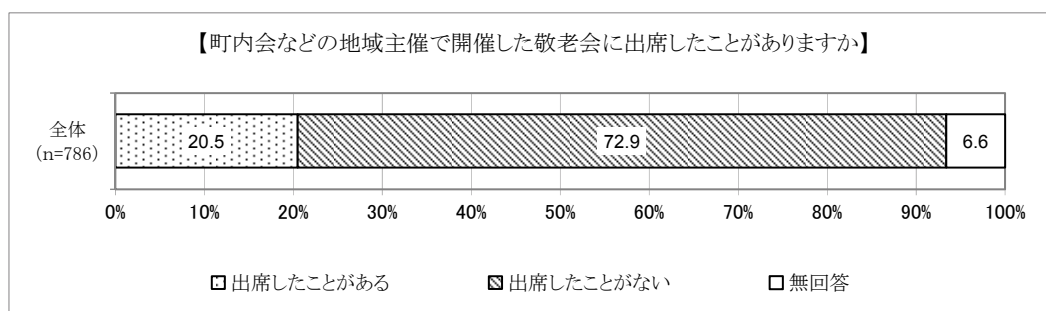
「子どもや孫とのふれあい、家族のだんらん」が45.5%と最も高い。



8 敬老会

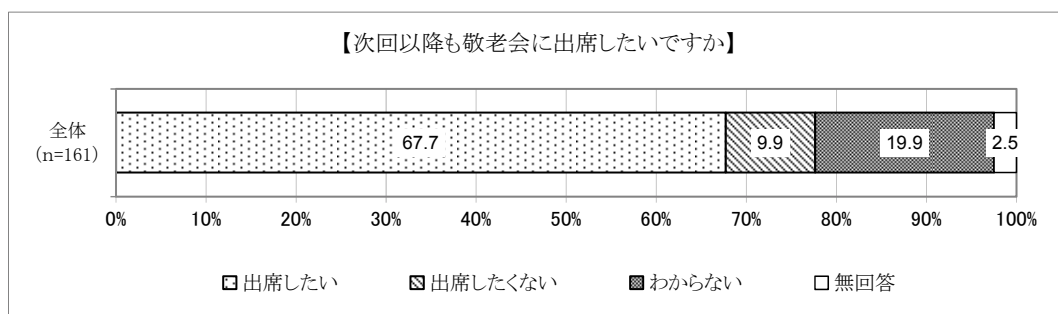
問３３ 町内会などの地域主催で開催した敬老会に出席したことがありますか。（１つだけ○）

「出席したことがない」が72.9%、「出席したことがある」が20.5%となっている。



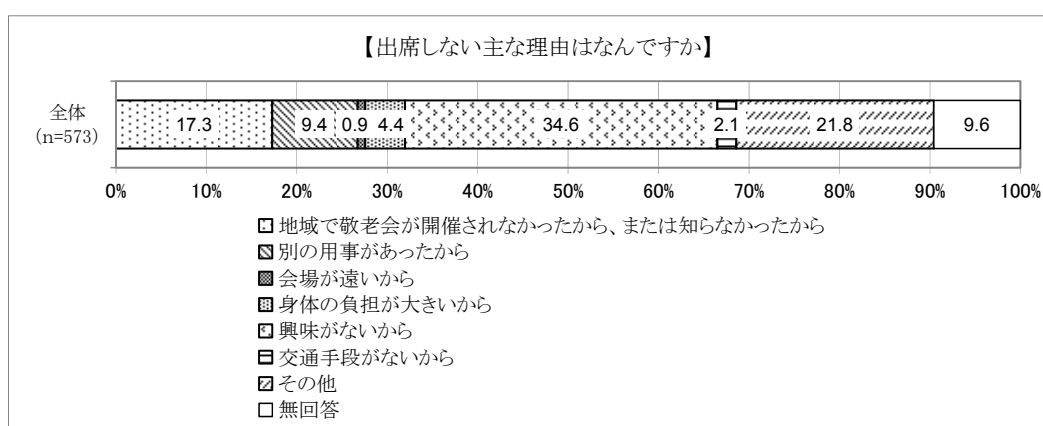
問３４ 問３３で「１」と答えた方に伺います。次回以降も敬老会に出席したいですか。

「出席したい」が67.7%、「出席したくない」が9.9%となっている。



問35 問33で「2」と答えた方に伺います。出席しない主な理由は何ですか。（1つだけ○）

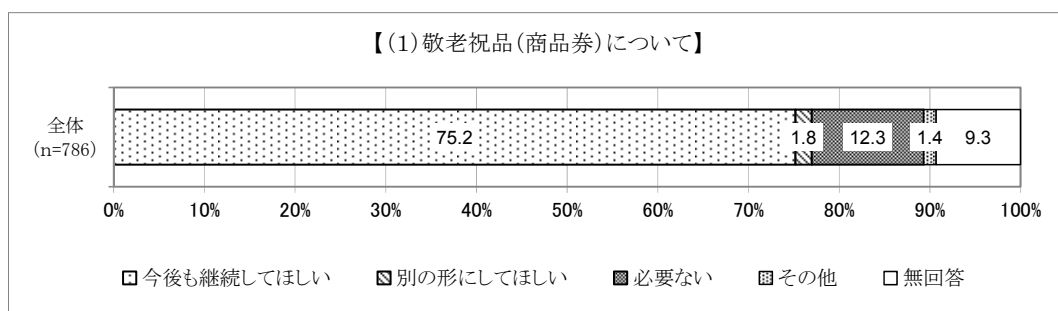
「興味がないから」が34.6%と最も高い。



問36 市では敬老事業として75歳以上の高齢者に「敬老祝品」を、また81歳から一定の年齢を迎えられた高齢者に「敬老祝金」を贈呈しています。これらの必要性について伺います。（それぞれ1つだけ○）

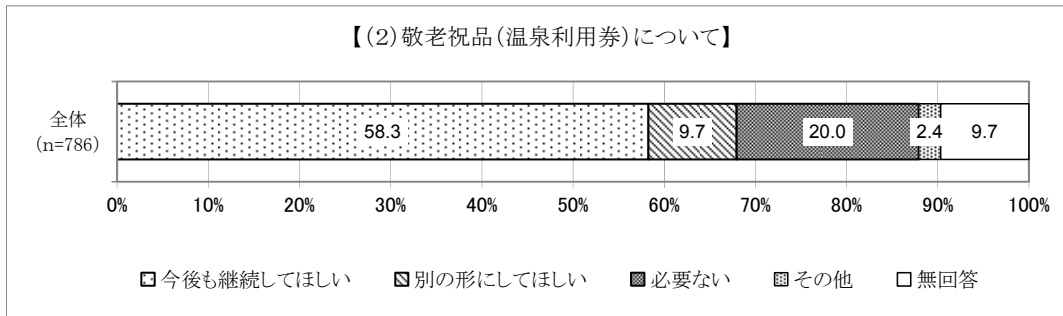
（1）敬老祝品（商品券）について

「今後も継続してほしい」が75.2%と半数以上を占める。



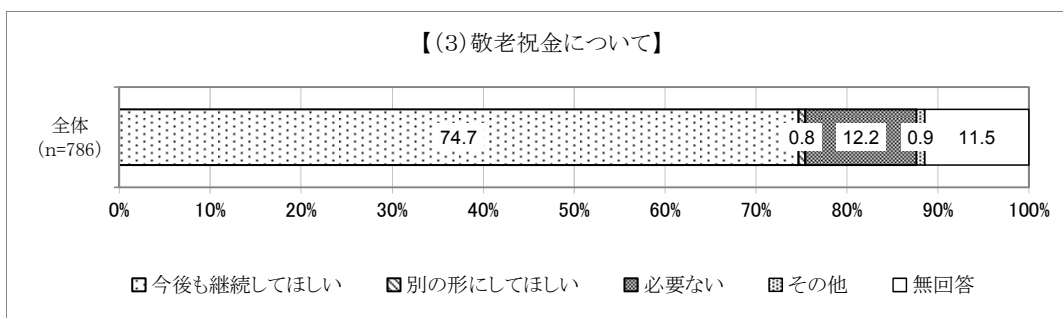
(2) 敬老祝品（温泉利用券）について

「今後も継続してほしい」が58.3%と最も高い。



(3) 敬老祝金について

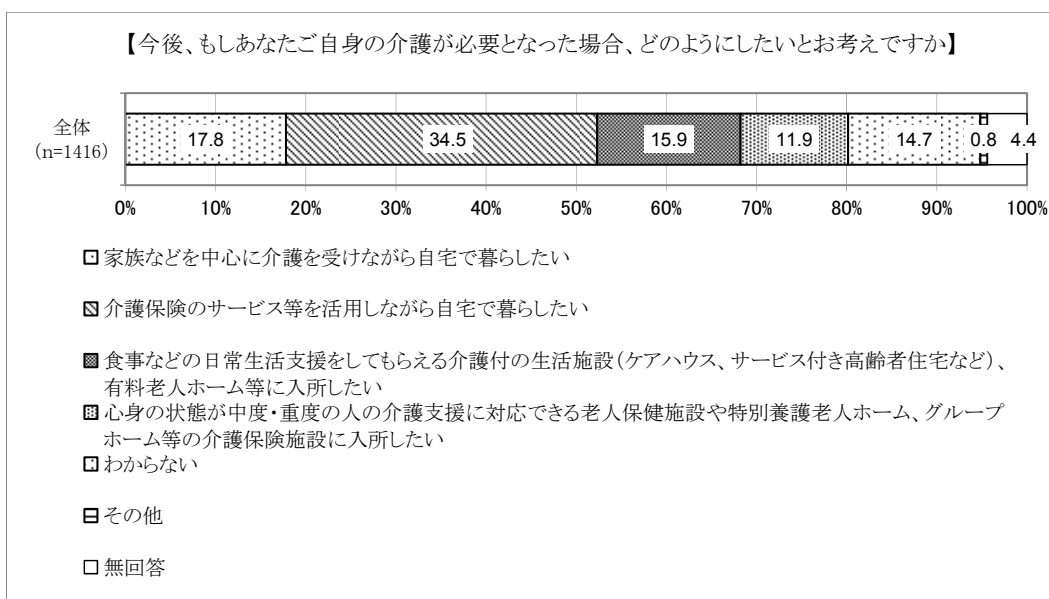
「今後も継続してほしい」が74.7%と多数を占める。



9 介護保険制度

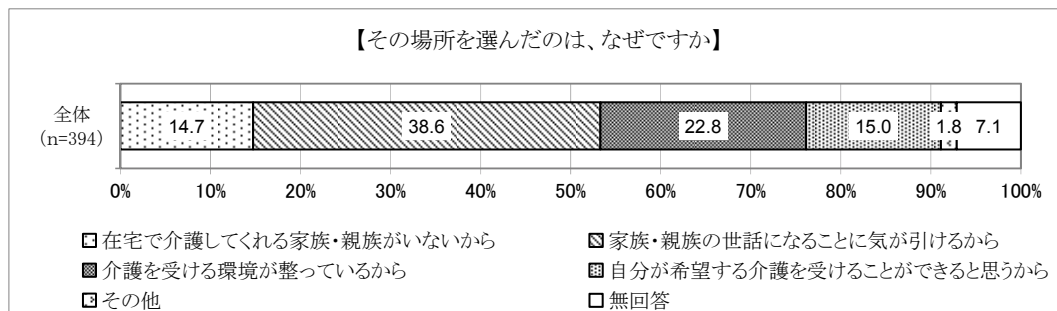
問37 今後、もしあなたご自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。（1つだけ○）

「介護保険のサービス等を活用しながら自宅で暮らしたい」が34.5%と最も高い。



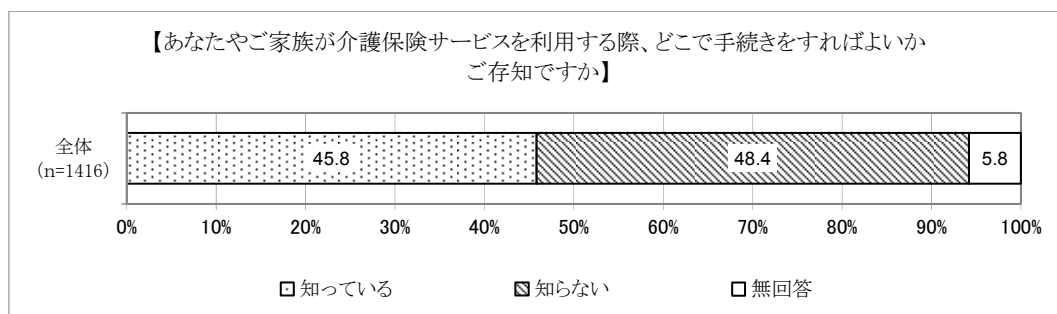
問38 問37で「3」または「4」と答えた方に伺います。その場所を選んだのは、なぜですか。（1つだけ○）

「家族・親族の世話になることに気が引けるから」が38.6%と最も高い。



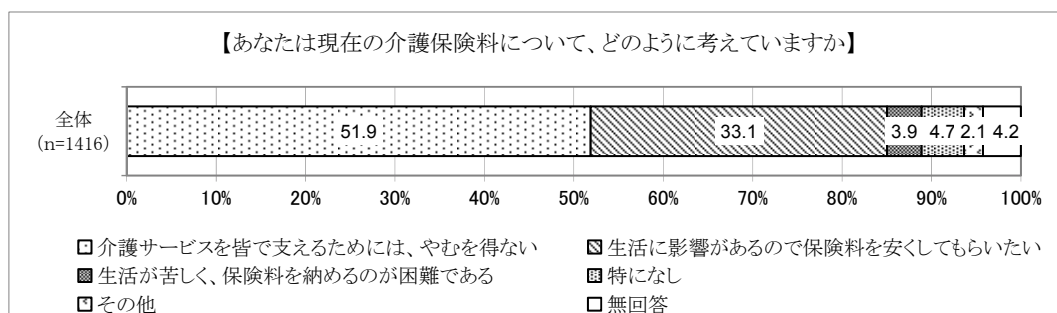
問39 あなたやご家族が介護保険サービスを利用する際、どこで手続きをすればよいかご存知ですか。（1つだけ○）

「知っている」が45.8%、「知らない」が48.4%となっている。



問40 あなたは現在の介護保険料について、どのように考えていますか。（1つだけ○）

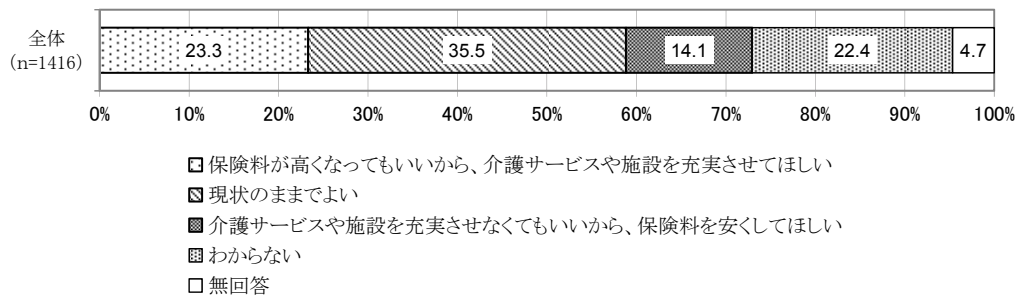
「介護サービスを皆で支えるためには、やむを得ない」が51.9%と最も高い。



問41 介護サービスや施設を充実した場合、介護保険料も高くなります。今後の介護保険サービスと保険料額について、あなたはどのように考えていますか。（1つだけ○）

「現状のままでよい」が35.5%と最も高い。

【介護サービスや施設を充実した場合、介護保険料も高くなります。今後の介護保険サービスと保険料額について、あなたはどのように考えていますか】

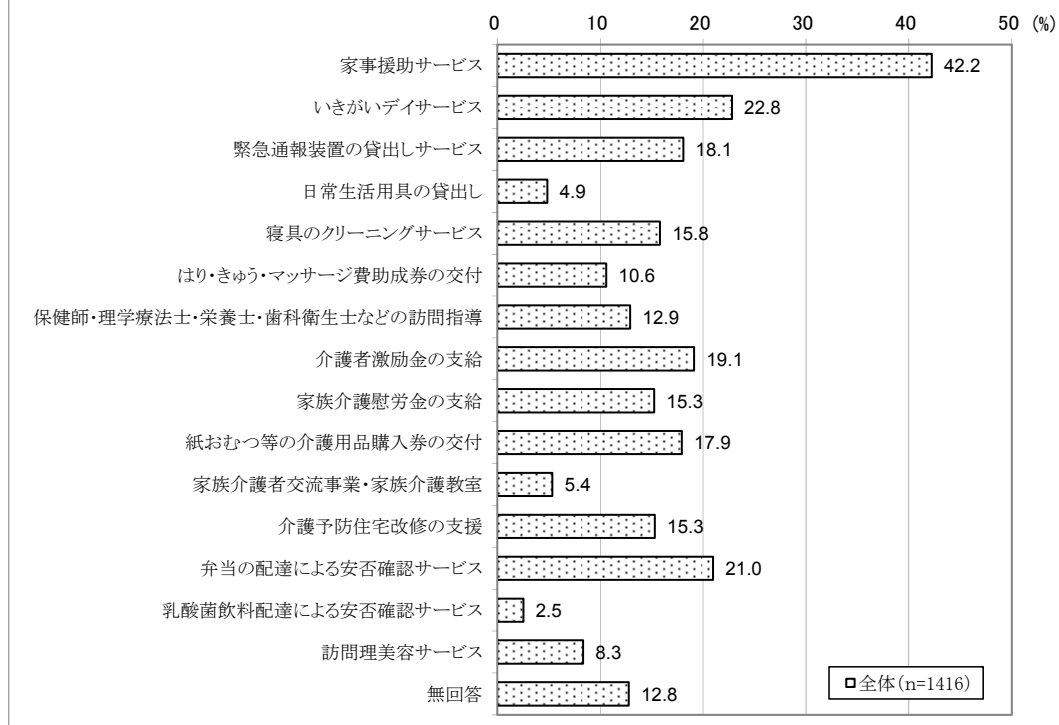


10 保健福祉サービス

問 4 2 市では高齢者を対象として以下の保健福祉サービスを実施しています。あなたが利用したいサービスまたは必要性が高いと思われるサービスの番号に○をつけて下さい。
(主なもの3つまでに○)

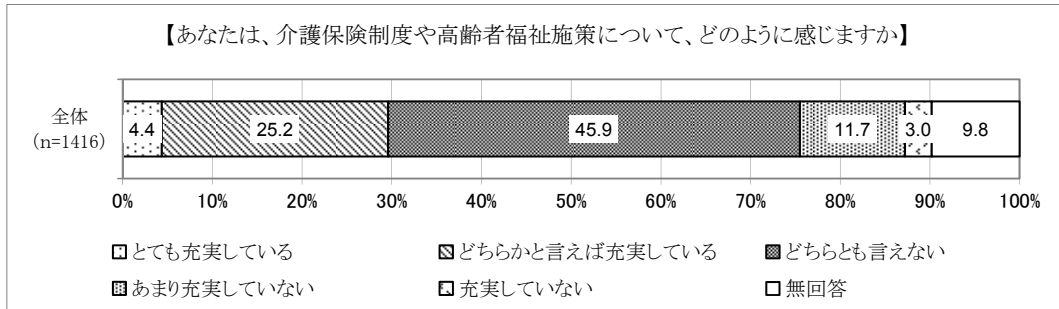
「家事援助サービス」が 42.2% と最も高い。

【あなたが利用したいサービスまたは必要性が高いと思われるサービスの番号に○をつけて下さい】



問４３ あなたは、介護保険制度や高齢者福祉施策について、どのように感じますか。（１つだけ○）

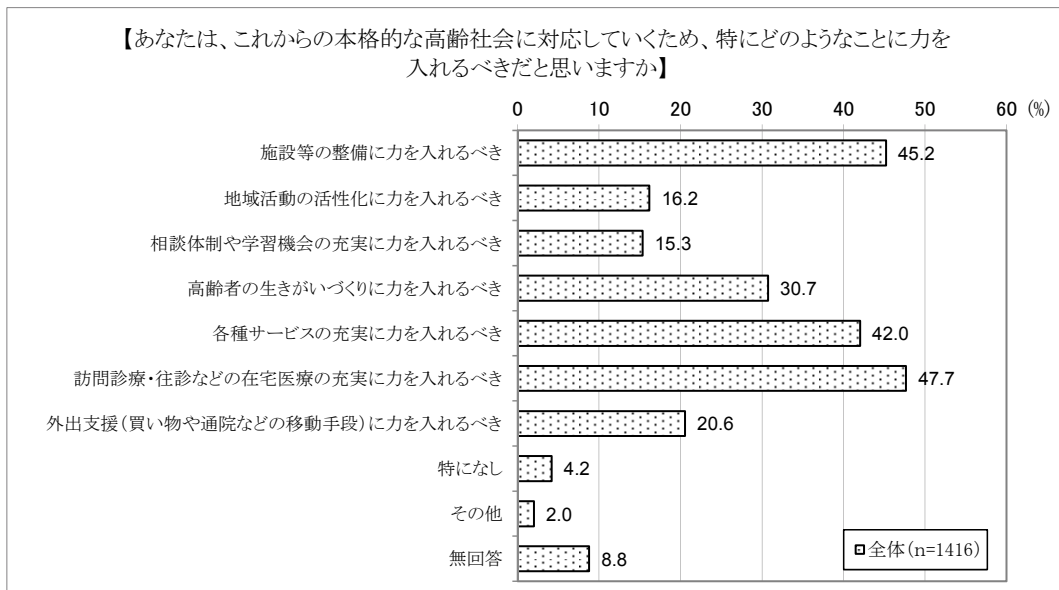
「どちらかと言えば充実している」（25.2%）、「とても充実している」（4.4%）と合わせて29.6%が“充実している”との回答となっている。



11 高齢期の生活

問４４ あなたは、これからの本格的な高齢社会に対応していくため、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（主なもの３つまでに○）

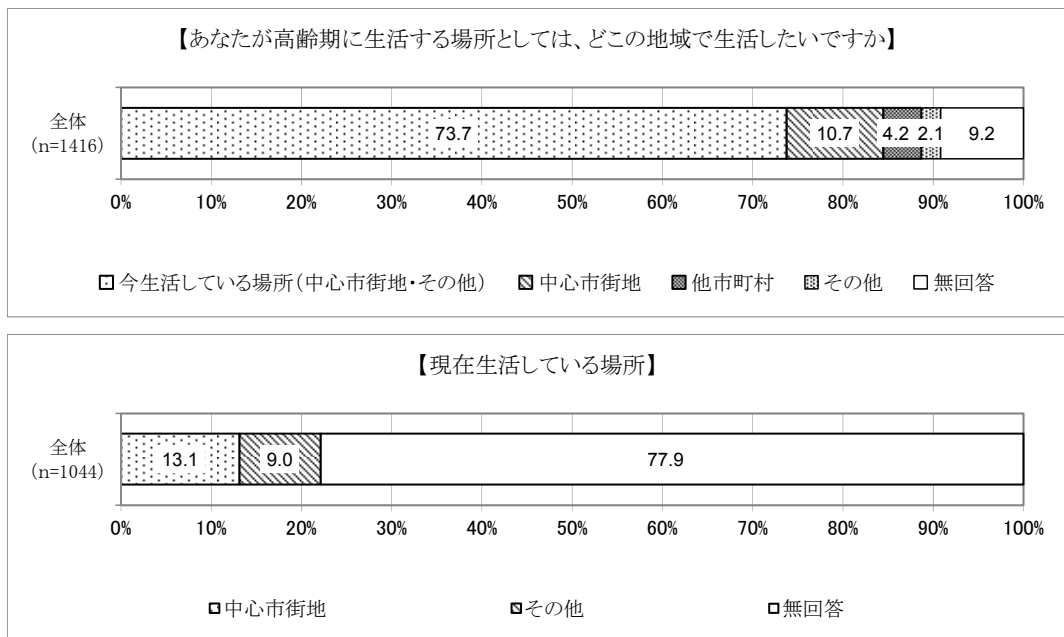
「訪問診療・往診などの在宅医療の充実に力を入れるべき」が47.7%と最も高く、次いで、「施設等の整備に力を入れるべき」が45.2%となっている。



問４５ あなたが高齢期に生活する場所としては、どこの地域で生活したいですか。（１つだけ○）

「今生活している場所（中心市街地・その他）」が73.7%と多数を占め、「中心市街地」（10.7%）、「他市町村」（4.2%）となっている。

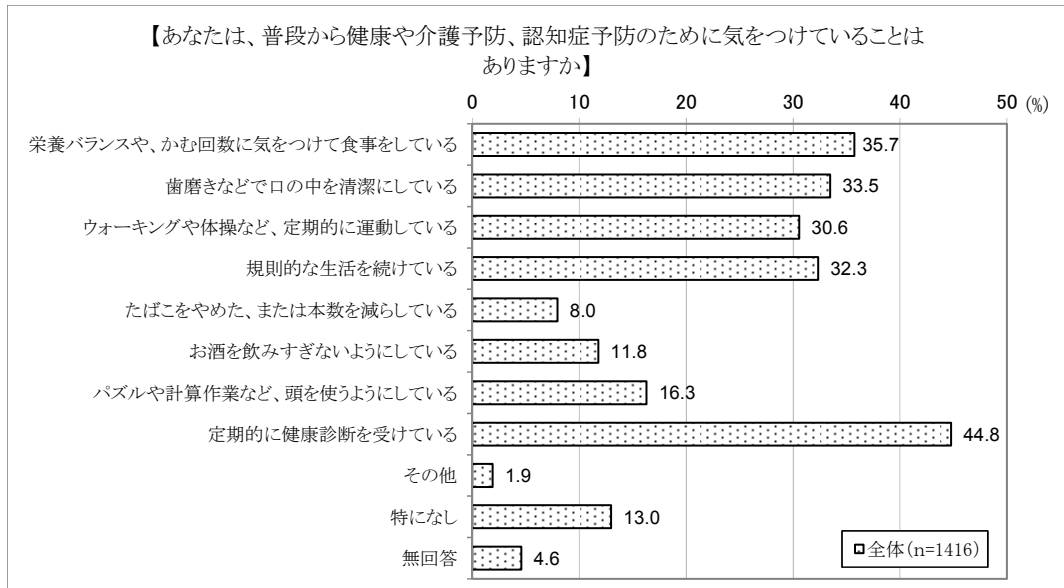
なお、現在生活している場所は「中心市街地」が13.1%、「その他」が9.0%となっている。



12 介護予防

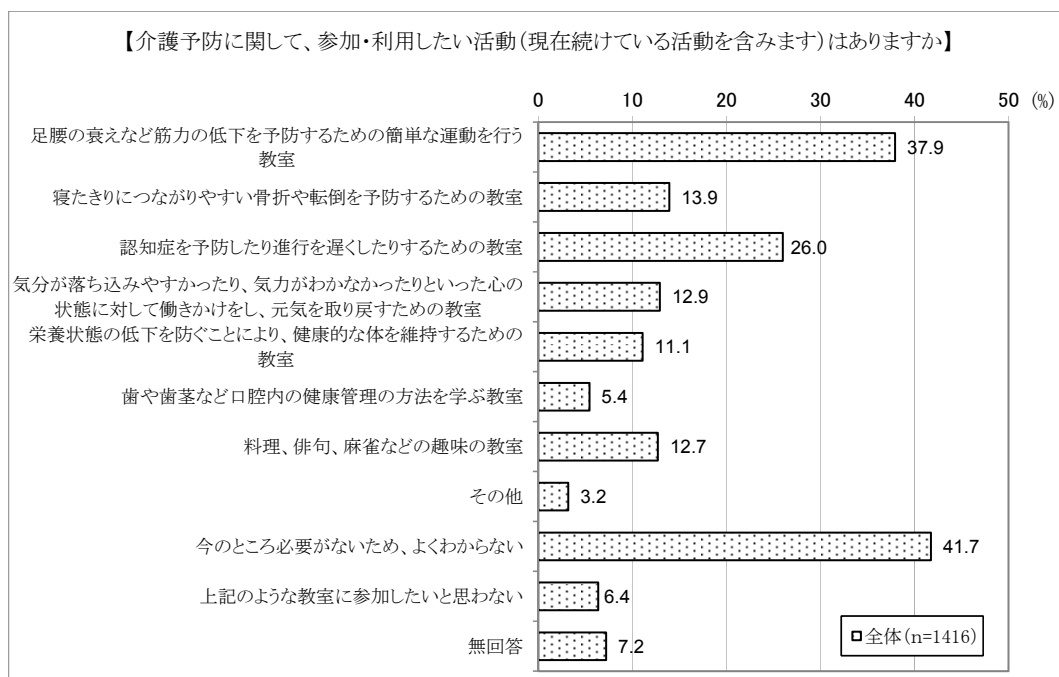
問４７ あなたは、普段から健康や介護予防、認知症予防のために気をつけていることはありますか。（主なもの３つまでに○）

「定期的に健康診断を受けている」が44.8%と最も高い。



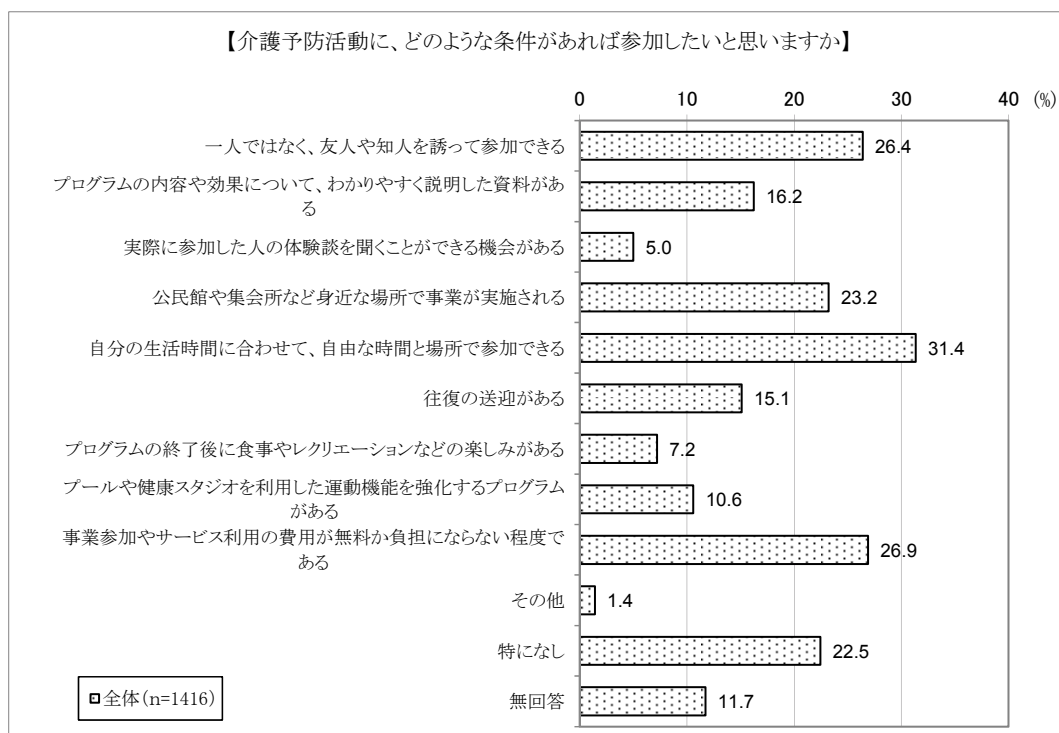
問４８ 介護予防に関して、参加・利用したい活動（現在続けている活動を含みます）はありますか。（主なもの３つまでに○）

「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室」が37.9%と最も高い。



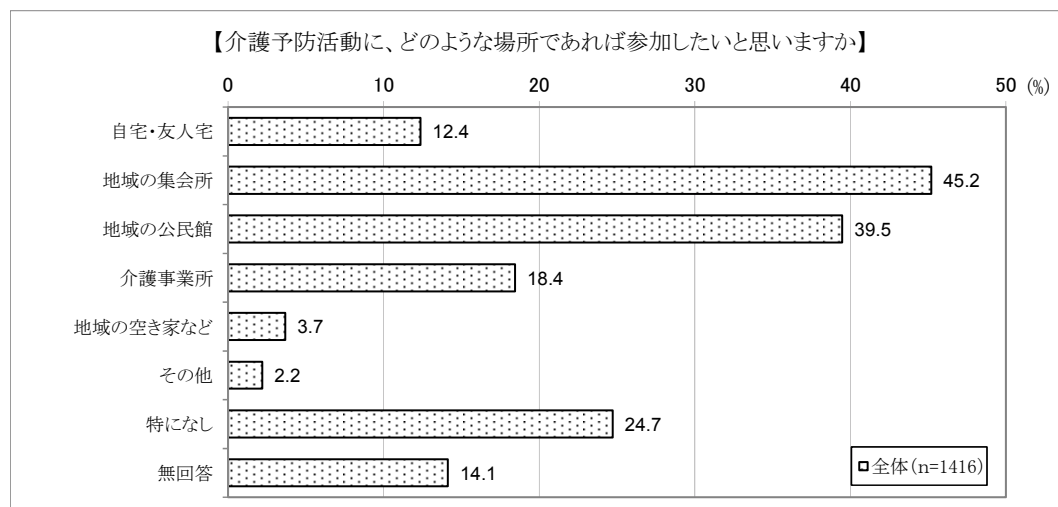
問４９ 問４８で挙げた介護予防活動に、どのような条件があれば参加したいと思いますか。（主なものを３つまでに○）

「自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる」が31.4%と最も高い。



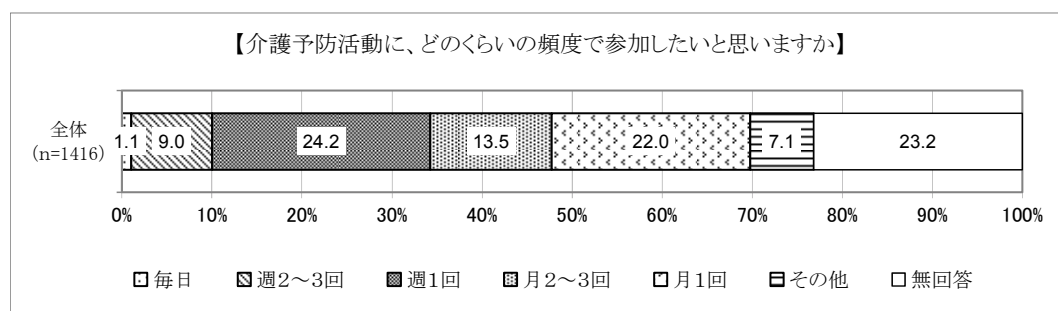
問50 問48で挙げた介護予防活動に、どのような場所であれば参加したいと思いますか。（主なものを3つまでに○）

「地域の集会所」が45.2%と最も高く、次いで、「地域の公民館」が39.5%となっている。



問51 問48で挙げた介護予防活動に、どのくらいの頻度で参加したいと思いますか。（1つだけ○）

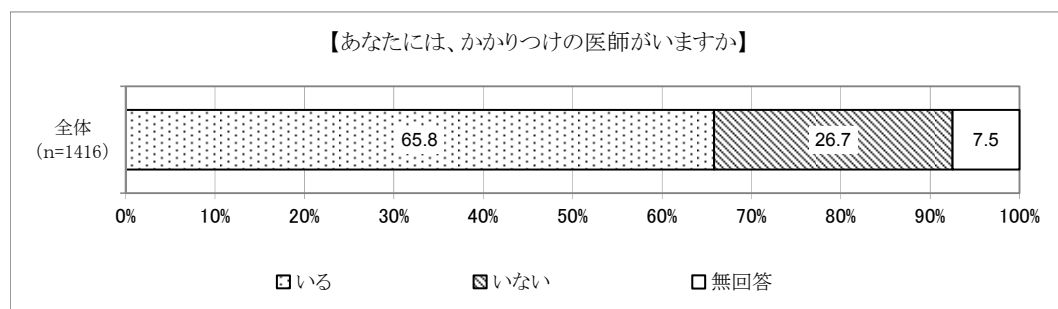
「週1回」が24.2%と最も高い。



13 医療

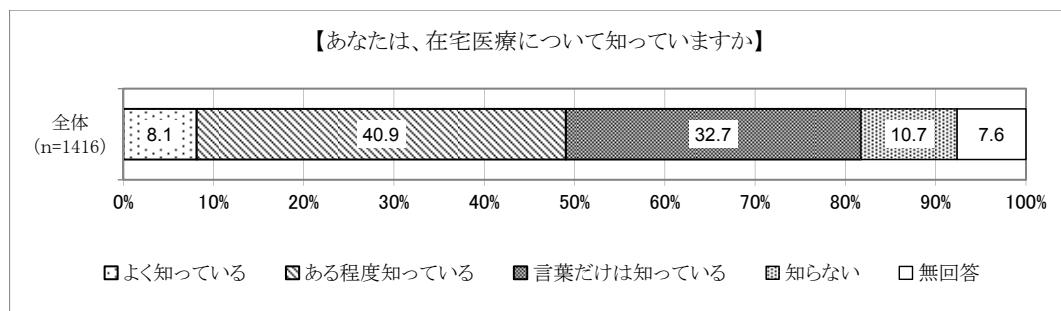
問52 あなたには、かかりつけの医師がいますか。（1つだけ○）

「いる」が65.8%、「いない」が26.7%となっている。



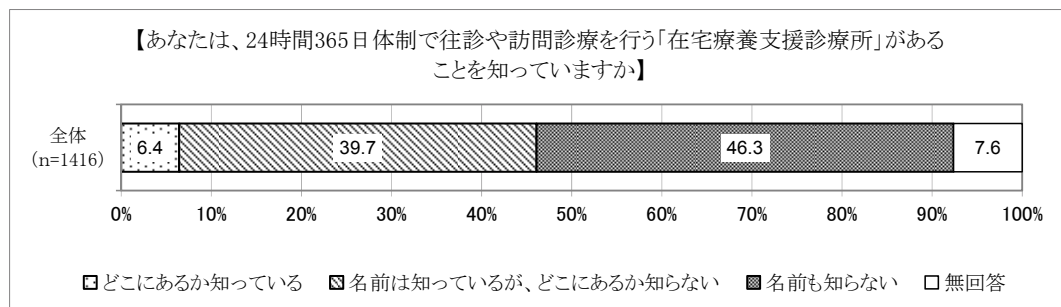
問５３ あなたは、在宅医療について知っていますか。（１つだけ○）

「ある程度知っている」が40.9%と最も高い。



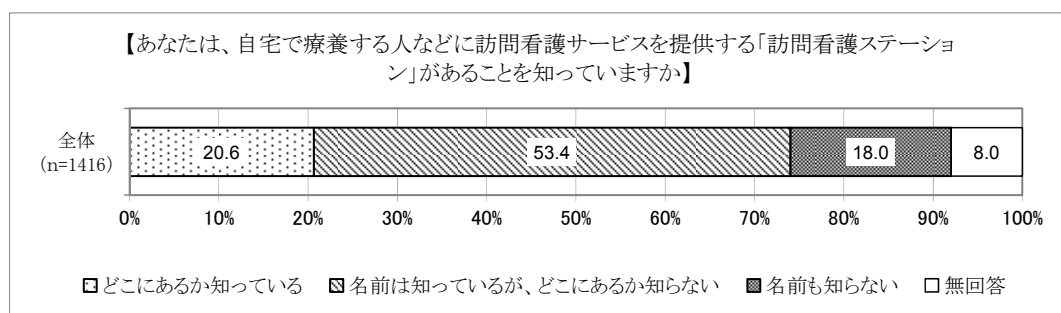
問５４ あなたは、24時間365日体制で往診や訪問診療を行う「在宅療養支援診療所」があることを知っていますか。（１つだけ○）

「名前も知らない」が46.3%と最も高い。



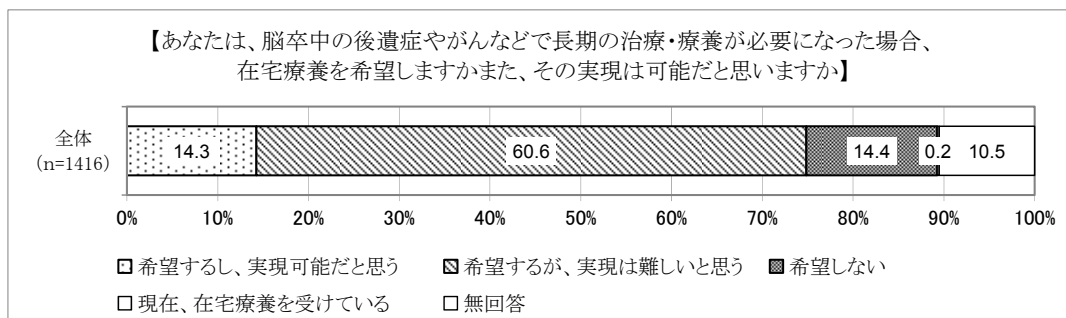
問５５ あなたは、自宅で療養する人などに訪問看護サービスを提供する「訪問看護ステーション」があることを知っていますか。（１つだけ○）

「名前は知っているが、どこにあるか知らない」が53.4%と最も高い。



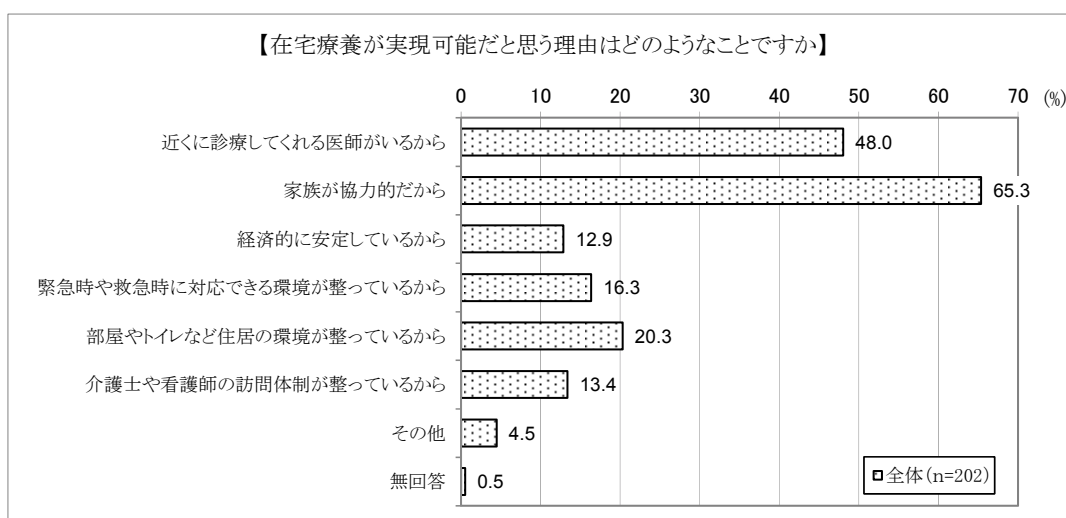
問５６ あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅療養を希望しますか。また、その実現は可能だと思いますか。（１つだけ○）

「希望するが、実現は難しいと思う」が60.6%と最も高い。



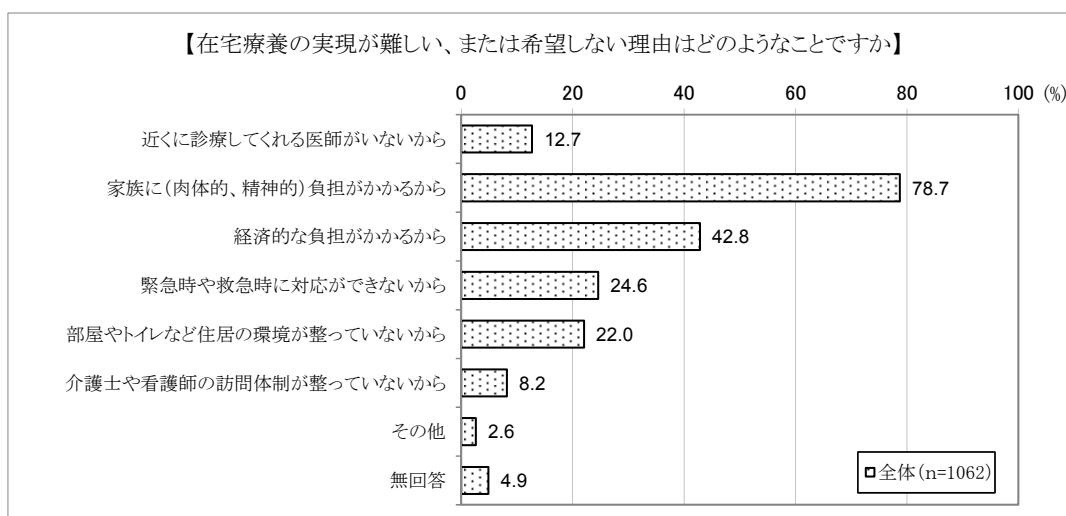
問57 問56で「1」と答えた方に伺います。在宅療養が実現可能だと思う理由は何のようなことですか。（主なものを3つまでに○）

「家族が協力的だから」が65.3%と最も高い。



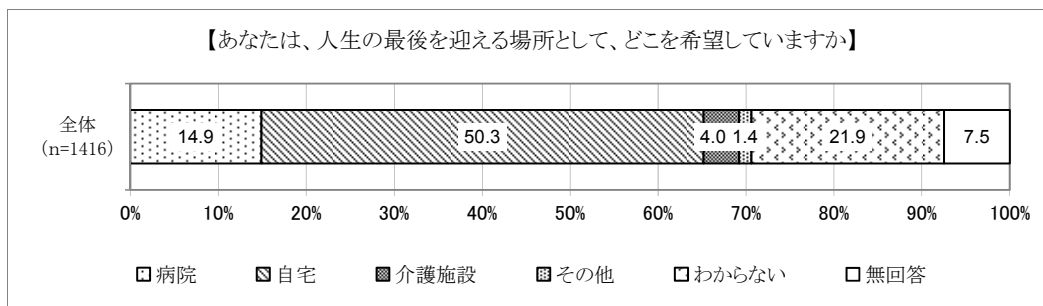
問58 問56で「2」または「3」と答えた方に伺います。在宅療養の実現が難しい、または希望しない理由は何のようなことですか。（主なものを3つまでに○）

「家族に（肉体的、精神的）負担がかかるから」が78.7%と最も高い。



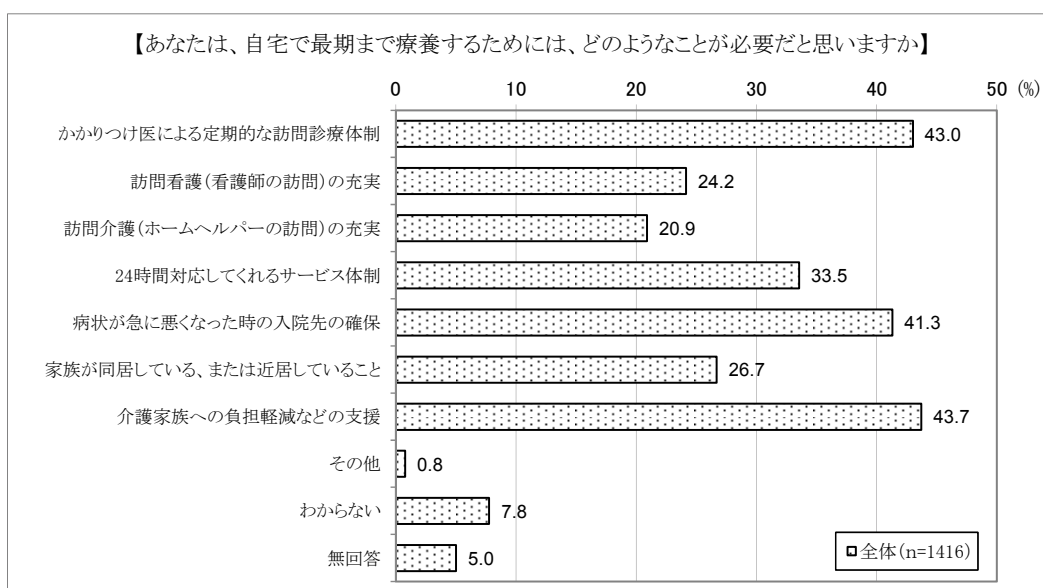
問５９ あなたは、人生の最後を迎える場所として、どこを希望していますか。（１つだけ○）

「自宅」が50.3%と最も高い。



問６０ あなたは、自宅で最期まで療養するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（主なもの３つまでに○）

「介護家族への負担軽減などの支援」(43.7%)や「かかりつけ医による定期的な訪問診療体制」(43.0%)、「病状が急に悪くなった時の入院先の確保」(41.3%)などの回答比率が高い。



14 自由意見

264 人より意見が寄せられた。主な内容は以下のとおりである。

◇自由意見のまとめ

項目	人数	主な内容
将来への不安	40	高齢になり病気ですぐに病院に行きたい時や、身近に相談する家族がいない時などは不安
		年々社会保障に関する状況が悪化し、老後の生活が一段と厳しくなり期待できる将来がない
		将来、体が不自由になった場合でも、ホームヘルパーの訪問を受けながら自宅で暮らしたい
		いずれ受けることになる介護支援を心身共に弱くなったときに経済面も含め、どれだけの選択ができるか不安
		老人の人口は増えるがそれを支える若者の人口が減っているので将来は不安
		両親の介護等を考えると非常に不安がある（経済的、肉体的、精神的にも）
介護・介護者	27	今は虐待する人の気持ちも理解できるようになってしまいました
		自宅で介護するにあたって、必要となる知識等を学べる機会がほしい
		介護家族への支援を重点的に行なってほしい
		介護施設ではなく、家庭で安心して育児や介護、予防のための食育など、なる前の対策をするべき
経済面	22	入所した時の高い入所代が年金で間に合うのか心配
		若い世代は夫婦二人で働いても年収が低く生活が困難な状態の方が多い
		低所得者をどう支援していくか
		施設に入れる程、経済は楽ではないので、考えると憂うつになる
高齢者	22	高齢者の自家用車運転事故防止に力を入れていかないとこれから心配
		高齢者に社会の居場所（働く場所、生きがい等、現役で活動できる所）が必要
		高齢者が増加する中高齢者、誰もが公平に安心して生活できる事業計画を強力に推進実行
身体状態	20	病歴は高血圧症、狭心症、脊椎管狭窄症、神経痛で痛みを堪えながら生活しています。要介護になるでしょうか。
		両親の介護で精神的にも肉体的にも疲れ果てうつ病になりました
施設	18	看護の施設ができたらいいい
		特老ホームやグループホームに希望者が全員入所できるような体制づくりや、施設の増加・新設を希望
		各施設の増加と職員の人手不足の解消
介護保険サービス	18	貸出しベッドなど、福祉用具の充実
		格安でサービスが受けられることが一番安心して老後を暮らしていける
		皆が平等にサービスを受けられる制度が一番必要
医療	17	高齢の場合、ある程度限度を持った治療が良い
		人間ドッグ（脳ドッグを含む）の充実と補助
		須賀川の病院体制を改善
介護保険制度	14	介護保険制度がころころ変わるし改悪が進み、年金生活ではついていけない状態になってきている
		1人暮らしで急を要する時は申請しなくてもすぐに1～2か月、支援する方法があってもよいのでは
		介護保険料については、ベースはあまり高い料金設定にはしないでほしい
		介護保険料を払うだけで、受けていない人は使用しない期間によってお金が戻ってくるという

項目	人数	主な内容
認知症	12	認知症の見分け方などを知りたい
		認知症等の実態をもっと幅広く皆にわかってもらいたい
		認知症の介護方法や講習会、認知症家族の交流の場を知らない
道路・交通	10	須賀川市あおば町まで巡回バスを運行してもらいたい
		地下道も高齢者にとっては不便な時もある
		市内巡環バス等、比較的便利な中心部だけを回っているのはおかしい
情報	9	健康寿命をより向上していくための方策を具体的に広報などに示してほしい
		市からの詳しい情報が必要
まちづくり、地域交流活動	24	協力しながら助け合うことが大切、日頃から地域作りをすべき
		歩け歩け運動をできれば市民運動に取り入れてほしい
		一人で抱え込まずに、ご近所づきあい等でコミュニケーションをきちんと取れる地区、地域内での密なるつながりが必要
		孤立しないような地域社会であってほしい
行政	45	福祉とは何かを役所を含む施設は、もう一度考え直すことも大事である
		アンケートだけでなく担当者が個別に訪問して相談を受けることは不可能でしょうか
		集まった情報を分析し、市当局の集めている内容を合わせ動向を把握し、市の行政指針として下さい。大規模な情報収集を定期的の実施して行くことは市民の声を得る上で、非常に良い方法だと思いますので、継続実施を年代別に願います
		他市等との情報の交流などをして、中身の濃いサービスを提供して欲しい
		働く労働者にとって、介護休業制度と取得しやすい体制を国、行政が主体となり進めて欲しい
		市民の目線で本気で介護や子供達に税金を使って下さい
その他	60	財政とのバランスが取れた常に改善が可能な体制を望みます
		健康、就労、子ども、アンケートについて、他

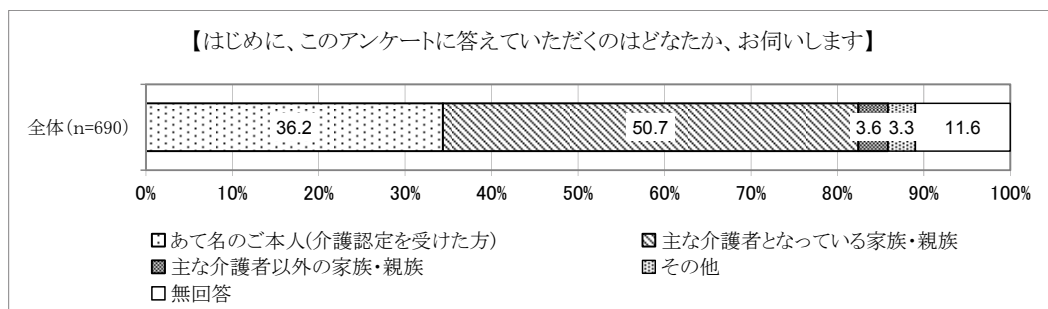
※一人の意見が複数項目にわたる場合があるため、回答者数（264人）と各意見の人数合計は異なる。

Ⅳ 市民意識調査（要支援・要介護認定者） 集計結果

1 回答者の属性

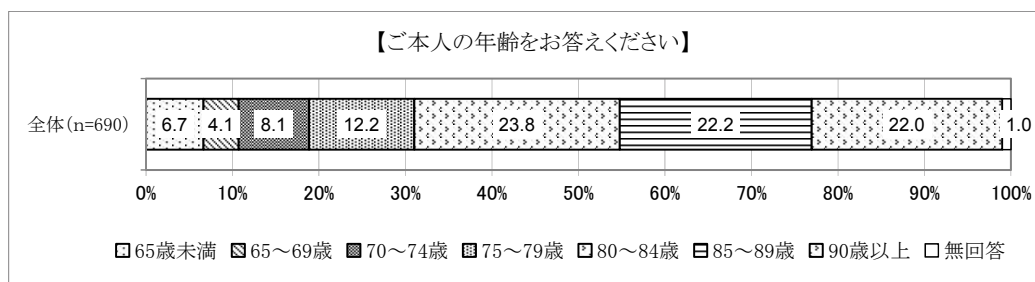
1 はじめに、このアンケートに答えていただくのはどなたか、お伺いします。（複数回答可）

「主な介護者となっている家族・親族」が 50.7%、「あて名のご本人（介護認定を受けた方）」は 36.2%、「主な介護者以外の家族・親族」は 3.6%、「その他」は 3.3%となっている。



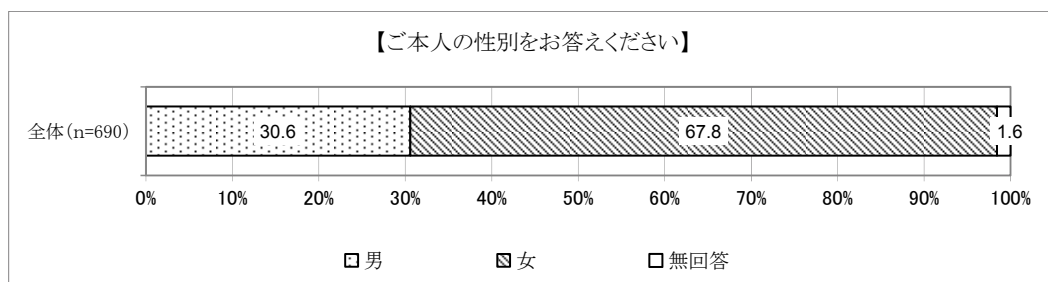
問 1 平成 29 年 1 月 1 日現在のご本人の年齢をお答えください。（1つだけ○）

「80～84 歳」が 23.8%と最も高いなど、年齢の高い方の回答比率が高い。



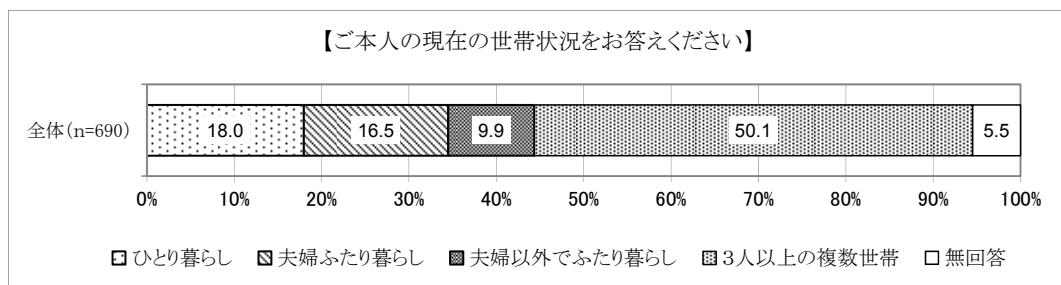
問 2 ご本人の性別をお答えください。（1つだけ○）

「男性」が 30.6%、「女性」が 67.8%となっている。



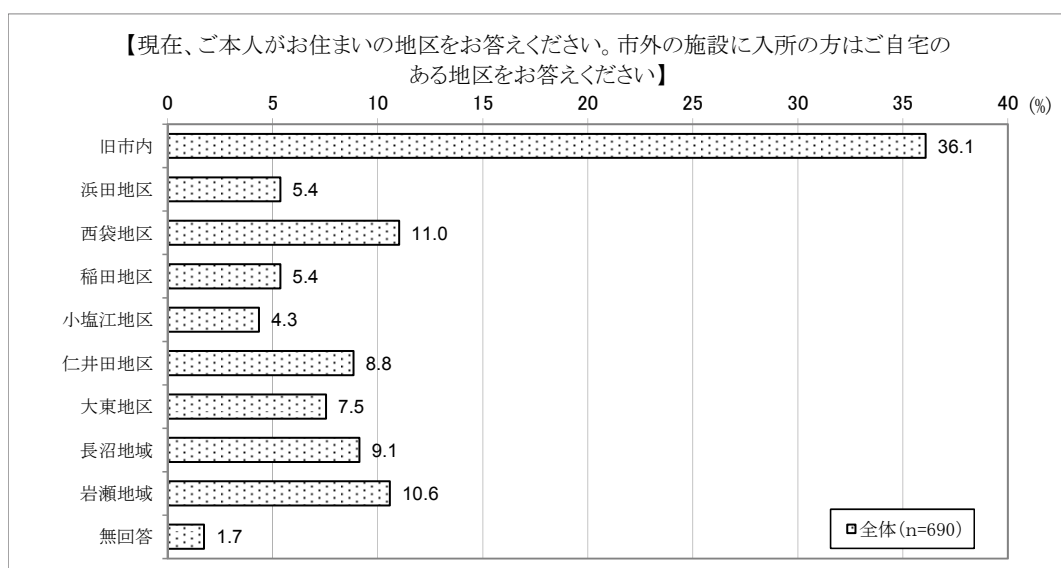
問 3 ご本人の現在の世帯状況をお答えください。（1つだけ○）

世帯状況については、「3 人以上の複数世帯」が 50.1%と約半数を占め、「ひとり暮らし」は 18.0%、「夫婦ふたり暮らし」は 16.5%、「夫婦以外でふたり暮らし」は 9.9%となっている。



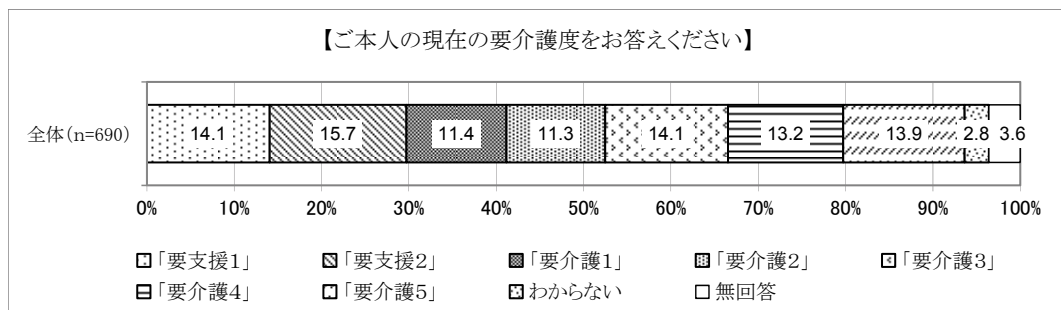
問4 現在、ご本人がお住まいの地区をお答えください。市外の施設に入所の方はご自宅のある地区をお答えください。（1つだけ○）

「旧市内」が 36.1%と最も高く、以下、「西袋地区」（11.0%）、「岩瀬地域」（10.6%）、「長沼地域」（9.1%）、「仁井田地区」（8.8%）、「大東地区」（7.5%）と続く。



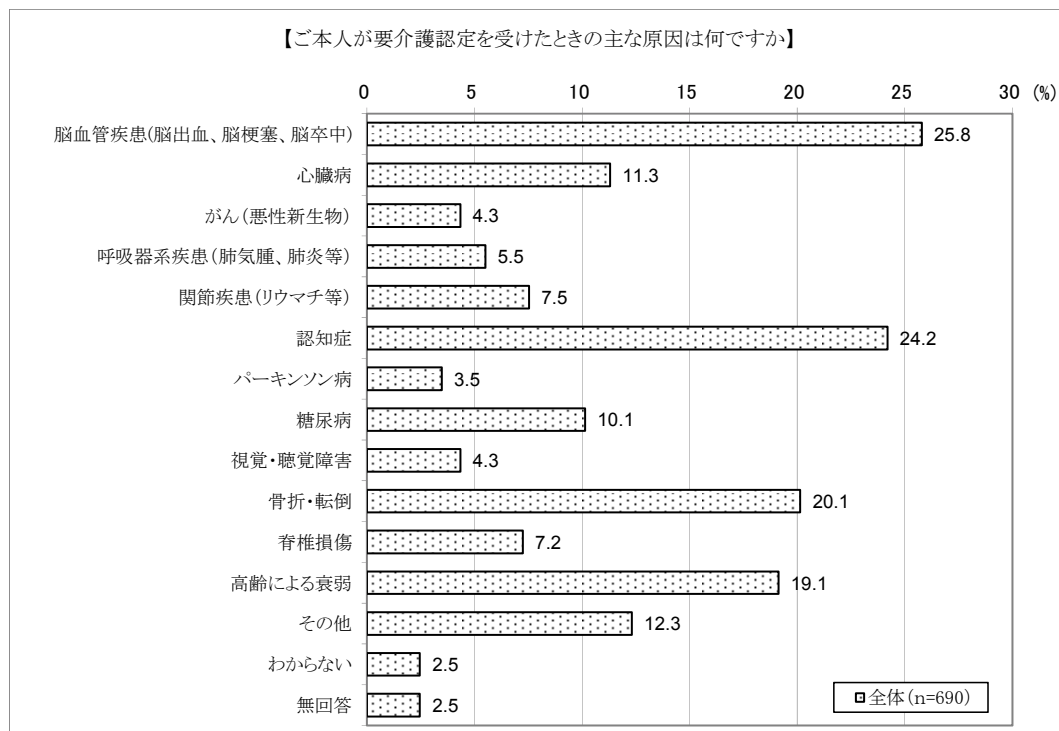
問5 ご本人の現在の要介護度をお答えください（1つだけ○）

「要支援2」が 15.7%と最も高く、以下、「要支援1」及び「要介護3」がともに（14.1%）、「要介護5」（13.9%）、「要介護4」（13.2%）、「要介護1」（11.4%）、「要介護2」（11.3%）となっている。



問6 ご本人が要介護認定を受けたときの主な原因は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

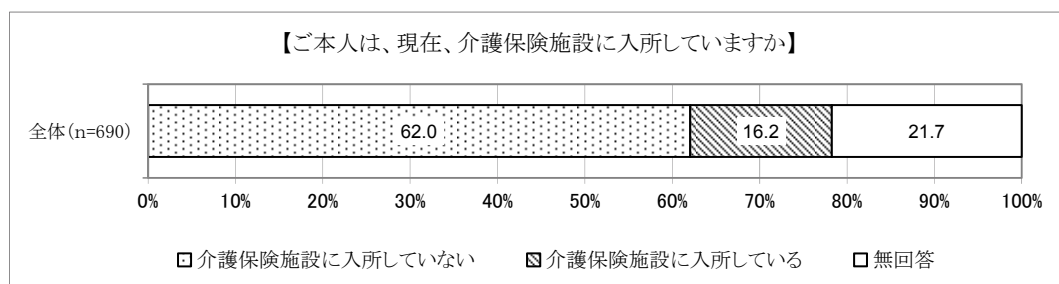
「脳血管疾患」が25.8%と最も高く、以下、「認知症」(24.2%)、「骨折・転倒」(20.1%)、「高齢による衰弱」(19.1%)、「心臓病」(11.3%)、「糖尿病」(10.1%)と続いている。



2 介護保険サービスの利用

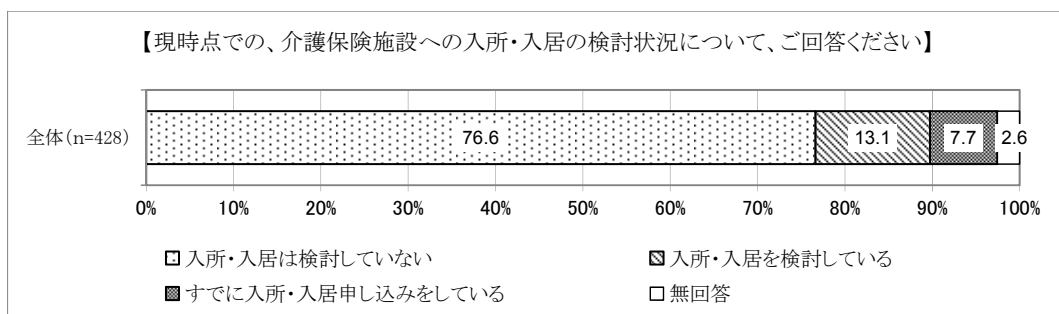
問7 ご本人は、現在、介護保険施設に入所していますか。（1つだけ○）

「介護保険施設に入所していない」が62.0%と多数を占めている。



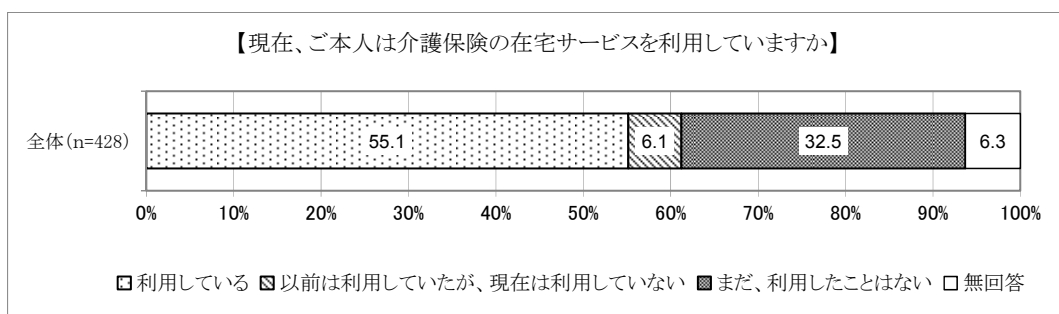
問8 問7で「1」と答えた方にお伺いします。現時点での、介護保険施設への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つだけ○）

「入所・入居は検討していない」が76.6%と最も高く、「入所・入居を検討している」は13.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は7.7%となっている。



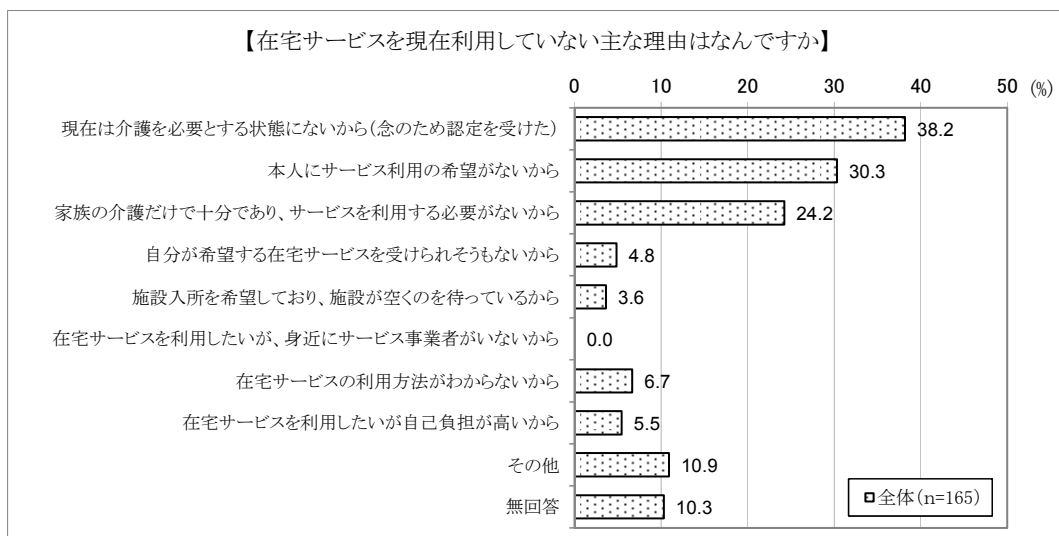
問9 問7で「1」と答えた方にお伺いします。現在、ご本人は介護保険の在宅サービスを利用していますか。（1つだけ○）

「利用している」が 55.1%と過半数を占め、「まだ、利用したことはない」は 32.5%となっている。



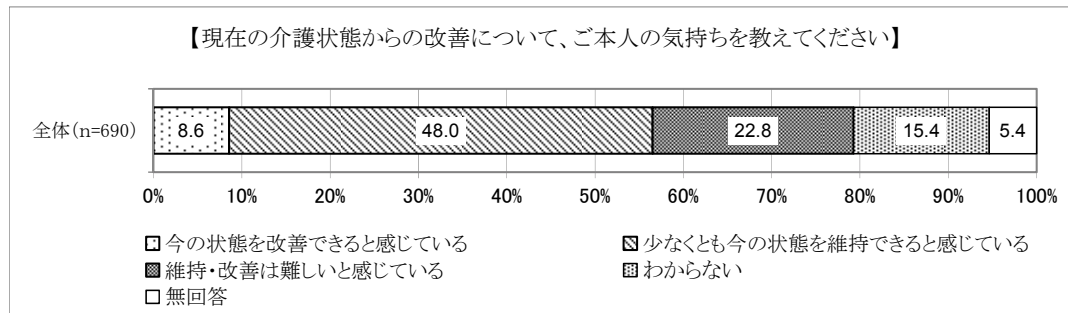
問10 問9で「2」又は「3」と答えた方に伺います。在宅サービスを現在利用していない主な理由は何ですか。（主なもの2つまでに○）

「現在は、介護を必要とする状態にないから（念のため認定を受けた）」が 38.2%と最も高くなっている。以下、「本人にサービス利用の希望がないから」（30.3%）、「家族の介護だけで十分であり、サービスを利用する必要がないから」（24.2%）、「在宅サービスの利用方法がわからないから」（6.7%）と続いている。



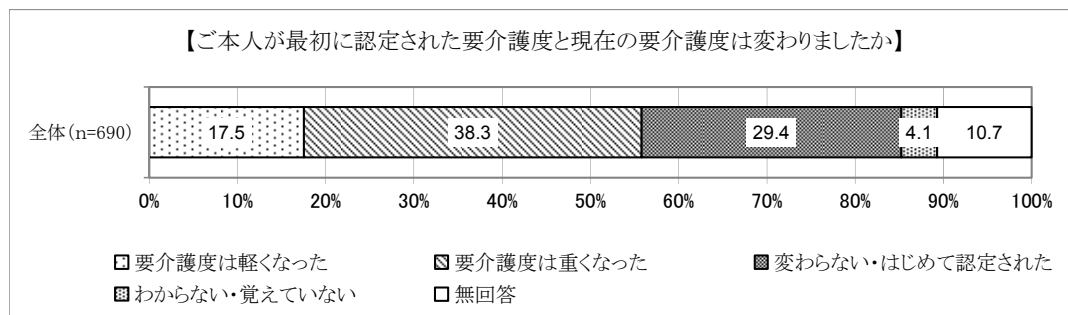
問 1 1 現在の介護状態からの改善について、ご本人の気持ちを教えてください。
(1つだけ○)

「少なくとも今の状態を維持できていると感じている」が 48.0%と約半数を占めている。



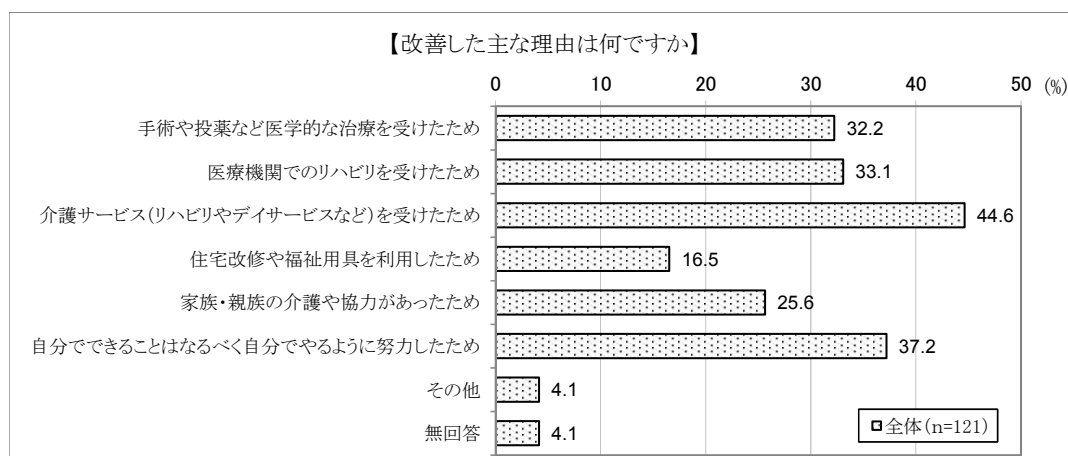
問 1 2 ご本人が最初に認定された要介護度と現在の要介護度は変わりましたか。
(1つだけ○)

「要介護度は重くなった」が 38.3%、「変わらない・はじめて認定された」が 29.4%、「要介護度は軽くなった」が 17.5%、「わからない・覚えていない」が 4.1%となっている。



問 1 3 問 1 2 で「1」と答えた方に伺います。改善した主な理由は何ですか。
(3つまでに○)

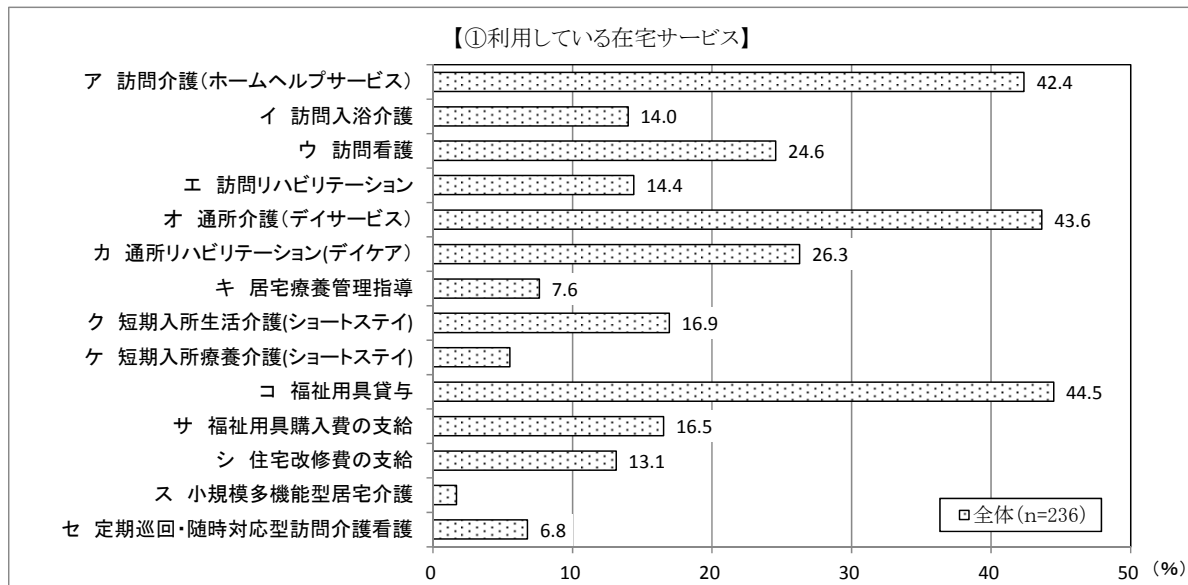
「介護サービス（リハビリやデイサービスなど）を受けたため」が 44.6%と最も高く、以下、「自分でできることはなるべく自分でやるように努力したため」(37.2%)、「医療機関でのリハビリを受けたため」(33.1%)、「手術や投薬など医学的な治療を受けたため」(32.2%)、「家族・親族の介護や協力があったため」(25.6%)と続いている。



問14 在宅サービスについて伺います。

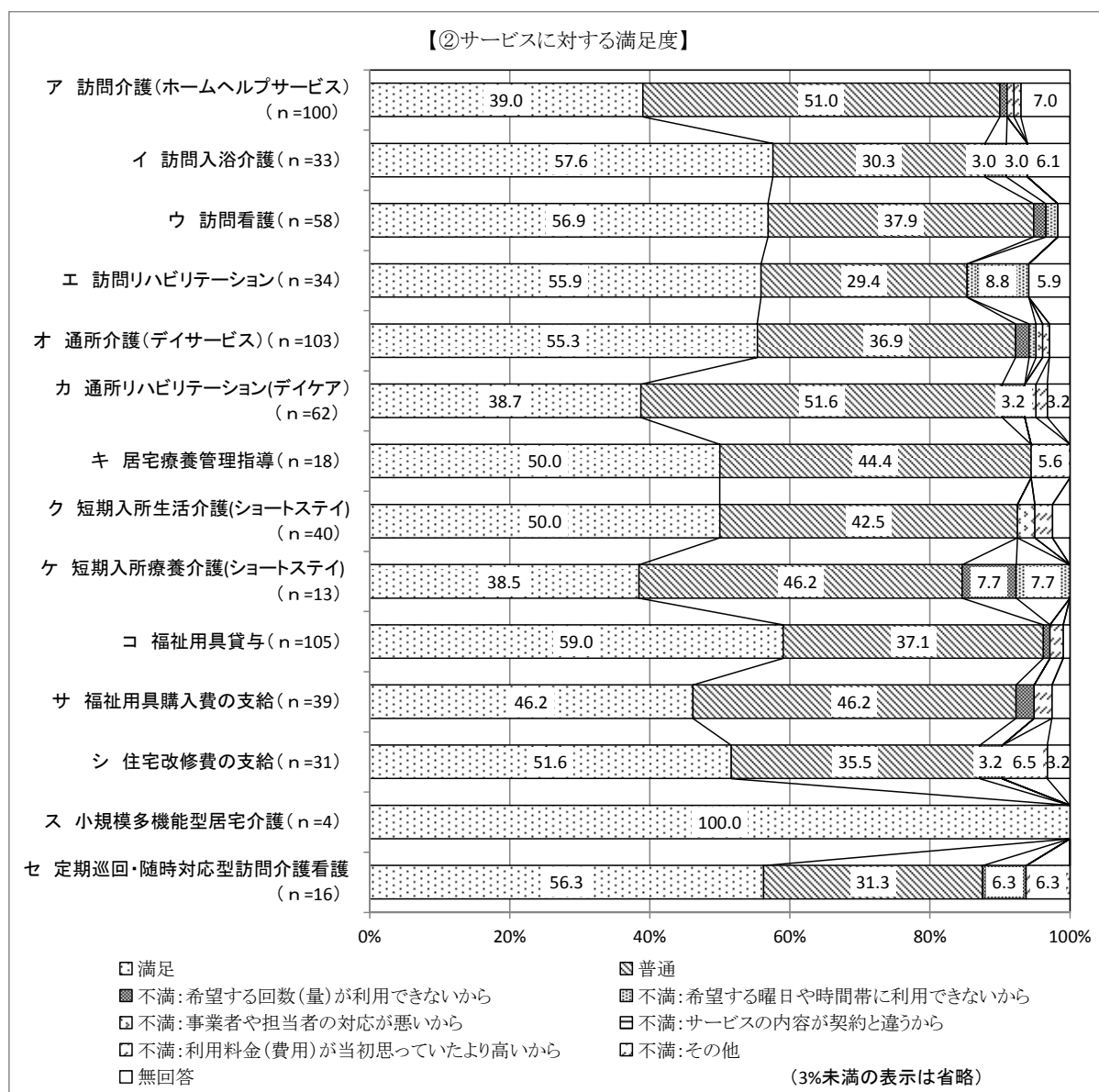
①「利用している在宅サービス」について、あてはまる記号すべてに○をつけてください。

「コ 福祉用具貸与」(44.5%)や「オ 通所介護(デイサービス)」(43.6%)、「ア 訪問介護(ホームヘルプサービス)」(42.4%)で利用度が高い。



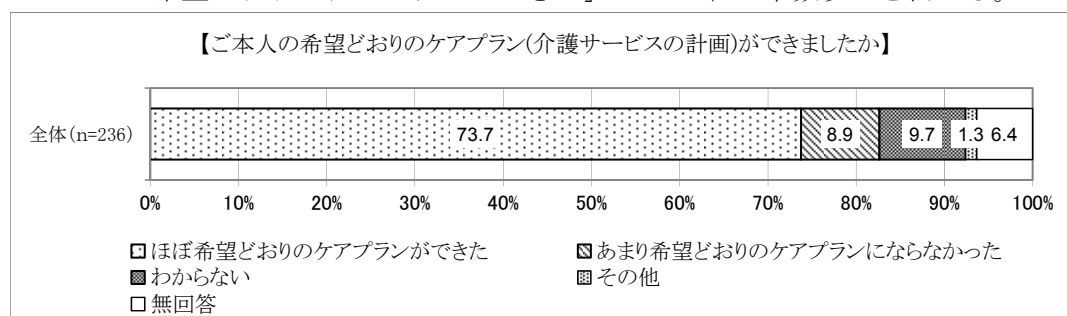
②「サービスの満足度」について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

「ケ 短期入所療養介護(ショートステイ)」(38.5%)や「カ 通所リハビリテーション(デイケア)」(38.7%)、「ア 訪問介護(ホームヘルプサービス)」(39.0%)では、「満足」の回答がやや低い。



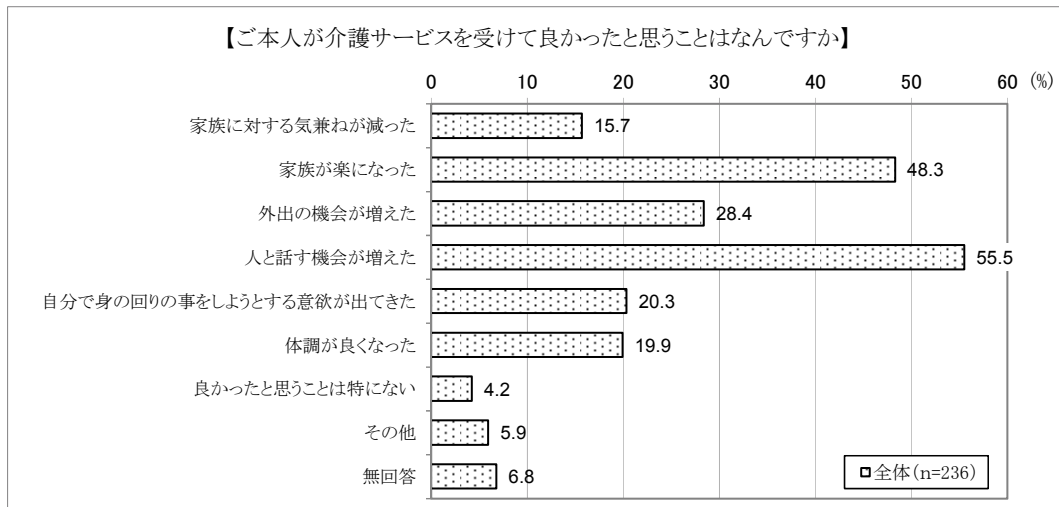
問15 ご本人の希望どおりのケアプラン(介護サービスの計画)ができましたか。(1つだけ○)

「ほぼ希望どおりのケアプランができた」が73.7%と半数以上を占める。



問１６ ご本人が介護サービスを受けて良かったと思うことはなんですか。（あてはまる番号すべてに○）

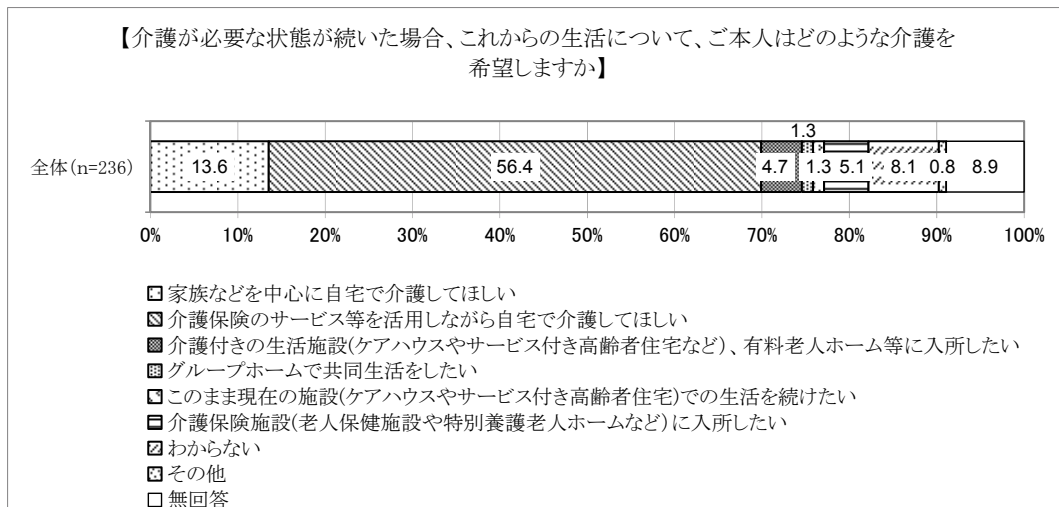
「人と話す機会が増えた」（55.5％）や「家族が楽になった」（48.3％）の回答比率が高い。



3 介護保険制度

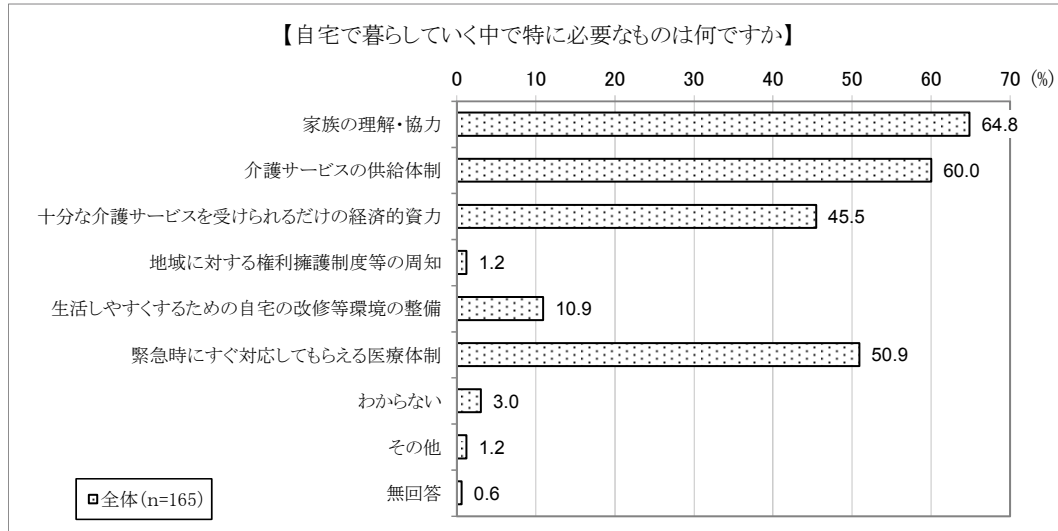
問１７ 介護が必要な状態が続いた場合、これからの生活について、ご本人はどのような介護を希望しますか。（１つだけ○）

「介護保険のサービス等を活用しながら自宅で介護してほしい」が56.4％と最も高い。



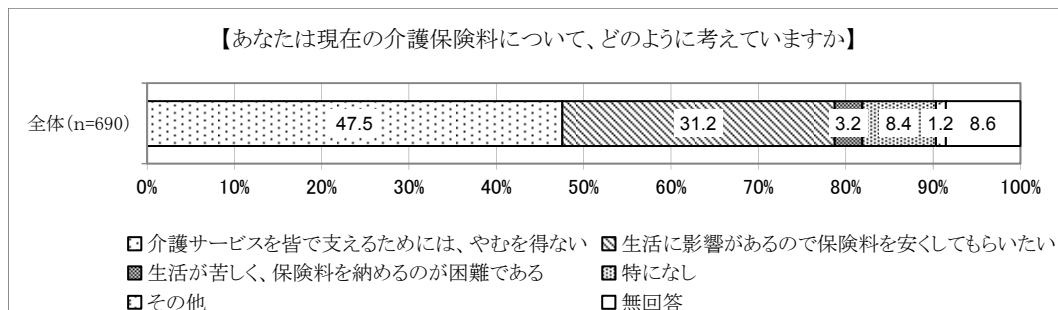
問 18 問 17で「1」または「2」と回答した方に伺います。自宅で暮らしていく中で特に必要なものは何ですか。（主なもの3つまでに○）

「家族の理解・協力」（64.8%）や「介護サービスの供給体制」（60.0%）、「緊急時にすぐ対応してもらえる医療体制」（50.9%）、「十分な介護サービスを受けられるだけの経済的實力」（45.5%）の回答比率が高い。



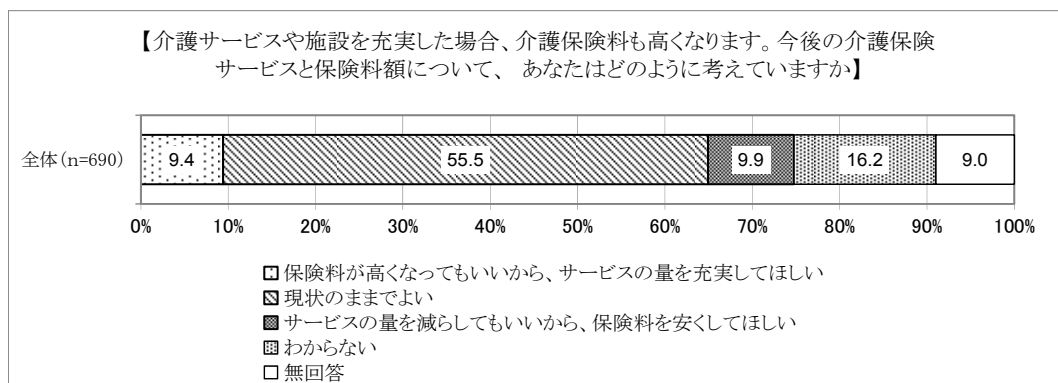
問 19 あなたは現在の介護保険料について、どのように考えていますか。（1つだけ○）

「介護サービスを皆で支えるためには、やむを得ない」が 47.5%と最も高く、「生活に影響があるので保険料を安くしてもらいたい」が 31.2%となっている。



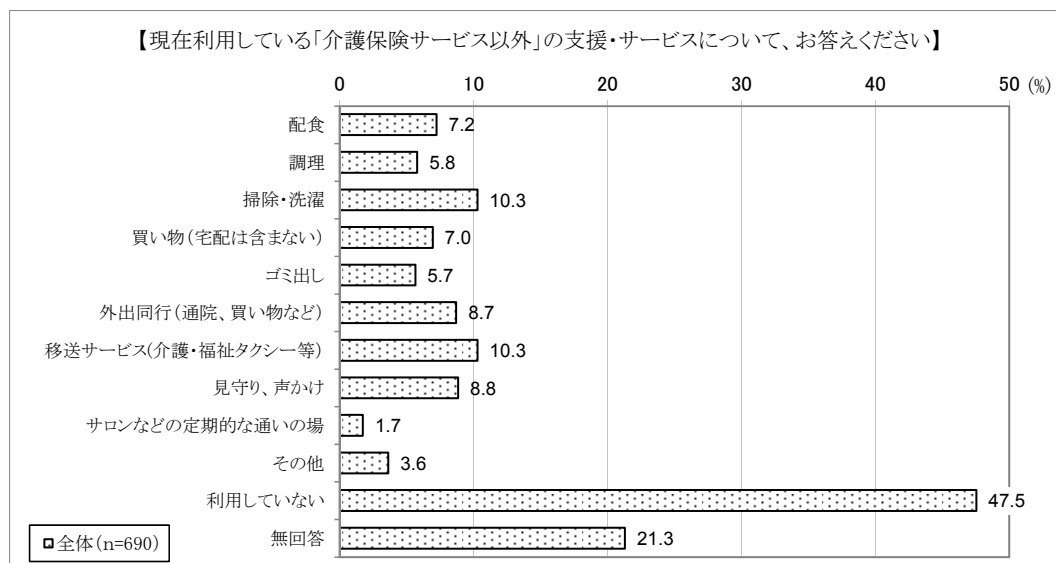
問 20 介護サービスや施設を充実した場合、介護保険料も高くなります。今後の介護保険サービスと保険料額について あなたはどのように考えていますか。（1つだけ○）

「現状のままでよい」が 55.5%と半数を占める。



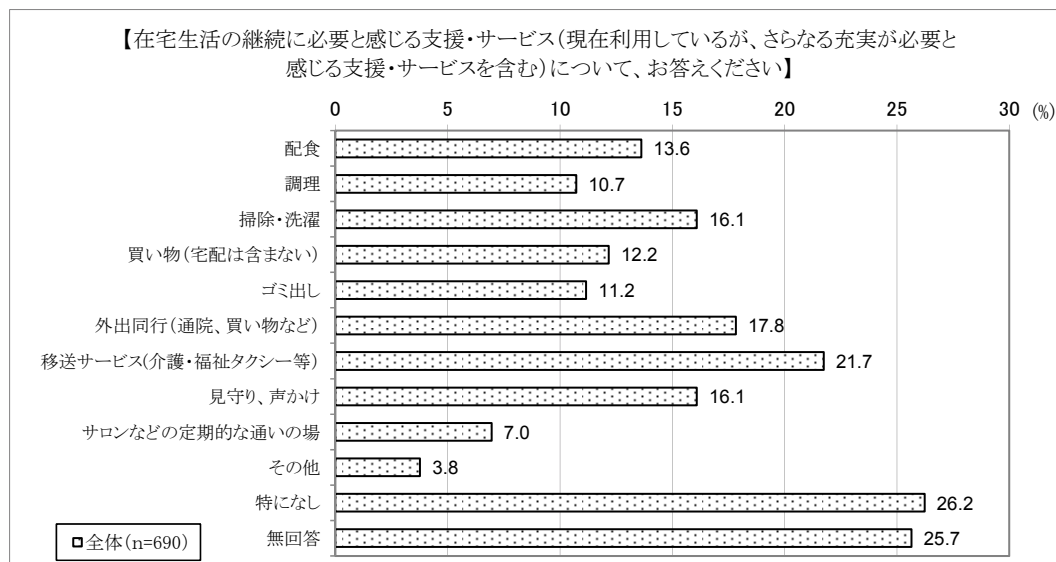
問２１ 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「利用していない」が47.5%と最も高い。利用しているサービスでは「掃除・洗濯」及び「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がともに10.3%で最も高い。

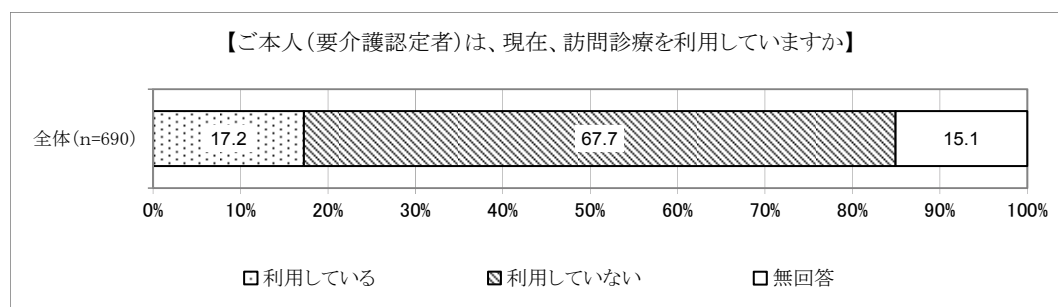


問２２ 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、お答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(21.7%) や「外出同行（通院、買い物など）」(17.8%)、
「掃除・洗濯」及び「見守り、声かけ」（ともに16.1%）などの回答比率が高い。

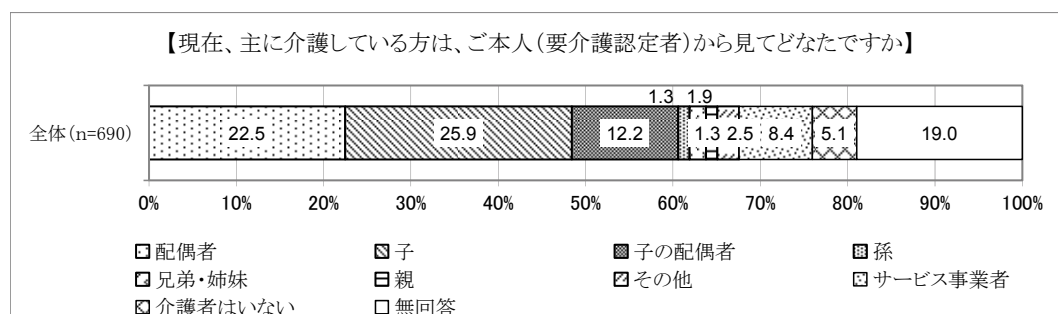


問 2 3 ご本人（要介護認定者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つだけ○）
「利用していない」が 67.7%と半数以上を占める。

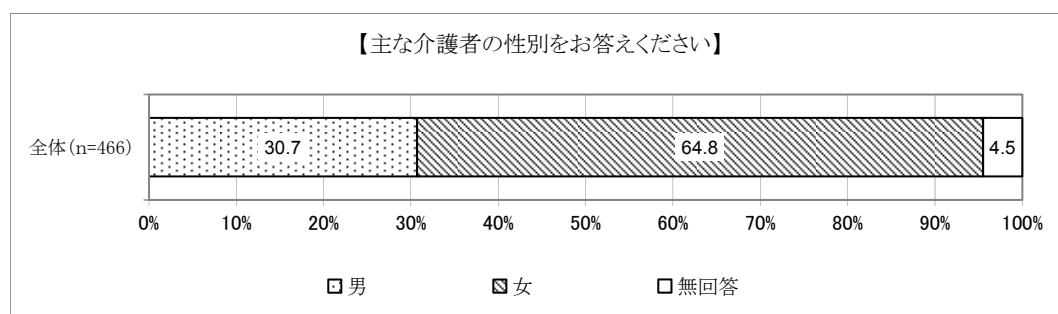


4 介護者の状況

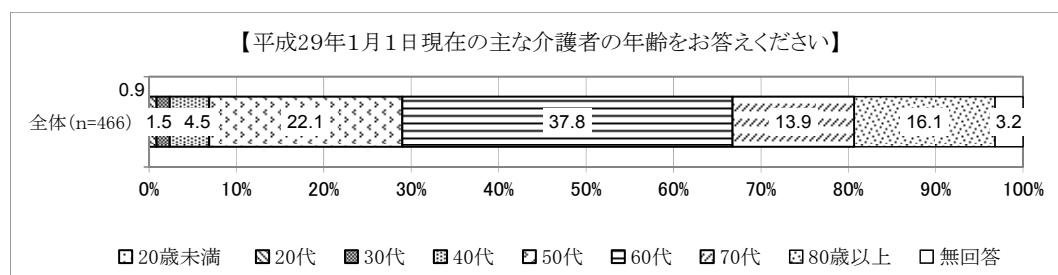
問 2 4 現在、主に介護している方は、ご本人（要介護認定者）から見てどなたですか。（1つだけ○）
「子」（25.9%）や「配偶者」（22.5%）、「子の配偶者」（12.2%）の回答比率が高い。



問 2 5 主な介護者の性別をお答えください。（1つだけ○）
「女性」が 64.8%と「男性」の 30.7%を大きく上回っている。

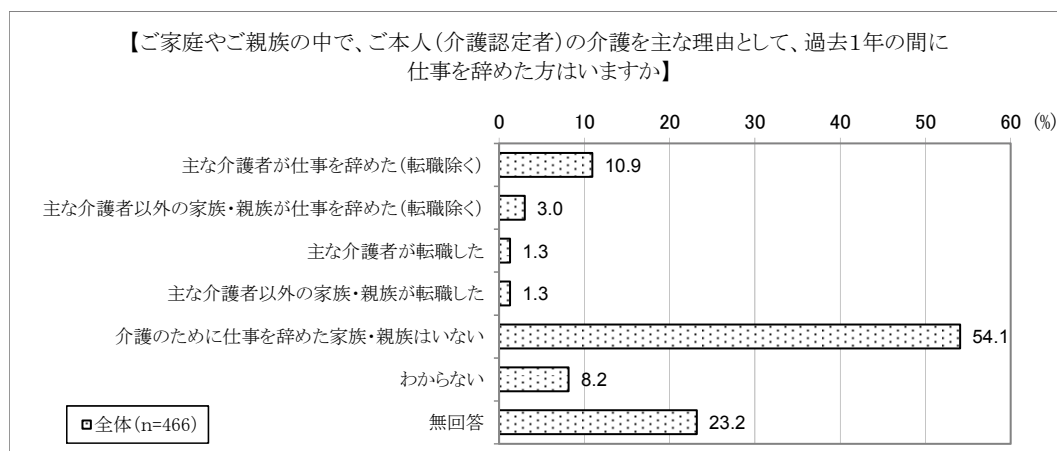


問 2 6 平成 2 9 年 1 月 1 日現在の主な介護者の年齢をお答えください。
「60 代」が 37.8%と最も高く、「60 代以上」が約 7 割を占める。



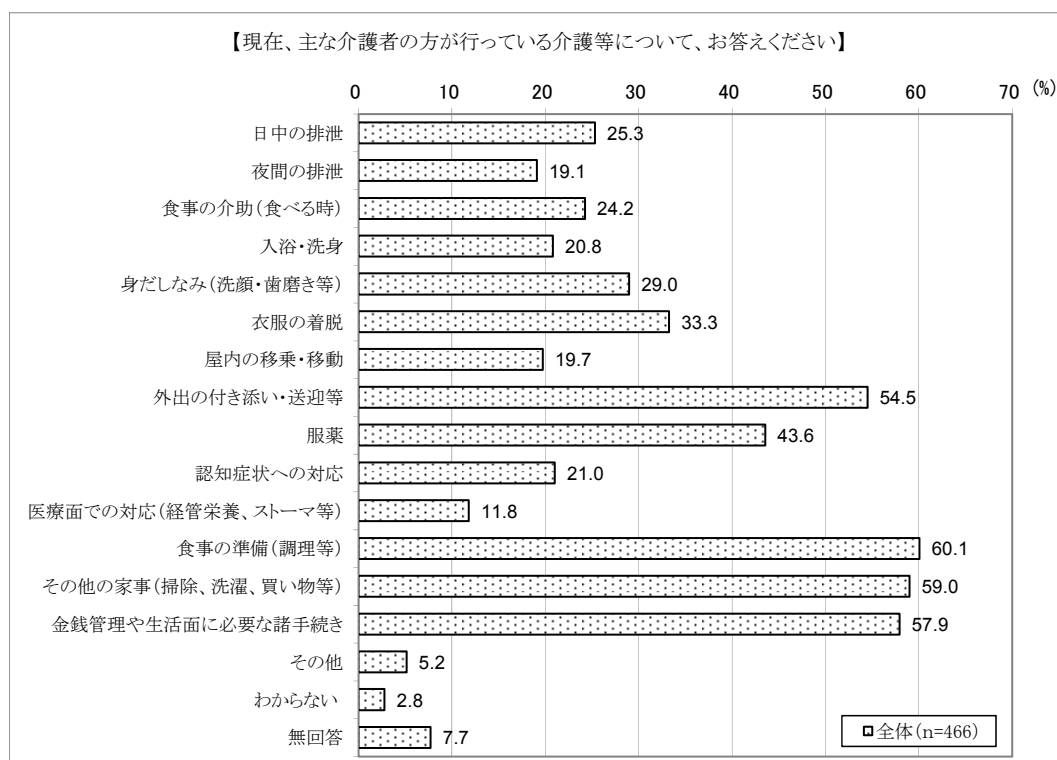
問 2 7 ご家庭やご親族の中で、ご本人（介護認定者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務体制は問いません）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 54.1%と最も高い。



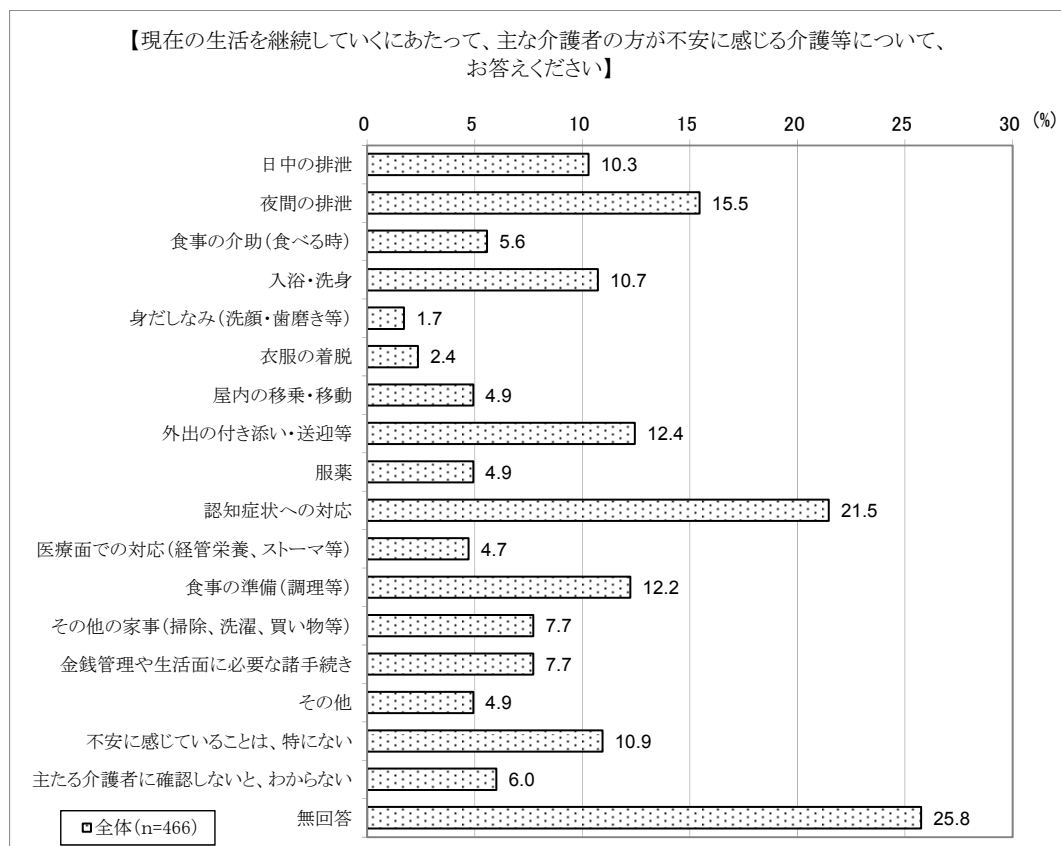
問 2 8 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください（あてはまる番号すべてに○）

「食事の準備（調理等）」(60.1%) や「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(59.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(57.9%)、「外出の付き添い、送迎等」(54.5%) の回答比率が高く、いずれも半数を超えている。



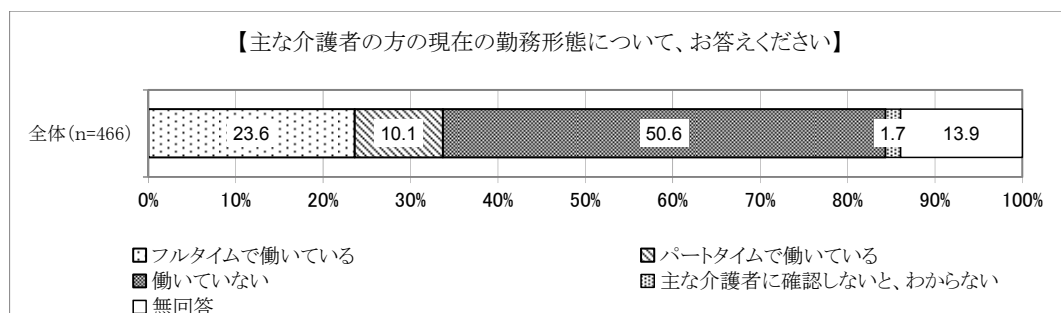
問 2 9 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、お答えください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまでに○）

「認知症状への対応」が21.5%と最も高く、以下、「夜間の排泄」（15.5%）、「外出の付き添い、送迎等」（12.4%）、「食事の準備（調理等）」（12.2%）と続いている。



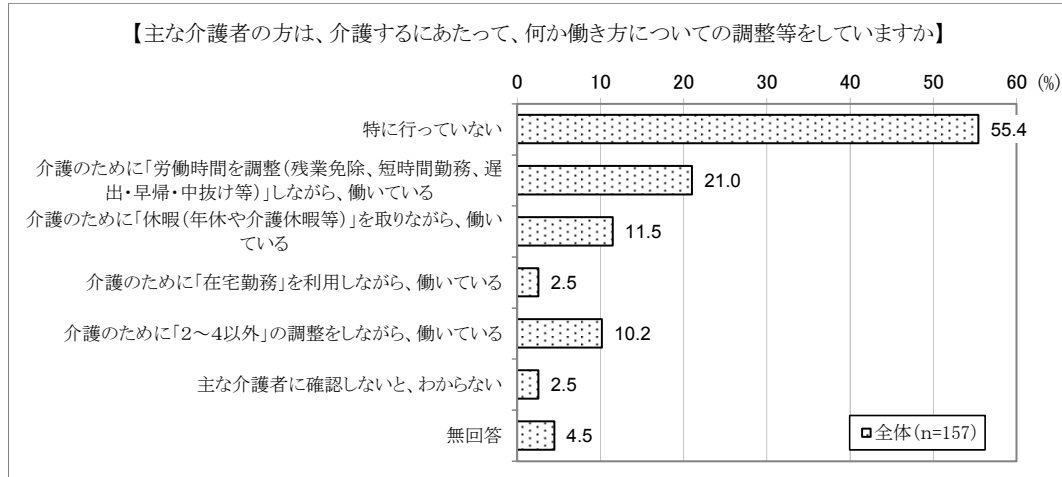
問 3 0 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください。（1つだけ○）

「働いていない」が50.6%、「フルタイムで働いている」が23.6%となっている。



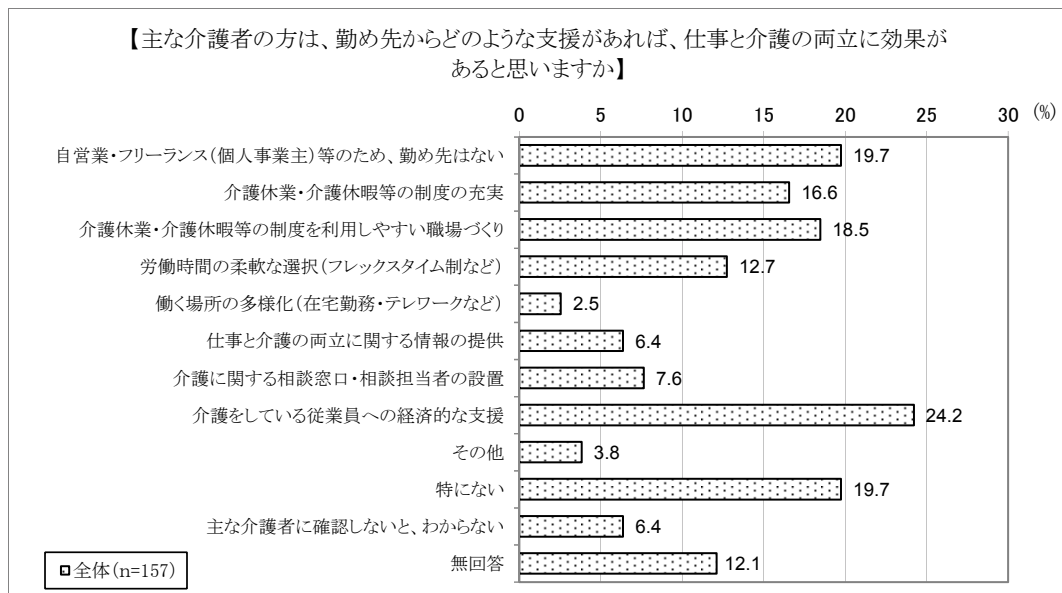
問 3 1 問 3 0で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

「特に行っていない」が55.4%と過半数を占める。



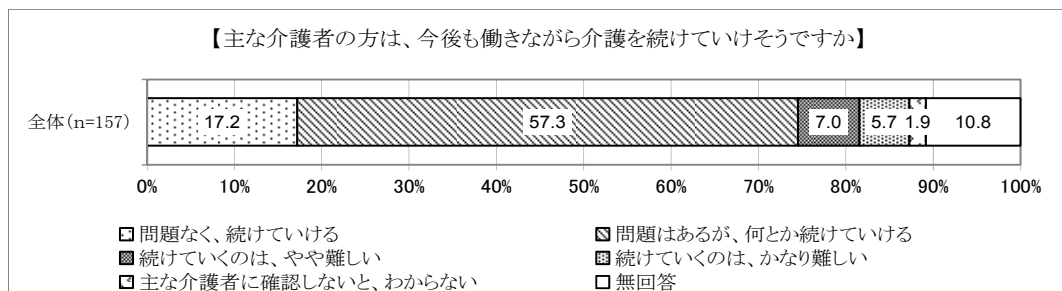
問32 問30で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまでに○)

「介護をしている従業員への経済的な支援」(24.2%)や「介護休業・介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(18.5%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(16.6%)などの回答比率が高い。



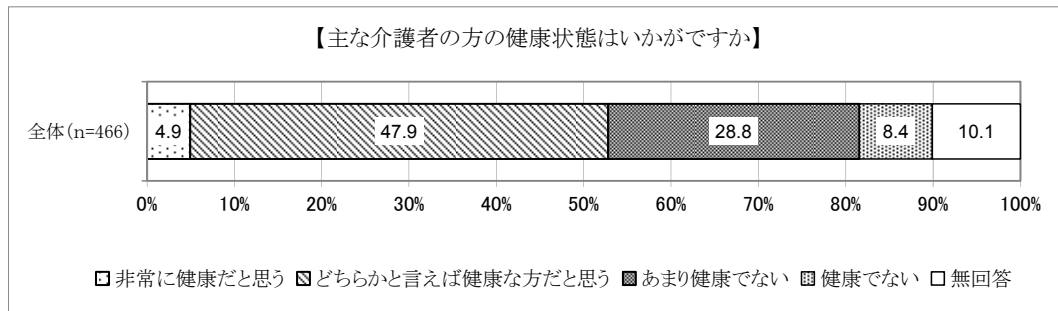
問33 問30で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

「問題はあるが、何とか続けていける」が57.3%と過半数を占めている。



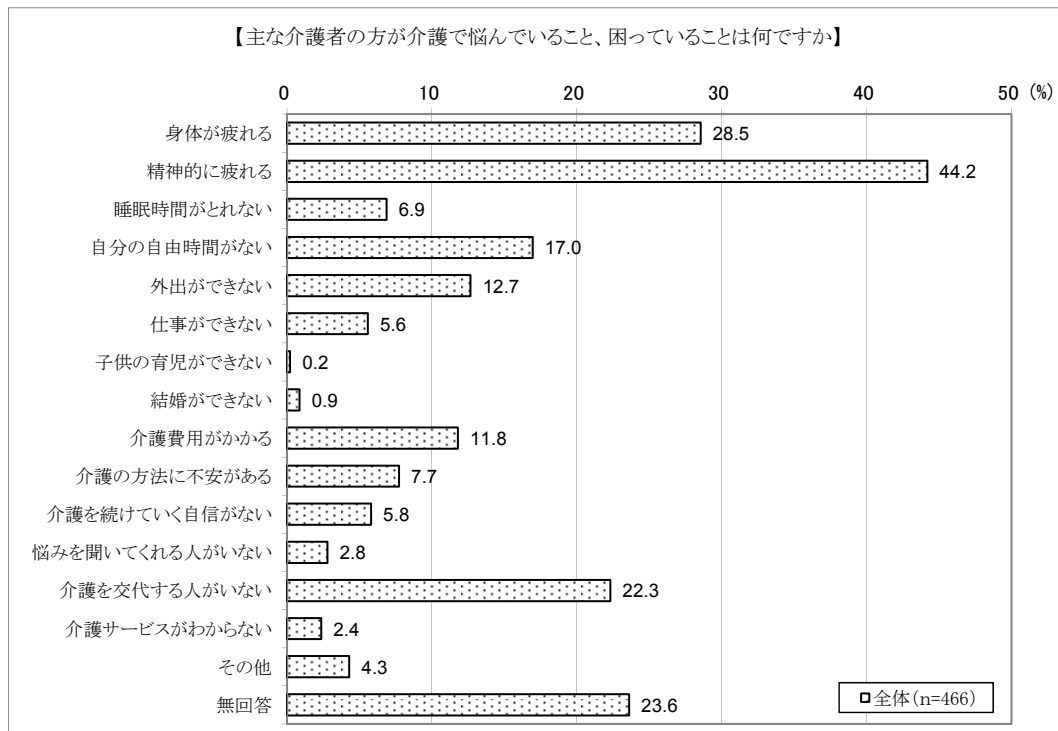
問34 主な介護者の方の健康状態はいかがですか。（1つだけ○）

「どちらかと言えば健康な方だと思う」（47.9%）と「非常に健康だと思う」（4.9%）と合わせて、全体の半数近くが“健康である”との回答となっている。



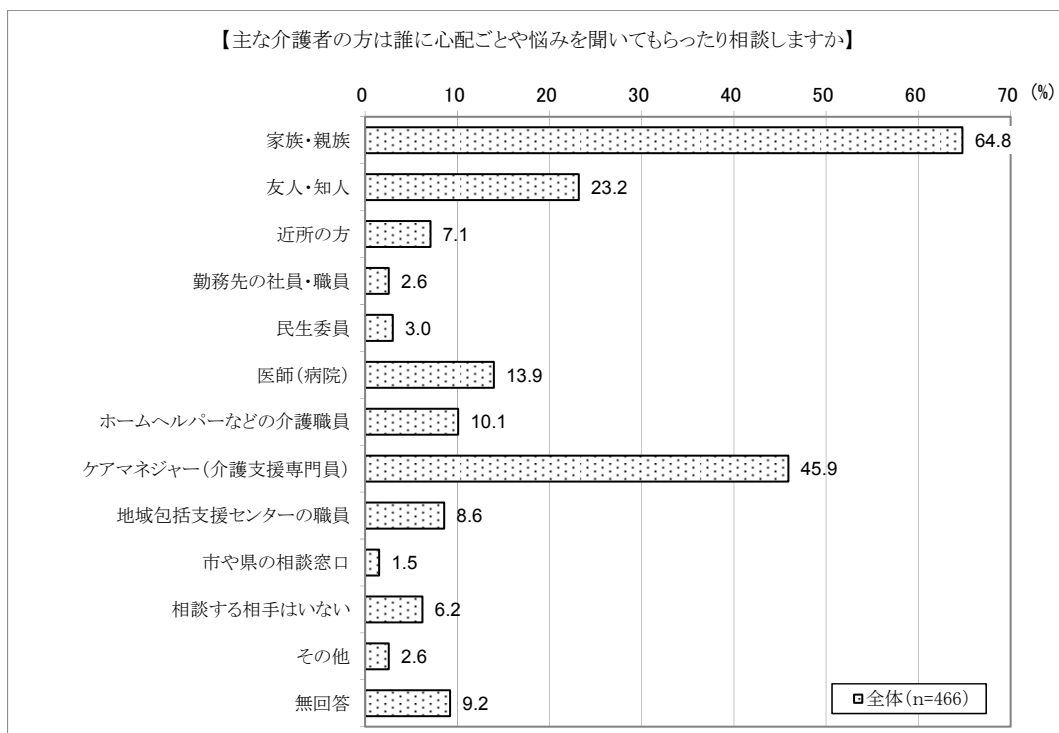
問35 主な介護者の方が介護で悩んでいること、困っていることは何ですか。（主なもの3つまでに○）

「精神的に疲れる」が44.2%と最も高く、以下、「身体が疲れる」（28.5%）、「介護を交代する人がいない」（22.3%）、「自分の自由時間がない」（17.0%）と続いている。



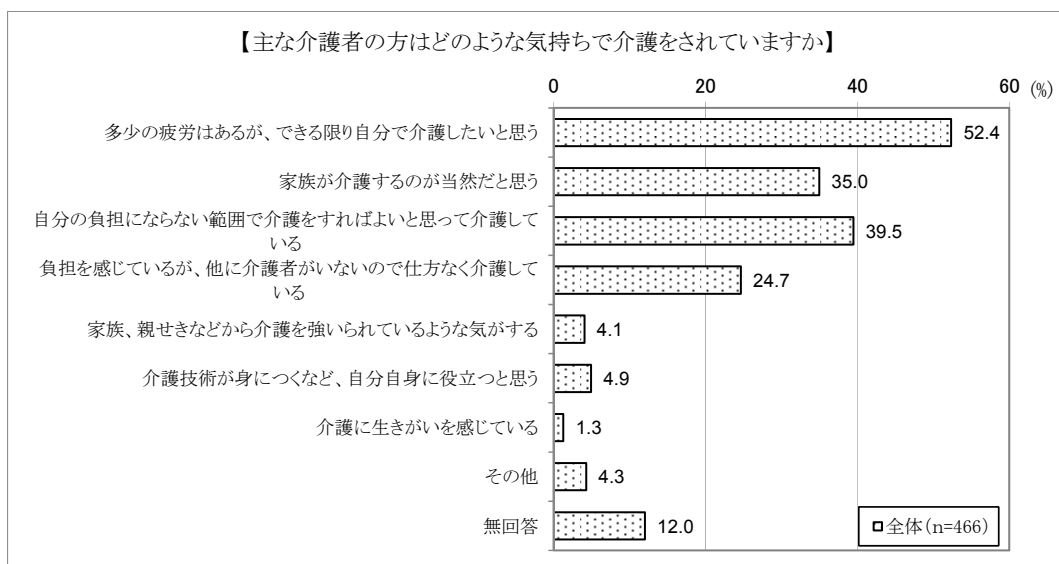
問36 主な介護者の方は誰に心配ごとや悩みを聞いてもらったり相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

「家族・親族」が64.8%と過半数を占め、以下、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」（45.9%）、「友人・知人」（23.2%）と続いている。



問37 主な介護者の方はどのような気持ちで介護をされていますか。(主なもの3つまでに○)

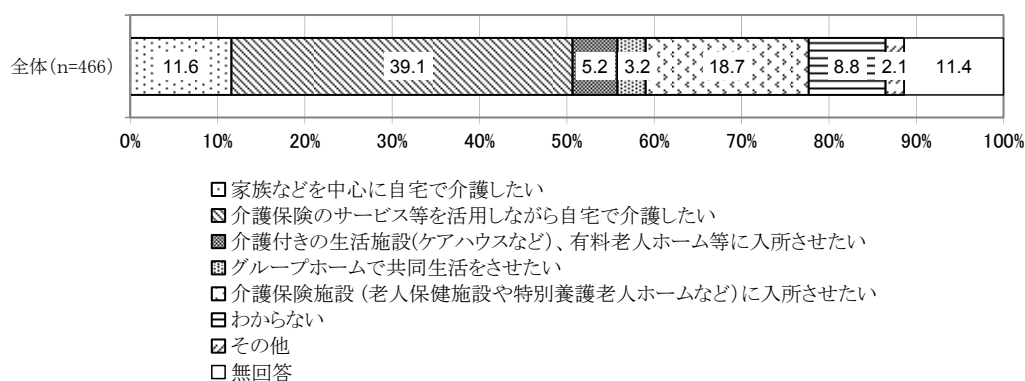
「多少の疲労はあるが、できる限り自分で介護したいと思う」が52.4%と半数を占め、以下、「自分の負担にならない範囲で介護をすればよいと思って介護している」(39.5%)、「家族が介護するのが当然だと思う」(35.0%)と続いている。



問38 介護が必要な状態が続いた場合、今後、どのように介護していきたいと思いますか。(1つだけ○)

「介護保険のサービス等を活用しながら自宅で介護したい」が39.1%と最も高い。

【介護が必要な状態が続いた場合、今後、どのように介護していきたいと思いますか】

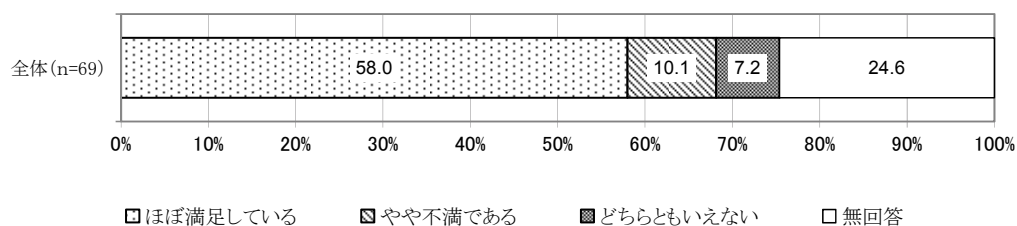


5 施設入居者の状況

問39 現在入所している施設のサービスに満足していますか。(1つだけ○)

「ほぼ満足している」が58.0%と過半数を占める。

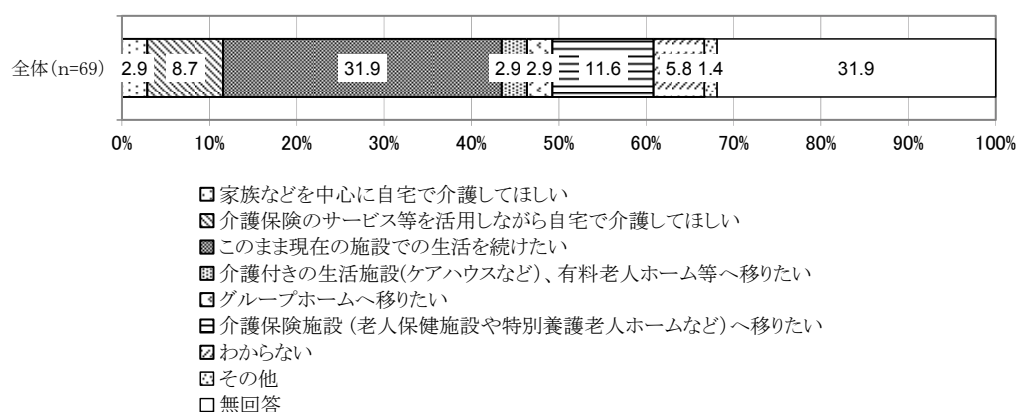
【現在入所している施設のサービスに満足していますか】



問40 介護が必要な状態が続いた場合、これからの生活について、どのような介護を希望しますか。(1つだけ○)

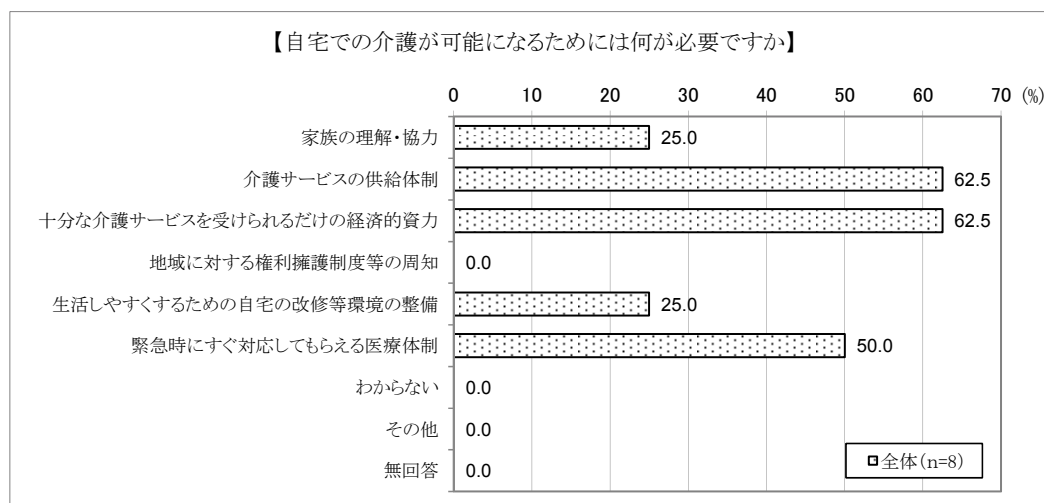
「このまま現在の施設での生活を続けたい」が31.9%と最も高く、以下、「介護保険施設(老人保健施設や特別養護老人ホームなど)へ移りたい」(11.6%)「介護保険のサービス等を活用しながら自宅で介護してほしい」(8.7%)、「わからない」が(5.8%)と続いている。

【介護が必要な状態が続いた場合、これからの生活について、どのような介護を希望しますか】



問４１ 問４０で「１」または「２」と回答した方に伺います。自宅での介護が可能になるためには何が必要ですか。（主なもの３つまでに○）

「介護サービスの供給体制」及び「十分な介護サービスを受けられるだけの経済的資力」がともに 62.5%と高い。



6 自由意見

134 人より意見が寄せられた。主な内容は以下のとおりである。

◇自由意見のまとめ

項目	人数	主な内容
介護・介護者	29	老人だけでなく身障者の介護もあり、持病もあり毎日がへとへとです 資金力の不足、私自身が重度の心臓病で本人からの要望など充分に対応出来ない 介護者が病気で介護できなくなった時の不安がある
		介護付きケアハウス又は老人ホームなどに移りたい
施設	26	介護保険施設などもっと増やしてほしい 入所できずに待機している方々がたくさんいます
		在宅サービスをもっと増やしてもらいたい
介護保険サービス	23	介護サービスを利用して地域との繋がりを大切にしていきたい
		夫は要介護２ですけど、これからどんどん悪くなったら、家で介護したくても自信が有りません
将来・将来への不安	19	現在は支援を受けていないが、必要と感じたとき速やかに支援を受けることができるのかが不安
		1人世帯になった時には介護サービスについて考える必要があると思っています
認知症	11	若年性のデイサービスや支援体制が遅れているように思う
		認知症の方は、1人より数人の方が安定した生活が出来ているように思います
介護保険制度	9	介護の認定は目に見える身体的なものだけではなく、よく見て判断してほしい
		要支援は無くして重い要介護者に力を入れてほしい 要支援Ⅰ・Ⅱの認定の基準

項目	人数	主な内容
病気・医療	9	複数の病名がある為、主治医により異なるアドバイスに戸惑う
		介護と医療の連携がより深まることを望みます
		病院に長く入院しているとリハビリの回数が減る
経済面	9	金銭的に余裕があれば介護は他人に任せたい
		介護保険料が3万アップして負担が大きい
		低年金なのであらゆる事について心配
身体状態	7	突発的に小脳梗塞を経験したので、何を準備すべきか、対策を講じるべきか不明
		現状維持して、これ以上悪くならない様に注意して生活したいです
サービス利用料	5	入所している施設によって、レンタルの器具（車椅子等）の料金は違っているのが不満
		サービスの料金を安くしてほしい
道路・交通	3	タクシーの補助を出してほしい
		市道の整備をしてほしい
情報	3	介護付きの生活施設等情報をいただきたい
		サービスや支援のお知らせをメール等でほしい
行政	8	市でももっと相談できる場があれば助かると思います
		医療費の戻し分（重度）を何度も役所に行かなくていいように、カードを見せれば大丈夫なようにしてほしい
		役所の受け身姿勢（こちらが言わないと動かない）介護認定をされている人間あてに書類が届く。対応できるわけがない。縦割りで横とのつながりがない。
その他	37	障がい者、緊急時の対応、住まい、就労、アンケートについて、他

※一人の意見が複数項目にわたる場合があるため、回答者数（134人）と各意見の人数合計は異なる。

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定委員会 並びに検討会設置要綱

(趣旨)

第1条 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第20条の8及び介護保険法（平成9年法律第123号）第117条の規定に基づき、須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の策定について審議するため、須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定委員会（以下「委員会」という。）の設置及び組織等について必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を市長に提言する。

- (1) 高齢者福祉計画の策定に関すること。
- (2) 介護保険事業計画の策定に関すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は、須賀川市介護保険運営協議会委員に委嘱するものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、次に掲げる者のうちから委員を委嘱することができる。

- (1) 学識経験者
- (2) 保健医療関係者
- (3) 福祉関係者
- (4) 関係団体の構成員
- (5) その他市長が必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱された日から第2条の任務が終了する日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、それぞれ須賀川市介護保険運営協議会の会長及び副会長を充てる。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めたときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(検討会)

第6条 第2条に掲げる事項についての実務的な検討、委員会の円滑な運営及び庁内の調整を図るため、委員会のもとに検討会を設置する。

2 検討会は、別表に掲げる職にある者をもって組織する。

3 検討会に会長を置き、健康福祉部長をもって充てる。

4 会長は、検討会の業務を統括する。

5 検討会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、健康福祉部長寿福祉課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年4月21日から施行し、設置の目的を達成したときは、その効力を失う。

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定委員会委員

(敬称略)

氏 名	所属団体・役職名等	備考
中村 基行	第1号被保険者（公募）	須賀川市介護保険運営協議会委員
小沢美代子	第1号被保険者（公募）	須賀川市介護保険運営協議会委員
市村 弘子	第2号被保険者（公募）	須賀川市介護保険運営協議会委員
中野 洋子	第2号被保険者（公募）	須賀川市介護保険運営協議会委員
渡邊 達雄	須賀川商工会議所会頭	須賀川市介護保険運営協議会委員
佐藤 康二	須賀川医師会副会長	須賀川市介護保険運営協議会委員
畑岡 邦久	須賀川市民生児童委員協議会長	須賀川市介護保険運営協議会委員
福 島 覚	老人クラブ連合会長沼地区協議会長	須賀川市介護保険運営協議会委員
渡邊 光子	民生児童委員協議会岩瀬方部会長	須賀川市介護保険運営協議会委員
小林 恵	南東北春日リハビリテーション・ ケアセンター看護師	須賀川市介護保険運営協議会委員
長谷川宣暢	特別養護老人ホームエルピス施設長	須賀川市介護保険運営協議会委員
松崎 健一	須賀川市社会福祉協議会事務局長	須賀川市介護保険運営協議会委員
佐藤 健則	須賀川市国民健康保険運営協議会長	須賀川市介護保険運営協議会委員
田代 直也	須賀川歯科医師会長	保健医療関係
三浦 純一	公立岩瀬病院長	保健医療関係
金子 定雄	須賀川市老人クラブ連合会長	福祉関係
深谷 洋和	須賀川市ボランティア連絡協議会長	関係団体
野崎 直子	すかがわ介護支援専門員協議会長	介護保険事業関係団体

18名

別表（要綱第6条第2項関係）

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定検討会委員

職名（充て職）	氏 名	備 考
健康福祉部長	尾 島 良 浩	座長
長寿福祉課長	佐 藤 啓 子	高齢者福祉施策、介護保険事業関係
健康づくり課長	大 槻 和 之	高齢者保健施策関係
社会福祉課長	佐 藤 和 久	社会福祉施策関係
企画財政課長	野 沢 正 行	総合計画関係
生活課長	笠 井 一 郎	高齢者の安全確保、総合交通関係
保険年金課長	佐 藤 幸 二	介護保険第2号被保険者関係
都市整備課長	山 寺 弘 司	高齢者に配慮したまちづくり関係
生涯学習スポーツ課長	西 澤 俊 邦	生きがい対策関係

9名

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定担当者会議 設置要綱

(設置)

第1条 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第20条の8及び介護保険法（平成9年法律第123号）第117条の規定に基づき、須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の策定について実務的企画立案を行うことを目的として、須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定担当者会議（以下「担当者会議」という。）を設置する。

(任務)

第2条 担当者会議は、次に掲げる事項について協議し、その結果を上部組織である須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定検討会に報告する。

- (1) 高齢者福祉計画素案の策定に関すること。
- (2) 介護保険事業計画素案の策定に関すること。

(組織)

第3条 担当者会議は、健康福祉部長寿福祉課及び健康づくり課の職員並びに関係機関の職員をもって組織する。

- 2 担当者会議に座長を置き、長寿福祉課長補佐をもって充てる。

(会議)

第4条 担当者会議は、座長が招集し、議長となる。

- 2 座長は、必要に応じて、関係者に出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

第5条 担当者会議の庶務は、健康福祉部長寿福祉課において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、担当者会議の運営に必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年12月16日から施行し、設置の目的を達したときに、その効力を失う。

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定担当者 会議名簿

課名	職名（充て職）	氏 名	備考
長寿福祉課	課長補佐	松宮 崇文	統括、計画全般担当
	地域包括ケア システム推進室長	須田 勝浩	地域包括ケアシステム
	長寿福祉係長	深谷 俊彦	高齢者福祉計画
	介護保険係長	田辺 勝也	介護保険事業計画
	介護保険係 係長職	橋本 優子	介護保険事業計画
	地域包括ケア システム推進室	佐藤 栄司	地域包括ケアシステム
社会福祉課	課長補佐	関根 徳栄	地域福祉計画
健康づくり課	主任主査兼 保健指導係長	小林 直美	介護予防・健康長寿
	予防係長	永山 勇作	介護予防・健康長寿
須賀川市社会福祉協議会	事務局長	松崎 健一	社会福祉協議会サービス
須賀川中央地域包括支援センター	管理者	柳沼 剛	介護予防・健康長寿
須賀川西部地域包括支援センター	管理者	車田 孝子	高齢者福祉計画
須賀川東部地域包括支援センター	管理者	吉田たみえ	高齢者福祉計画
長沼・岩瀬地域包括支援センター	社会福祉士	小川 由美	介護予防・健康長寿

14名

「須賀川市第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」策定までの経過

年 月	協 議 内 容
平成 29 年 1 月 12 日	第 1 回計画策定担当者的会議 ・ 計画策定の組織体制及びスケジュールについて ・ 役割分担及び班編成について ・ 計画策定に係る国の動向について ・ 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に係るアンケートについて
平成 29 年 2 月 9 日	第 2 回計画策定担当者的会議 ・ アンケート項目及び現在までの進捗について ・ 役割分担及び具体的な作業について
平成 29 年 2 月～3 月	須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画に係るアンケート調査の実施 ・ 市民意識調査（一般） ・ 市民意識調査（要支援・要介護認定者） ・ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
平成 29 年 5 月 18 日	委嘱状交付 第 1 回計画策定委員会 ・ 計画策定の目的と組織体制及びスケジュールについて ・ 高齢者福祉計画の実績について ・ 介護保険事業計画の実績について ・ 地域包括ケアシステムについて
平成 29 年 6 月	須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定のための居宅介護支援事業所及び介護サービス提供事業所へのアンケート調査の実施
平成 29 年 6 月 21 日	第 3 回計画策定担当者的会議 ・ 須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査の結果について ・ 須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定のための居宅介護支援事業所及び介護サービス提供事業所へのアンケート調査について ・ 須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画への掲載要望等について
平成 29 年 6 月 26 日	第 1 回計画策定検討会 ・ 計画策定の目的と組織体制及びスケジュールについて ・ 高齢者福祉計画の実績について ・ 介護保険事業計画の実績について ・ 計画策定のためのアンケート調査の結果について ・ 地域包括ケアシステムについて

年 月	協 議 内 容
平成 29 年 9 月 25 日	第 4 回計画策定担当者会議 ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定のための居宅介護支援事業所及び介護サービス提供事業所へのアンケート調査結果について ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画骨子について ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画骨子に対する意見等について
平成 29 年 10 月 12 日	第 2 回計画策定検討会 ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定のための居宅介護支援事業所及び介護サービス提供事業所へのアンケート調査結果について ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画骨子について
平成 29 年 10 月 23 日	第 2 回計画策定委員会 ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定のための居宅介護支援事業所及び介護サービス提供事業所へのアンケート調査結果について ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画骨子について
平成 29 年 10 月～11 月	地域支え合い推進会議の開催（公民館単位 市内 10 か所） ＜グループワーク・グループ発表＞ ・地域で生活する高齢者が抱える課題について ・高齢者支援として地域で取り組んでいること、または取り組んでいる団体、個人等について
平成 29 年 12 月 19 日	第 5 回計画策定担当者会議 ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画素案について
平成 29 年 12 月 25 日	第 3 回計画策定検討会 ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画素案について
平成 30 年 1 月 9 日	第 3 回計画策定委員会 ・須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画素案について
平成 30 年 1 月 17 日～31 日	パブリックコメントの実施
平成 30 年 2 月 9 日	計画策定委員会委員長から「計画案」に関する市長への提言
平成 30 年 2 月 14 日	須賀川市第 8 次高齢者福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画策定
平成 30 年 3 月 16 日	市議会 3 月定例会 ・「須賀川市介護保険条例の一部を改正する条例」議決

提 言 書

平成30年2月9日

須賀川市長 橋 本 克 也 様

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び

第7期介護保険事業計画策定委員会

委 員 長 渡 邊 達 雄

須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画について

本委員会は、平成29年5月18日以来、計3回にわたり須賀川市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画について、慎重に審議した結果、別紙案が相当との結論に達しました。

高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるよう、本委員会で出された意見等を十分に斟酌し、政策目標の実現に向けた各種施策を適時適切に実行されることを提言し、報告いたします。



発行者 須賀川市

編 集 須賀川市健康福祉部長寿福祉課
〒962-8601
福島県須賀川市八幡町135番地
TEL 0248-88-8116
FAX 0248-88-8119

発 行 平成 30 年 3 月